

# 自治研 かながわ

2011 **6** No.128 統一地方選挙結果特集  
(通算 192号)

## CONTENTS

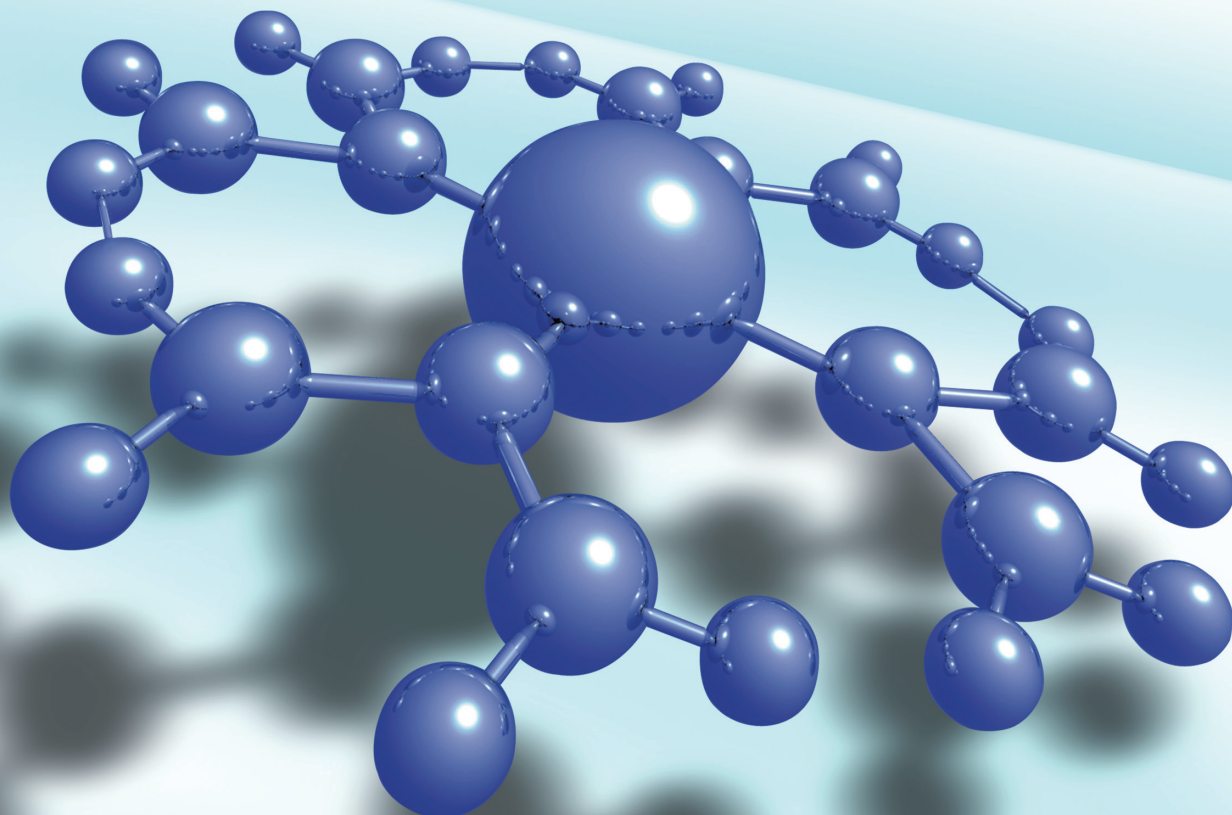
巻頭言「暮らしの大地との共存共栄」

2011年統一地方選挙をふりかえって

公益社団法人 神奈川県地方自治研究センター 理事長 上林 得郎 . . . . 1

相模原市が2012年施行を表明 -公契約条例の全国の動き-

公益社団法人 神奈川県地方自治研究センター 事務局長 勝島 行正 . . . 49



公益社団法人 神奈川県地方自治研究センター

東日本大震災は、日本人の危機に対する想定を遥かに超える大災害であった。古から「天災は忘れたころにやってくる」と言われてきた。この解釈は、1) 生活を根底から崩壊させる大災害のような不幸は、一生に一度経験するかどうかである。2) 今世紀最大といわれるような不幸であっても、時がたつと人びとの記憶から薄れ、不幸が起きたという事実さえ、蝋燭の炎の立ち消えの如くに忘れ去られてしまうが、その頃に再び不幸が訪れ、同じような経験を繰り返すことになる。のように、ある日突然やって来る天災に対して、事前に手の打ちようがなく、あきらめ気味の意味合いが含まれているのが一般的解釈である。しかし、今日では、3) 地震・洪水・津波などの天災であっても、科学技術の発展で「ある程度の予測とコントロール」が可能になり、最悪の不幸を避けるためにいくつかの事前対応策をとることが可能になっているので、「天災はコントロール可能であり、忘れたころにしかやっこない」の解釈になっている。

まさに、近代から始まった発明・技術革新による科学技術の進歩は、人間が自然の猛威をコントロールできる域に達しつつあると認識させ、安全・安心な暮らしが保証されている「絶対安全」に拠り所を置いて、暮らすことを日常化させてしまった。

生きている地球の証拠となる天災は、やはり、凄まじいの一言に尽きる。今回の巨大地震、大津波、そして原発事故の発生は、日本に根付いていた「絶対安全」を崩壊させることになり、神話に過ぎないと戒めを込めて今までの危機対応についてさまざまな意見が出ているが、完全な危機対応マニュアルなど想定不可能であることは、万人が知るところである。「最悪の想定」のもとに危機管理マニュアルを作成し、備えを十分にしておけば、被害を軽微にすることが可能になると考えられるが、一体どこまで「最悪の想定」をすればよいのか、何人も答えられないのが現実である。

それでは、我々は如何に備えるべきか。「最悪の想定」の以前に、暮らしの場である大地の成り立ちや性質などについての知識を得て、暮らしの中で体験的に理解することによって、危機対応・管理能力を身につけておくことである。つまり、「天災は忘れたころにやってくる」ので、忘れることがないように常日頃から、「暮らしの大地との共存共栄を意識して過ごす」ことが大切である。

現代日本の政治・経済中心地域と人口集中地域はともに、太平洋沿岸部の平野と埋立地に位置している。この平野は主に沖積平野で、1万年前以降に形成された、地球的意味での「軟弱地盤の大地」である。ちなみに、地球年代は45億年である。また、東京・名古屋・大阪などの埋立地は、主に江戸時代以降から始まり、20世紀後半の高度経済成長期に最盛期を迎えた。現在の首都圏沿岸部の千葉・東京・川崎・横浜の海岸はほとんど埋立地で、石油化学コンビナート、物流基地、レジャー施設、近代的な住宅地などが立地している。この埋立地は、地球的意味では堅い石のテーブルの上に置かれたプディングのような状態であり、何とも不安定で落ち着きのない人工地盤である。

防災・危機対策は、まず、「暮らしの大地」を知ることから始めましょう。住居や職場の載っている地形図を手に入れ、明治・昭和・平成までの大地の変遷を確かめ、「地誌」書(日本の地誌:朝倉書店)などで都市の発展を確認してみたいか。明治時代の迅速測図(2万分の1)から現代の地形図(主に2.5万分の1)まで、何期にも渡って、詳細な地図が発行されている。新しい地形図は、大型書店が常設販売しているし、国土地理院ホームページで閲覧できる。旧版地形図や測量用空中写真は国土地理院や日本地図センターで販売している。

# 2011 年統一地方選挙をふりかえって

公益社団法人 神奈川県地方自治研究センター  
理事長 上林 得郎

## I 章 統一地方選挙の全国的な選挙結果の特徴

### 1. 盛り上がりには欠けた統一地方選挙

第 17 回統一地方選挙は、前半の知事・道府県議選、政令市長・政令市議が 4 月 10 日、後半の市長・市議選、特別区長・区議選、町村長・町村議選が 4 月 24 日の日程で執行された（表 1）。3 月 11 日に起きた東日本大震災の影響を受け、岩手・宮城県ですべての選挙が、福島・茨城県では一部の選挙が延期を余儀なくされたため、統一地方選として最も低い実施率 27.40% となってしまった（資料 1）。

延期された選挙は、6 ヶ月以内で政令の定める日（特例選挙期日）に統一して行われることになり、長及び議員の任期はその選挙の前日まで延長された（平成二十三年東北地方太平洋沖地震に伴う地方公共団体の議会の議員及び長の選挙期日等の臨時特例に関する法律第 1 条及び 2 条）。

前半の 4 月 10 日の選挙は、12 知事選（岩手を除く）、41 道府県議選（岩手・宮城・福島を除く）、5 政令市長選、15 政令市議選（仙台を除く）が行われた。後半の 4 月 24 日の選挙では、88 市長選、293 市議選、13 区長選、21 区議選、121 町長選、374 町村議選が行われた。

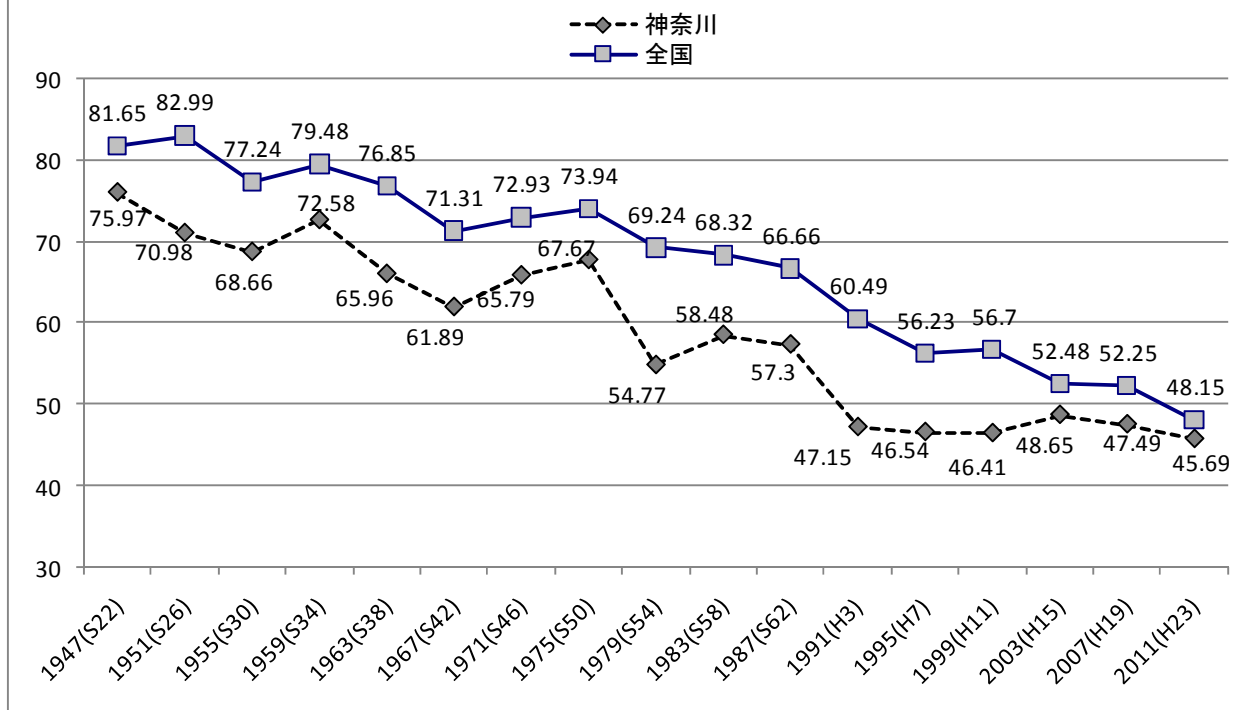
選挙が終わっての総体的な印象では、未

表1 第17回統一地方選挙期日

	告示日	選挙日
知事選	3月24日	4月10日
政令市長選	3月27日	
道府県議選	4月1日	
政令市議選	〃	
市長選	4月17日	4月24日
市議選	〃	
区長選	〃	
区議選	〃	
町村長選	4月19日	
町村議選	〃	

曾有の大震災の後だけに選挙運動自粛ムードもあり、きわめて盛り上がりには欠けた選挙戦であったといえる。投票率の低さが選挙の低調さを示しており、統一選挙の実施率割合が最も高い 41 道府県議選では 2007 年の 52.25% から 4.1 ポイント低い 48.15% でワーストを記録している（図 1）。大阪府議選など 5 府県で微増であったものの、残る 36 道府県でそれぞれ過去最低を記録しており、埼玉県議選では 39.54% と 3 割台にまで落ち込んでしまっていた。後半戦でも市長選挙の投票率が 53.57% から 52.97% と、市議選も 55.32% から 50.82% と過去最低の記録となり、区長選で 44.51%、区議選でも 43.22% と過去最低の投票率であった。

図1 統一地方選投票率の推移(県議選)



また、全般的に見ると無投票当選がやや少なくなったように思われた。首長選では知事、区長選挙では無投票がなかった。政令市長選で浜松市が、市長選挙では高松市ほか15市で無投票となったが、前回の19市より少なくなっている。町村長選では121のうち58町村で無投票となり前回の60より少なかったが、選挙の対象自治体が減っていることから無投票当選率では前回の38.5%から増えて47.9%となった。約半数近くが無投票になっていた。

議員選挙では、道府県議選では前回の416人から410人に減ってはいるものの、対象となる県と定員が減ったことにより無投票当選率は16.4%から17.6%に増加していた。特に、島根県議選で定数37のうち26名が無投票となり、じつに7割が無投票当選という異常な結果であった。政令市議(前回13)と区議選(前回0)では無投票がなかった。市議選では前回の159人

から116人に減り、無投票当選率も2.0%から1.6%下がったものの、町村議選では740人から893人に増加し、無効当選率も13.1%から20.2%に増加していた。

選挙を行わない無投票当選が増えることは、町村における地域政治の衰退が著しいものといえる。しかも3つの町議選で立候補者が定数に満たないで立候補者全員が当選し欠員3を生じたことと、2町では法定得票数(有効得票数を定数で割った数の4分の1)に達した候補者が1人ずつ足りなかったことにより、両者を合わせて5名の欠員を生じてしまった。

統一地方選挙の実施率が低下していること、投票率の低下と無投票当選の割合が増加していることを合わせて、地方自治制度のあり方、地方選挙のあり方と地域政治の仕組みそのものが問い直されなければならなくなっているものといえよう。

## 2. 全国的選挙結果の特徴

### (1) 知事選挙・政令市長選挙

知事選挙は12都道県で、政令指定市長選挙は5都市で行われた(表2及び表3)。マスコミで国政与野党の対立型の選挙と言われたのは、北海道、東京、三重の知事と、札幌市長選挙である。政権与党の民主党は独自候補の擁立がほとんどできず、北海道と三重で新人を擁立したが、北海道では現職高橋はるみ知事が、三重の新人同士の争いでは自民・公明推薦の新人鈴木英敬候補が勝利した。東京では、元宮崎県知事や飲食会社社長がいち早く立候補を表明し、民主党としての推薦候補はなく都議会会派が飲食会社社長の新人候補の推薦を決めたものの、事実上自民の支援を受けた現職石原慎太郎知事が圧倒的な強さで4選された。札幌では、民主党が現職を推薦し、自民党が新人を推薦したが、民主党推薦の現職上田文雄市長の勝利となった。与野党対決は3勝1敗で野党の勝利となった。

他の県では、現職候補が圧倒的に強さを発揮し、福井、奈良、島根、鳥取、徳島、佐賀、大分の各県で現職知事が当選を果たした。現職が引退した神奈川、福岡では、事実上の与野党相乗りの形となった新人ジャーナリストの黒岩祐治氏と、元内閣府報道官の小川洋氏が初当選を果たした。

政令指定市長選でも現職候補が強く、札幌、相模原でいずれも現職が勝ち、浜松では現職が無投票当選となった。静岡では、自民党の推薦する新人と地域政党「減税日本」の公認新人との争いとなったが、自民党推薦の田辺信宏元県議が初当選した。広島では、新人6人が立候補したが、元厚労省審議官の新人松井一実が元副市長他を破

って当選した。

知事・政令市長とも現職の9知事・3市長が全員当選し、大災害の直後の選挙であったためか有権者が安定志向を求めたものと評されていた。

統一選挙を終わって全国の47都道府県知事を見ると、2007年の統一地方選終了時と比較して、平均年齢58.7歳が今回は58.3歳、平均期数2.1期が2.0期となっており、若干の期数の若返りが見られるもののほぼ変化はない(資料2)。1期目が19名で最も多く、2期目が16名、3期目が7名、4期以上が5名であり、4年前は3期が8名、4期以上が7名だったので多選の傾向は弱くなっているように見られる。

出身の職業を見ると、官僚出身が25名(旧自治省13、通産8、大蔵3、建設1)で半数を超えており、これも前回の24名とほぼ同様である。国会議員は10名(衆院8、参院2)で前回の12からやや少なくなっているが、官僚出身の国会議員も数名おり、これを官僚出身に含めると官僚出身者はもっと多くなってくる。地方政治出身は5名で首長2名、議員2名、副知事1名であり、大学教授が3名、行政書士、弁護士、ジャーナリスト、会社会長などが各1名となっている。

今回の選挙で政党の推薦支持を受けない知事が当選者12名のうち5名と多かったのも特徴であり、事実上政党の支持を受けていても「政党隠し」の傾向が続いているものと見られる。47名の知事で見ると政党の支持・推薦を受けない知事が21名と半数近くになっており、政党政治の衰弱傾向が顕著になってきているようだ。

表2 12知事選の結果

2011.4.10執行

得票	氏名	年齢	現新	推薦	前職
北海道知事選 立候補者 4名					
当 1,848,504	高橋はるみ	57	無現 ③	自	元道経産局長
544,319	木村 俊昭	50	無新	民社国	元農水省職員
176,544	宮内 聡	48	無新	共	党道役員
92,491	齋谷 忠	60	無新		元道会副議長
2,661,858	有効投票				
59.46%	投票率(前回64.13%)				

得票	氏名	年齢	現新	推薦	前職
東京都知事選 立候補者 11名					
当 2,615,120	石原慎太郎	78	無現 ④		作家・元衆院議員
1,690,669	東国原英夫	53	無新		元宮崎県知事
1,013,132	渡辺 美樹	51	無新		元飲食会社社長
623,913	小池 晃	50	無新	共	元参院議員
48,672	ドクター・中松	82	無新		発明家
10,300	谷山雄二郎	38	無新		映画監督
6,389	古川 圭吾	41	無新		介護会社社長
5,475	杉田 健	43	諸新		新しい日本代表
4,598	マック赤坂	62	諸新		スマイル党総裁
3,793	雄上 統	69	諸新		政治団体代表
3,278	姫谷けんじ	59	諸新		政治団体代表
6,025,339	有効投票				
57.80%	投票率(前回54.35%)				

得票	氏名	年齢	現新	推薦	前職
神奈川県知事選 立候補者 4名					
当 1,728,862	黒岩 祐治	56	無新 ①	公	元キャスター
821,981	露木 順一	55	無新	み	元開成町長
466,223	鴨居 洋子	66	無新	共	女性団体役員
99,751	照屋 修	58	無新		不動産業
3,116,817	有効投票				
45.24%	投票率(前回47.04%)				

得票	氏名	年齢	現新	推薦	前職
福井県知事選 立候補者 2名					
当 298,307	西川 一誠	66	無現 ③	自公	元副知事・自治省
67,459	宇野 邦弘	59	共新		党県常任役員
365,766	有効投票				
58.05%	投票率(前回59.83%)				

得票	氏名	年齢	現新	推薦	前職
三重県知事選 立候補者 3名					
当 379,472	鈴木 英敬	36	無新 ①	自公み	元経産省職員
369,105	松田 直久	56	無新	民	元津市長
68,253	岡野 恵美	58	無新	共	党県委員
816,830	有効投票				
55.69%	投票率(前回54.35%)				

得票	氏名	年齢	現新	推薦	前職
奈良県知事選 立候補者 3名					
当 292,654	荒井 正吾	66	無現 ②		元参院議員
223,519	塩見 俊次	61	無新		県医師会会長
60,318	北野 重一	73	無新	共	元県議
576,491	有効投票				
52.21%	投票率(前回51.47%)				

得票	氏名	年齢	現新	推薦	前職
鳥取県知事選 立候補者 2名					
当 255,367	平井 伸治	49	無現 ②		元総務省室長
23,218	山内 淳子	68	無新	共	女性団体会長
278,585	有効投票				
59.11%	投票率(前回61.46%)				

得票	氏名	年齢	現新	推薦	前職
鳥根県知事選 立候補者 2名					
当 269,636	溝口善兵衛	65	無現 ②	自公	元財務省財務官
33,571	向瀬 慎一	40	共新		党県委員
303,207	有効投票				
52.70%	投票率(前回65.86%)				

得票	氏名	年齢	現新	推薦	前職
徳島県知事選 立候補者 2名					
当 262,440	飯泉 嘉門	50	無現 ③		元総務省企画官
56,887	山本千代子	62	共新		党県常任委員
319,327	有効投票				
50.55%	投票率(前回56.51%)				

得票	氏名	年齢	現新	推薦	前職
福岡県知事選 立候補者 2名					
当 1,128,853	小川 洋	61	無新 ①	自公社国	元内閣府広報官
474,445	田村 貴昭	49	無新	共	元北九州市議
1,603,298	有効投票				
41.52%	投票率(前回49.04%)				

得票	氏名	年齢	現新	推薦	前職
佐賀県知事選 立候補者 2名					
当 337,269	古川 康	52	無現 ③	自公	元総務省企画官
57,461	平林 正勝	63	共新		党県委員長
394,730	有効投票				
59.41%	投票率(前回63.34%)				

得票	氏名	年齢	現新	推薦	前職
大分県知事選 立候補者 2名					
当 476,847	広瀬 勝貞	68	無現 ③	公社	経産事務次官
64,646	三重野 昇	72	共新		党県政策委員
541,493	有効投票				
56.44%	投票率(前回65.79%)				

表3 5指定市長選の結果

2011.4.10執行

得票	氏名	年齢	現新	推薦	前職
札幌市長選 立候補者 2名					
当 531,524	上田 文雄	62	無現 ③	民社国	弁護士
367,660	本間 奈々	41	無新	自	元総務省職員
899,184	有効投票				
58.54%	投票率(前回62.22%)				

得票	氏名	年齢	現新	推薦	前職
相模原市長選 立候補者 3名					
当 177,899	加山 俊夫	66	無現 ②	公	元助役
67,131	榎本 与助	65	無新		元県会議長
31,846	菅野 通子	69	共新		元市会副議長
276,876	有効投票				
50.60%	投票率(前回-)				

得票	氏名	年齢	現新	推薦	前職
静岡市長選 立候補者 3名					
当 135,224	田辺 信宏	49	無新 ①	自	元県議・市議
125,419	海野 徹	61	諸新		元参院議員
39,275	安竹 信男	64	無新		元市会議長
299,918	有効投票				
52.58%	投票率(前回50.76%)				

得票	氏名	年齢	現新	推薦	前職
浜松市長・無投票当選					
当 無投票	鈴木康友	53	無現 ②		元衆院議員

得票	氏名	年齢	現新	推薦	前職
広島市長選 立候補者 6名					
当 165,481	松井 一実	58	無新 ①		元厚生省審議官
117,538	豊田 麻子	45	無新		元副市長
90,464	大原 邦夫	61	無新		元市議
37,986	桑田 恭子	49	無新		元市議
20,084	大西 理	45	共新		党県常任委員
11,733	前島 修	37	無新		建設相談会社員
443,286	有効投票				
49.08%	投票率(前回53.75%)				

## (2) 道府県会議員選挙

道府県会議員選挙は、岩手・宮城・福島で選挙が延期され、実施した 41 道府県のうち 15 の道府県で 47 名の定員削減が行われ、2,330 の定数でたたかわれた。しかし千葉県浦安市で市長が大震災による液状化被害の復旧を優先し、選挙事務を拒否して行わなかったため、定数 2 の選挙がおこなえないという異例な事態が生じた。このため、当選者数は 2,328 名となっている（表 4）。

選挙結果を党派別に見ると、自民党が 1,119 名で前回（選挙を延期した 3 県の当選者を除いて）より 21 名減少し、民主党が 346 名で 12 名の増、公明党が 171 名で 2 名減、共産党が 80 名で 14 名減、社民党が 30 名で 14 名減、2009 年の衆院選直前につくられたみんなの党が 41 名、諸派が 99 名で 62 名の増、無所属が 442 名で 113 名の減となった。なお、選挙が行われなかった千葉県浦安市では、5 月 22 日に再選挙の投票が行われ、自民と民主の元職（任

期が 4 月 29 日で満了）が当選している。

国政野党第 1 党の自民党は、前回より議席は減らしたものの議席占有率では 48.1% で前回の 48.0% とほとんど変わらなかった。大阪で自民党から地域政党「大阪維新の会」に移った議員もあり 32 名を減らしており、栃木ではみんなの党に議席を奪われ 10 名の減、愛知では地域政党「減税日本」などに議席を奪われ 8 名の減になっている。しかし、埼玉で 7、秋田・岡山で各 6、長野・岐阜で各 5 名増加などがみられ、大阪以外は第 1 党を維持し、青森をはじめ 21 県で単独過半数を確保している。

政権与党の民主党は、政権交代後の国政運営のまずさから内閣支持率の低下にあえぎ、苦戦を強いられた。獲得議席こそ前回は 12 名上回ったものの、政権党としての前進は見られず、愛知で 12 名、大阪で 9 名を地域政党の進出で減らし、神奈川で 5、千葉・埼玉で各 4 名の減少と大都市圏での敗退が目についた。しかし、福岡で 8 名、静岡と石川で各 6 名が増加するなどそれま

表 4 41道府県議会選 当選者数 2011.4.10執行

党派名	立候補者数	内 訳				当選者数	無投票	当選者構成比	内 訳				改選前	前回当選者数	議席増減	前回構成比
		現	元	新	女性				現	元	新	女性				
自民党	1,243	1,032	26	185	30	1,119	50	48.1%	956	24	139	27	1,247	1,140	△ 21	48.0%
民主党	572	342	8	222	76	346	265	14.9%	253	3	90	44	415	334	12	14.1%
公明党	172	125	0	47	14	171	8	7.3%	124	0	47	14	167	173	△ 2	7.3%
共産党	225	78	20	127	92	80	4	3.4%	54	10	16	37	94	94	△ 14	4.0%
社民党	45	29	3	13	6	30	6	1.3%	22	2	6	5	50	44	△ 14	1.9%
みんなの党	103	11	3	89	14	41	0	1.8%	9	1	31	5	11		41	0.0%
諸派	164	47	8	109	29	99	11	4.3%	44	4	51	14	41	37	62	1.6%
首長系	114					79	0	3.4%	32	1	46	9	34		79	0.0%
無所属	933	285	65	583	86	442	66	19.0%	218	27	197	34	249	555	△ 113	23.3%
自民系	310					202		8.7%	102	1	100	10		249	△ 47	10.5%
民主系	121					81		3.5%	54	1	26	10		128	△ 47	5.4%
公明系	3					3		0.1%	2		1			5	△ 2	0.2%
社民系	52					26		1.1%	20		6	3		30	△ 4	1.3%
その他	447					130		5.6%	40	25	64	11		171	△ 41	7.2%
合 計	3,457	1,949	133	1,375	347	2,328	410	100.0%	1,680	71	577	180	2,274	2,377	△ 49	100.0%
構成比	100.0%	56.4%	3.8%	39.8%	10.0%	100.0%	17.6%		72.2%	3.0%	24.8%	7.7%				
前回(07年)	3,773	2,158	136	1,479	367	2,377	392		1,719	59	584	175				
構成比	100.0%	57.2%	3.6%	39.2%	9.7%	100.0%	16.5%		72.3%	2.5%	24.6%	7.4%				

定数は2,330であるが、千葉県浦安市(定数2)で投票が行われていないので除いてある。

当選者・諸派には、国民新党2、たちあがれ日本1が含まれている

前回は、今回選挙を見送った岩手・宮城・福島3県を除いてある。

諸派の首長系は、「ローカルパーティ大阪維新の会」「減税日本」「対話でつなごう滋賀の会」

「日本一愛知の会」の4団体。

で議席の少なかった県での増加が見られ、議席占有率も前回の 14.1%から 14.9%にわずかながら増えている。マスコミの報道する「大敗」「惨敗」であった、というのは明らかにミスリードであろう。

公明党は、これまで立候補者全員の当選という手堅い選挙を続けてきたが、大阪で地域政党に敗れ不敗神話が途絶えた形になった。それでも他府県では全勝しており、議席占有率も 7.3%で変わっていない。共産党は、1999 年に 152 名を獲得していたが、その後の選挙ごとに議席を減らし、今回も低落傾向が続き 14 の減となっていた。社民党も低落傾向に歯止めがかからず、宮崎で 3 減、高知で 2 減など合わせて 14 名の減少となった。

みんなの党は地方選挙では初めてであり、参院選での躍進を継続させたかったようであるが、代表のいる栃木で 13 名、幹事長がいる神奈川で 15 名と大量議席が得られた。しかし、他県では千葉で 4 名の当選を得られたほか 9 府県で 1 名ずつにとどまった。議席占有率ではわずか 1.8%であり、立候補者の 6 割が落選するなどの選挙ぶりからして、躍進は地域限定的であった。

大阪の橋下徹知事のつくった「大阪維新

の会」、名古屋の河村たかし市長のつくった「減税日本」、愛知の大村秀章知事の「日本一愛知の会」など首長新党といわれるローカルパーティの躍進が目についた。詳細は節を変えて述べてみたい。

首長新党の躍進で大きな影響を受けたのが無所属である。前回より 113 減の 442 名であるが、自民党系がほぼ半数を占めており各議会の会派構成では政権野党が多数となる議会が多くなっていくものと見られる。

### (3) 政令指定市議会選挙

2009 年と 2010 年 4 月に政令指定都市となった浜松市相模原市とが新たに加わり、名古屋市が議会リコールで 3 月に選挙を終了し、仙台市が大震災で選挙を延期したため 15 市で議会選挙が行われた。定数が 6 市で 25 削減されたため、924 議席が争われた(表 5)。

早くから多党化傾向が見られる大都市の選挙は、今回も大きな変化が見られた。自民党は、222 名で前回より 22 名減となったが、大阪で大阪維新の会が第 1 党となりその影響で 13 名の減となったのが大きかった。その他の都市では 1～3 名の微減にとどまっており、8 都市では第 1 党となっ

表5 15政令市議選 当選者数 2011.4.10執行

党派名	立候補者数	内 訳				当選者数	無投票	当選者構成比	内 訳				改選前	前回当選者数	議席増減	前回構成比
		現	元	新	女性				現	元	新	女性				
自民党	242	197	6	39	16	222	0	24.0%	190	5	27	15	262	276	△ 54	28.1%
民主党	237	147	1	89	41	147	0	15.9%	106	0	41	25	165	194	△ 47	19.7%
公明党	158	125	0	33	21	157	0	17.0%	124	0	33	21	161	169	△ 12	17.2%
共産党	163	97	12	54	72	99	0	10.7%	78	6	15	51	115	124	△ 25	12.6%
社民党	16	6	1	9	3	7	0	0.8%	5	1	1	1	10	15	△ 8	1.5%
みんなの党	64	4	1	59	8	40	0	4.3%	3	0	37	6	4		40	0.0%
諸派	129	48	4	77	40	74	0	8.0%	38	4	32	14	56	39	35	4.0%
首長系	59					46	0	5.0%	19	2	25	6	20		46	0.0%
無所属	352	153	23	176	38	178	0	19.3%	136	5	37	19	152	166	12	16.9%
合計 15市	1,361	777	48	536	239	924	0	100.0%	680	21	223	152	925	983	△ 59	100.0%
構成比	100.0%	57.1%	3.5%	39.4%	17.6%	100.0%			73.6%	2.3%	24.1%	16.5%				
前回(07年)	1,378	856	40	473	241	983	13		760	28	195	176				
構成比		62.1%	2.9%	34.3%	17.5%		1.3%		77.3%	2.8%	19.8%	17.9%				

前回の選挙は、仙台市、名古屋市が含まれていたが今回は除かれ、相模原市、岡山市が加わっている。当選者・諸派には、たちあがれ日本1が含まれている。



ている。議席占有率では前回の28.1%から22.9%に減少しており、党勢の回復には至っていないようだ。

民主党は、前回より23名減少し147名にとどまり、今回の選挙で第3党に落ち込んでしまった。特に横浜で11名、大阪で9名という大幅な減少が大きく、川崎・堺・神戸でもそれぞれ4名減らしている。横浜ではみんなの党に、大阪では平成維新の会にその議席を奪われたかたちである。札幌で1名増の22名となり自民に変わって第1党になったのが救いである。大都市に強いといわれた民主党が、政権獲得後の不手際が市民の信頼を失ったものともいわれている。前回17.2%あった議席占有率が16.2%に減少しており、大都市では「大敗」という表現を使ってもよいと思われる。

公明党は6名を減らしたものの157名が当選し、民主党に変わって第2党になった。ここでも不敗神話があったが、横浜でみんなの党に敗れたかたちで1敗を喫している。共産党は25名減らして99名になったが、大阪で平成維新の会の躍進で8名の減となったのが大きく響いていた。京都でも4名を減らしているが、自民党に続いて第2党を維持している。社民党は7名にとどまり前回より半減したが、仙台で6名いた議員の選挙が延期された影響が大きい。

みんなの党が初参加した大都市議会選で40名が当選している。横浜で13名、川崎で6名、相模原で4名が当選し、県会議員と同様に神奈川県内で23名という躍進ぶりが目立っており、神戸でも8名当選しているが、その他の都市では数名にとどまり、地域限定的な状況といえる。大阪・堺で大阪維新の会が躍進して第1党になっているが、これも府県議同様に別節で述べたい。

無所属は178名で22名の減となった。無所属は、新しく政令指定都市になった相模原、新潟、浜松、岡山で特に多く、これらの都市での都市化、多党化が遅れている状況を際立たせているようだ。

#### (4) 市長選挙、市会議員選挙

後半の統一地方選挙は、88市長・293市議会、13特別区長・21区議会、121町村長・374町村議会の選挙が行われたが、ここでは市長・市会選に限ってその特徴を見ることにする。

市長選挙は88市で行われたが、塩竈・会津若松・水戸の3市長選挙は大震災のため延期された(表6)。告示を終えて15市で無投票当選が出たが、前回07年の19市より少なかった。高松市では2回連続の無投票となり、北海道で6市が目についた。無投票の13市で現職が、2市では新人が

表6 市長選の結果

2011. 4. 24執行

改選数 88 (前回96)	立候補	うち 女性	内 訳			当選	構成比	うち 無投票	うち 女性	内 訳			前回当		
			現	元	新					現	元	新	選数	前回比	構成比
	195	15	67	1	127	87	98.9%	15	3	55	0	32	96	△ 9	100.0%
与党系	15	1	7	0	8	12	13.6%	2	0	6		6	8	4	8.3%
野党系	75	8	20	0	55	26	29.5%	1	2	15		11	43	△ 17	44.8%
相乗り	17		12	0	5	15	17.0%	2		11		4	23	△ 8	24.0%
その他	88	6	28	1	59	34	38.6%	10	1	23	0	11	22	12	22.9%
共産党	1		0	0	1	0	0.0%	0				0	0	0	0.0%
諸 派	7		0	0	7	1	1.1%	0				1	0	1	0.0%
合 計	203	15	67	1	135	88	100.0%	15	3	55	0	33	96	△ 8	100.0%
構成比	100.0%	7.4%	33.0%	0.5%	66.5%	100.0%		17.0%	3.4%	62.5%	0.0%	37.5%			

無所属の内訳は、国政での与党(民主党)・野党(自民系)の推薦・支持による分類。

当選している。73 市長選挙では、民主党と自民党の対決型選挙は 6 市にとどまり、3 勝 3 敗の結果となった。他には対立型が少なく盛り上がりには欠け投票率の低下が見られた。

当選者のうち現職が 55 名で、現職で落選したのは 12 市にとどまり、そのうち 3 名は 5 選をめざして敗れており、当選回数で見ると 6 選が 1 市、5 選が 3 市で、多選傾向は少なくなってきたものの、現職の強さが目についた。

その中でも、北海道夕張市で財政再建中の選挙にもかかわらず 30 歳の東京都職員であった若い市長が誕生したこと、大阪府吹田市で大阪維新の会公認の市長が初めて誕生したことなどが注目された。

市議選は 293 市で定数 7,104 で争われたが、前回の 310 市 8,024 の定数よりも 17 市 920 議席少なくなっていた(表 7 及び表 8)。無投票当選者は 116 名で、前回の 151 名よりも大きく減っている。

党派別に当選者を見ると、公明党が最も多く 915 名で全員当選を果たしているが、前回より立候補者が 59 名少なくなっていたものの、議席占有率では 12.1% から 12.9% にわずかに増加させている。第 2 党は共産党で、627 名が当選し前回より 145 名の大幅な減少となっており、1999 年の 1033 名をピークに毎回議席を減らしてきており、議席占有率でも 99 年の 9.7% から 8.8% に低下してきている。

次が自民党で、514 名が当選したが前回

表7 市議選の結果

2011. 4. 24執行

293市 (前回310)	立候補	うち 女性	内 訳			当選	構成比	うち 無投票	うち 女性	内 訳			前回当 選数	前回比	構成比
			現	元	新					現	元	新			
自民党	550	22	492	13	45	514	7.2%	2	20	468	11	35	598	△ 84	7.5%
民主党	487	66	317	10	160	389	5.5%	5	60	286	9	94	374	15	4.7%
公明党	915	286	684	1	230	915	12.9%	10	286	684	1	230	974	△ 59	12.1%
共産党	757	304	577	29	151	627	8.8%	9	252	493	27	107	772	△ 145	9.6%
社民党	106	18	80	2	24	85	1.2%	0	15	69	2	14	143	△ 58	1.8%
みんなの党	108	11	18	8	82	87	1.2%	0	8	16	7	64	87		0.0%
諸 派	144	66	67	3	74	105	1.5%	0	57	59	2	44	83	22	1.0%
無所属	5,558	495	3420	292	1846	4,382	61.7%	90	342	3088	194	1100	5,080	△ 698	63.3%
合 計	8,625	1,268	5,655	358	2,612	7,104	100.0%	116	1,040	5,163	253	1,688	8,024	△ 920	100.0%
構成比	100.0%	14.7%	65.6%	4.2%	30.3%	100.0%		1.6%	14.6%	72.7%	3.6%	23.8%			
前回(07年)	9,964	1,325	6,899	286	2,779	8,024		151	1,120	6,017	210	1,797			
構成比	100.0%	13.3%	69.2%	2.9%	27.9%	100.0%		1.9%	14.0%	75.0%	2.6%	22.4%			

表8 東京都21区議選の結果

2011. 4. 24執行

定数 821 (前回841)	立候補	うち 女性	内 訳			当選	構成比	うち 無投票	うち 女性	内 訳			前回当 選数	前回比	構成比
			現	元	新					現	元	新			
自民党	301	32	221	5	75	259	31.5%	0	24	206	0	49	275	△ 16	32.7%
民主党	177	45	86	2	89	87	10.6%	0	31	62	4	25	117	△ 30	13.9%
公明党	169	49	126	0	43	169	20.6%	0	49	126		43	178	△ 9	21.2%
共産党	134	54	107	2	25	121	14.7%	0	50	100	2	19	134	△ 13	15.9%
社民党	19	5	11	0	8	10	1.2%	0	4	8		2	14	△ 4	1.7%
みんなの党	72	13	11	3	58	51	6.2%	0	12	11	3	37	51		0.0%
諸 派	59	29	24	4	31	36	4.4%	0	22	19	1	16	32	4	3.8%
無所属	231	54	80	12	139	88	10.7%	0	28	65	5	18	91	△ 3	10.8%
合 計	1,162	281	666	28	468	821	100.0%	0	220	597	15	209	841	△ 20	100.0%
構成比	100.0%	24.2%	57.3%	2.4%	40.3%	100.0%		0.0%	26.8%	72.7%	1.8%	25.5%			
前回(07年)	1,110	255	672	45	393	841		0	215	610	32	199			
構成比	100.0%	23.0%	60.5%	4.1%	35.4%	100.0%		0.0%	25.6%	72.5%	3.8%	23.7%			

いずれも諸派には国民新党・たちあがれ日本が含まれている。

より 84 減の 514 名となったが、1991 年の 1,281 と比べると毎回の減少傾向が見え議席が半減しており、議席占有率でも 91 年の 11.2%から 7.2%に減少し党勢が衰退したことがわかる。

民主党は 389 名(議席占有率 5.5%)で、定数が減少した中でも 15 名増となっている。もともと 1999 年に 301 名(議席占有率 2.8%)で初めて地方選挙に進出しているので、政党としての歴史が浅く、地域に根付いていない実態を示しており、政権党としての基盤がきわめて不十分であることを表している。社民党は 58 名を減らして 85 名(議席占有率 1.2%)にとどまり、低落傾向に歯止めがかかっていない。

みんなの党は初の統一選で、87 名(議席占有率 1.2%)が当選している。東京 18、千葉 15、埼玉 9、神奈川と栃木が各 8、大阪 7 名など首都圏と大阪で多くの当選者を出しており、社民党を超える議席を獲得した。諸派は、22 名増加し 105 名となっているが、東京 30、大阪 12、埼玉 11 兵庫 10 など首都圏と近畿圏に集中している。東京・埼玉では生活者ネットワークが主な地域政党で、近畿圏は「維新の会」や「龍馬プロジェクト x 吹田新撰会」とネットワーク運動などの地域政党が中心である。

こうした新党や地域政党が進出したことにより無所属が大きく減少している。前回の 5,080 が 4,382 名と約 700 名の減少となったが、議席占有率では 63.3%から 61.7%に下がったものの 6 割台を維持しており、政党の組織化が地域に浸透していない状況を示していた。

統一地方選挙を終えて、首長選挙が現職優位のまま終わり、議会選挙では既成政党が議席を減らしながら、みんなの党だけが地域限定で躍進し、ローカルパーティーが大阪・愛知で躍進となって、無所属の議員

も減少をもたらした。勝者はいったい誰なのか、きわめてわかりにくい結果であったといえる。

### 3. 地域政党の躍進と背景

今回の地方選挙の特徴は、大阪・愛知における首長が主導した地域政党が躍進したことである。大阪の橋下知事のつくった「大阪維新の会」、名古屋の河村市長のつくった「減税日本」、愛知の大村知事の「日本一愛知の会」など首長新党が躍進した。

大阪では橋下知事が、大阪府全域を「大阪都」とし、政令都市である大阪市・堺市を解消させ府と一体化させる「大阪都構想」を提唱した。両市をなくし周辺市を含めて行政区を再編成して特別区とする構想で、この構想を実現するために地域政党「大阪維新の会」を 2010 年 4 月に立ち上げた。大阪府議会では、自民党の若手議員を中心に維新の会への参加が雪崩を打ち、選挙前には 29 名の最大会派となっていた(表 9)。

表 9 大阪府議選 2011.4.10 執行

党派	立候補	当選	改選前	増減	前回当選
大阪維新の会	60	57	29	28	
公明	22	21	23	△ 2	23
自民	32	13	23	△ 10	45
民主	33	10	24	△ 14	19
共産	38	4	10	△ 6	10
みんな	2	1	0	1	
社民	1	0	1	△ 1	1
ネットおおさか	0	0	1	△ 1	1
無所属	17	3	1	2	13
	205	109	112	△ 3	112

大阪府議の選挙区

	1人区	2人区	3~6人区	計
大阪市	15	9		24
堺市	2	4		6
31市4郡	15	8	8	31
1郡	1			1
計	33	21	8	62
維新の会当選者	29	21	7	57
内訳				
現				28
元				1
新				28

大阪市会でも、昨年5月の補欠選挙で維新の会の新人候補が自民・民主・共産などの候補を大きく破って勝利したのをスタートに、自民党議員の切り崩しが始まり、選挙前には12名になっていた(表10)。堺市会でも自民党を離れて維新の会に入ったのは7名の議員となっていた(表11)。

選挙結果は、大阪府議会選で57名が当選し、109の定員の過半数を占め、現職29名のうち28名が立候補し全勝している。大阪府議会は、62選挙区のうち定数1の小選挙区が33あり、この中から29名が当選し、2人区では1名ずつ立候補し21選挙区で全員当選となっていた。小さな選挙区で圧勝したことは、橋下知事の圧倒的な人気によるところが大きく、既成政党に不満を持つ層の票を多く吸収したものといえる。

大阪市会選では33名当選で第1党になったものの、定数86の過半数には届かな

かった。大阪市会選は24行政区が選挙区で定数2～6名の中選挙区であり、2人区ではそれぞれ1名ずつ当選したものの、3名区での複数当選はならず、5～6名区で複数当選を果たしたものの過半数には達しなかった。小選挙区と中選挙区の選挙制度の違いが当選数に表れていたものといえる。

堺市議会選(定数52)でも13名で第1党であるが、公明が12名、共産が8名、自民と無所属が7名、民主が5名で多党化した状況にある。

後半戦の選挙では、吹田市長選に大阪府議会で維新の会の幹事長代行をしていた新人候補が維新の会公認で立候補し、民主・社会推薦の現職候補を大差で破って初当選している。また、吹田市会選では、維新の会が1名トップ当選し、橋本知事に共感を持つ「龍馬プロジェクトx吹田新撰会」が3名当選している。

一方、愛知県議選(定数103)では、河村名古屋市長の「減税日本」が13名、大村知事の「日本一愛知の会」が5名当選しているが、自民が49、民主が26と大阪と比較すると伸びが見られない(表12)。減税日本も名古屋市内での議席だけで市外では当選者がなく、愛知の会は立候補者24のうち当選はわずか5名にとどまり、そのうち2名は無投票であった。県外やその他への波及は見られず、愛知県田原市、平塚市で出した市長候補はいずれも敗れている。

参考のために、2011年3月13日に執行されたリコール成立後の名古屋市会選(定数75)の結果は、減税日本28、自民19、公明12、民主11、共産5であり、減税日本の多くの候補者がトップまたは2位当選して第1党に躍進したものの、過半数には達していない(表13)。名古屋市会も2～7名の中選挙区制であり、大阪市会がこれと同じような結果になったものといえる。

表10 大阪市議選 2011.4.10執行

党派	立候補	当選	改選前	増減	前回当選
大阪維新の会	44	<b>33</b>	12	21	
公明	19	<b>19</b>	20	△1	20
自民	23	<b>17</b>	20	△3	30
民主	24	<b>8</b>	20	△12	17
共産	24	<b>8</b>	14	△6	16
みんな	1	<b>0</b>	0	0	
無所属	10	<b>1</b>	0	1	6
計	145	<b>86</b>	86	0	89

大阪市議の選挙区

	2人区	3人区	4人区	5人区	6人区
選挙区数	6	8	2	6	2
維新の会当選者	6	11	3	9	4
内訳	現	元	新	計	
	12	1	13	33	

表11 堺市議選 2011.4.10執行

党派	立候補	当選	改選前	増減	前回当選
大阪維新の会	15	<b>13</b>	7	6	
公明	12	<b>12</b>	13	△1	13
共産	10	<b>8</b>	8	0	8
自民	11	<b>7</b>	4	3	10
民主	12	<b>5</b>	10	△5	9
みんな	2	<b>0</b>	1	△1	0
無所属	15	<b>7</b>	8	△1	12
計	77	<b>52</b>	51	1	52

表12 愛知県議選

2011.4.10執行

党派	立候補	当選	改選前	増減	前回当選
自民	56	49	56	△7	57
民主	45	26	35	△9	38
減税日本	19	13	1	12	
公明	6	6	7	△1	7
愛知の会	24	5	0	5	
共産	4	0	0	0	0
みんな	2	0	0	0	
無所属	17	4	0	4	2
計	173	103	99	4	104

2月6日の名古屋市議リコール投票と同時の首長選挙で、名古屋市長選挙で河村市長が40万票以上の大差をつけて、愛知県知事選で大村秀章氏が100万票以上の大差で圧勝したことを思うと、首長新党の躍進には一定の限界も見られていたようである。

なお、大阪府議会で単独過半数を占めた大阪維新の会は、選挙後初めて開かれた議会で、教員に君が代の起立斉唱を義務付ける条例案を提出し、可決させた。選挙時のマニフェストに全くなく、維新の会を率いる橋下知事の意向を受けたものと見られる。知事は条例化の意図を「思想信条の自由ではなく、教育行政の組織マネジメントの問題であり、公務員の規律の厳格化をもとめるもの」としており、9月議会には複数回違反すれば懲戒解雇する条例をめざすとしている。議会と首長の二元代表制が「漂流」しはじめ、「崩壊」するような危惧を感じさせると事態である。

#### 4. これまでの統一地方選挙の経緯をふりかえって

1947(昭和22)年4月に全自治体で第1回統一地方選挙が行われてから今年の選挙で第17回になる。第1回目の地方選挙は、憲法・地方自治法の施行に先立って、1947(昭和22)年4月5日(土)に知事・市町村長の選挙が、4月30日(水)に議会議員の

表13 &lt;参考&gt;名古屋市議選の党派別当選者数

2011.3.13執行

党派	立候補	新議席	改選前	増減	前	元	新	前回当選
自民	24	19	23	△4	15	1	3	28
公明	12	12	14	△2	10		2	14
民主	27	11	27	△16	11			23
共産	16	5	8	△3	2	1		8
社民	0	0	1	△1				1
みんな	8	0	0	0				
減税日本	41	28	1	27			38	
無所属	10	0	0	0				1
合計	138	75	74	1	38	2	43	75

選挙が行われている。46都道府県、10,511市町村、東京22特別区で一斉に選挙が行われた。

4年後の第2回は、1951(昭和26)年4月23日(月)に市区町村の長と議員の選挙が、4月30日(月)に知事と都道府県会議員の選挙が行われた。公職選挙法では、議員及び首長の選挙は任期満了の日前30日以内で当該選挙管理委員会の定める日に行われることになっているが、この時は特例法(地方公共団体の議会の議員及び長の選挙期日等の臨時特例に関する法律)により2月1日～4月30日までに任期が満了する予定の選挙が統一されて執行された。この選挙は前年1950(昭和25)年に「公職選挙法」ができ、国の選挙と地方の選挙方法について1本の法律にまとめられて初めての選挙でもあった。

そして第3回が1955(昭和30)年4月23日(土)に都道府県と5大市の選挙が、4月30日(土)にその他の市区町村の選挙が行われ、この選挙では同年1月25日～5月20日までに任期が満了する選挙が統一された。この選挙では、昭和の大合併の影響を受けて、地方選挙全体に対する統一選挙の対象自治体の割合が既に半数を割り込んで46.35%となっていた。第4回は1959(昭和34)年4月23日(木)に都道府県と政令指定都市(1951年9月に5大市が政令指定都市になった)の選挙が、4月30

日（木）に市区町村の選挙が行われ、この時は同年4月1日～5月31日までに任期が満了する選挙が統一されている。

第5回の統一選挙から、現在と同じように3月1日～5月31日までに任期が満了する選挙が統一されることになり、4月17日（水）に都道府県と政令指定都市の選挙が、4月30日（火）に市区町村の選挙が行われた。その後、第6回と第7回では前半に都道府県と政令指定都市と特別区の選挙が行われた。第8回からは現在のように前半が都道府県と政令指定都市、後半が市区町村の選挙が行われるようになった。それまで選挙日が平日や土曜であり一定していなかったが、前半が4月の第2日曜日、後半が第4日曜日となって定着したのは1971（昭和46）年の第7回からである。

この間、市町村合併の他、首長の任期途

中の退職、死亡、議会の解散などにより統一地方選挙の対象となる件数は毎回減少を続けてきている。前回の第16回には3割を切る29.78%となり、今回の第17回では東日本大震災で東北3県において特例により選挙を6ヶ月延長したことなどもあって、27.40%にまで減少してしまった。選挙の種別で見ると、統一選挙での実施率が最も高いのは道府県会議員選挙で87.2%であり、47都道府県のうち41道府県で実施された。最も統一率の低いのは市長選挙で11.5%、町村長選挙で12.9%などであり、議会選挙より首長選挙の実施率の低いのが特徴である。第11回統一地方選挙以降の統一状況は資料1の通りとなっている。

（以上、総務省自治行政局選挙部「平成19年4月執行選挙結果調」統一地方選挙の沿革、年次別改選件数等による）

## II章 神奈川県内の選挙結果の特徴

### 1. 知事選・県議選

#### （1）県知事選挙

3月1日に松沢成文知事が突然東京都知事への出馬を表明し、県内の政界は大混乱となった。2011年度の県予算について骨格予算ながら増額で編成していただけに、松沢の3期目の出馬が確実視されていたのであった。この時点の立候補を表明していたのは共産党の推す鴨居洋子だけであり、選挙の告示までわずか20日ほどしかなく、各党とも新しい候補者選びが急遽始まった。2月のはじめに、過去2回の選挙戦で現職に対立候補を擁立していた自民党は、松沢知事が立候補すれば対立候補は立てないことを明言していたが、転出の声明を聞き候補者の公募をはじめた。民主党も県連代表

を中心にして水面下での候補者選びが始まり、選挙まで期間がないことから多党との相乗りを党本部に要請していた。

自民・民主の候補者が確定する直前の3月11日、これまで不出馬を漏らしていた石原都知事が4選に向けて出馬することを表明し、松沢の都知事転出の前途がふさがれた。まさにその日の午後、東日本大震災が発生した。混乱が数日あったものの、自民・民主両党は、元フジテレビのキャスターをしていたジャーナリスト黒岩祐治を候補者に決めた。この前後に、県内の町村会から開成町長の露木順一をおす声があがり、市長会の一部にも支持が広がり露木も立候補を決意した。こうして、松沢の後継をめぐって、鴨居、黒岩、露木の3者による選挙戦となった。

表14 神奈川県知事選

2011.04.10執行

氏名	年齢	得票	得票率	政党新旧	推薦
当 黒岩 祐治	56	1,728,862	55.5%	無新 ①	公 元キャスター
露木 順一	55	821,981	26.4%	無新	み 元開成町長
鴨居 洋子	66	466,223	15.0%	無新	共 女性団体役員
照屋 修	58	99,751	3.2%	無新	不動産業
有効投票		3,116,817	100.0%		
当日有権者数		7,217,422			
投票数・投票率		3,265,113	45.24%	(前回47.04%)	

選挙の結果は、知名度が高く、事実上、自民・民主の推す黒岩祐治が、新人候補としては史上最大の 172 万票余りを獲得し、次点の露木に 90 万票の差をつけて圧勝した(表 14)。町長からの転身を図った露木は、82 万票を獲得するも及ばなかった。岡崎知事以来の相乗り知事の誕生で、財政難の折から今後の安定的な県政運営を図ることを有権者が期待したものとも言える。

(2) 県会議員選挙

県会は、前年 12 月の議会で定数削減の議論があったものの、最終的には現行の定数 107 で争われることになった。各党とも候補者を絞り込んだため、前回の 172 名から 134 名と 38 名少なくなった。無投票当選は、川崎市幸区(定数 2)、逗子市・三浦郡(1)、秦野市(2)、座間市(1)、足柄上郡

(1)、足柄下郡(1)、愛甲郡(1)の 7 選挙区 9 名であり、前回の 13 名より 4 名少なくなっていた。

党派別の当選者を見ると、自民党が前回より 4 名増やして 40 名に増加した(表 15)。立候補した現職議員 29 名の全員が当選して議席を維持し、得票率を前回より 3.5 ポイント増の 34.4%を獲得し、議席の増加に結びつけている。現職全員の当選と合わせて、前回無所属で当選し自民党の会派に入り、今回公認で当選した三浦市や海老名市の候補と、相模原市、中郡などで前回失った議席を回復したことなどが議席増に結びついている。

民主党は前回より 5 名減らして 29 名となり低迷した。第 1 党をめざして定数 4 以上は複数候補者を擁立したが、政権交代後の支持率の低下により積極策が逆に出た。2 名当選したのは港北区のみで、7 選挙区では 1 名しか当選できず、青葉区では現職が共倒れとなった。現職は 25 名が立候補したが、当選できたのは 16 人にすぎず、議員団長が落選するなどベテラン議員の落選が目についた。しかし、川崎区、幸区、

表15 神奈川県議会 定数107

2011年4月10日執行

	立候補者	内 訳			当選者	構成比	内 訳				選挙前	増減	2007年 当選	構成比	前回比
		現	元	新			女性	現	元	新					
自 民 党	43	29	2	12	40	37.4%	3	29	1	10	38	△ 2	36	33.6%	4
民 主 党	48	25	2	21	29	27.1%	7	16	1	12	29	0	34	31.8%	△ 5
公 明 党	10	8	0	2	10	9.3%	1	8		2	12	△ 2	12	11.2%	△ 2
共 産 党	9	1	0	8	0	0.0%		0		0	1	△ 1	1	0.9%	△ 1
みんなの党	22	3		19	15	14.0%	2	2		13	3	12			15
神奈川ネット	6	0	0	6	1	0.9%	1			1	1	0	1	0.9%	0
社 民 党	0												1	0.9%	△ 1
無 所 属	39	14	5	20	12	11.2%		10	0	2	13	△ 1	22	20.6%	△ 10
合計	177	80	9	88	107	100.0%	14	65	2	40	97	10	107	100.0%	0
内訳の構成比	100.0%	45.2%	5.1%	49.7%	100.0%		13.1%	60.7%	1.9%	37.4%					
前回07年	172	90	13	75	107		11	77	1	29					
内訳の構成比	100.0%	52.3%	7.6%	43.6%	100.0%		10.3%	72.0%	0.9%	27.1%					

欠 10

鎌倉市など空白区で新人が当選したことなどにより、議席の減少を食い止めた。

みんなの党は、県会初挑戦で 15 議席を獲得し、党幹事長と政調会長のお膝元で躍進ぶりを見せた。1～2名区で自民・民主・みんなの党の三つともえとなった選挙区のうち、保土ヶ谷・緑・栄区で民主党のベテラン現職議員を破って当選している。みんなの党にその基盤を奪われ、最も影響が大きかったのが民主党であった。

公明党は立候補者を港北区と相模原市で 1 名ずつ少なくしたため、10 名が全員当選を果たしたものの 2 名減となった。共産党は前回まで持っていた 1 議席を失い、社民党も前回当選した議員が死去した後の議席を回復できず、ともにゼロとなってしまった。神奈川ネットワーク運動は、青葉区の新人 1 名が当選し唯一の議席を守った。

無所属議員は前回より 10 名少ない 12 名にとどまった。当選後の初議会での会派構成にあたって、12 名の無所属議員うち、麻生区、座間市、南足柄市、綾瀬市、寒川町、中郡の選出議員 6 名は保守系無所属の会派「県政会」を引き続きつづけている。小田原市、厚木市、伊勢原市、足柄下郡の 4 名は自民党の会派に入り、自民党会派は 44

名になった。逗子・葉山選出の議員は民主党に、大和選出の議員はみんなの党の会派に入ったため、民主党 30 名、みんなの党 16 名となっている。

新人議員の当選は、前回の 29 名から 40 名に増加し 37.4% と 4 割近くに達し、新旧交代が実現した選挙結果ともいえる。また、女性議員も 11 名から 14 名に増えている。

## 2. 政令市長・政令市議員選

### (1) 横浜市会議員選挙

横浜市議選は、定数をこれまでの 92 から 6 削減し 86 で争われたが、この定数削減が民主党の大敗と、ネットワーク横浜の消滅という大きな波乱を巻き起こした。

選挙結果を党派別に見ると、自民党は現職を中心に、現職の引退する選挙区のみ新人を擁立するなど候補者を 31 名に絞り込み、安定した選挙戦を展開し、前回と同様 30 名が当選した(表 16)。現職が戸塚区で 1 名落選したものの金沢区で新人が増えたことなどから、堅実な闘いぶりであった。

民主党は、政権交代後の党勢拡大をめざして定数 4 以上の区で複数候補の擁立をめざした。しかし、定数削減があり、しかも

表16 横浜市会 定数86 (前回92)

	立候補者	内 訳				当選者	構成比	内 訳				選挙前	増減	2007年 当選	構成比	前回比
		現	元	新				女性	現	元	新					
自 民 党	31	25	1	5	30	34.9%	2	24	1	5	28	2	30	32.6%	0	
民 主 党	32	23	0	9	17	19.8%	2	16		1	26	△ 9	28	30.4%	△ 11	
公 明 党	16	11	0	5	15	17.4%	1	10		5	16	△ 1	16	17.4%	△ 1	
共 産 党	15	3	2	10	5	5.8%	2	2	2	1	5	0	5	5.4%	0	
みんなの党	14	2		12	13	15.1%	1	2		11	2	11		0.0%	13	
神奈川ネット	3	0	0	3	1	1.2%	1			1	1	0	1	1.1%	0	
ネット横浜	6	3	0	3	0	0.0%		0		0	4	△ 4	4	4.3%	△ 4	
社 民 党	1		0	1	0	0.0%				0	0	0			0	
諸 派	6	5	0	1	2	2.3%		2		0	5	△ 3	4	4.3%	△ 2	
無 所 属	18	3	1	14	3	3.5%	1	3		0	5	△ 2	4	4.3%	△ 1	
合計	142	75	4	63	86	100.0%	10	59	3	24	92	△ 8	62	67.4%	24	
内訳の構成比	100.0%	52.8%	2.8%	44.4%	100.0%		11.6%	68.6%	3.5%	27.9%						
前回07年	142	77	7	58	92		15	71	2	19						
内訳の構成比	100.0%	54.2%	4.9%	40.8%	100.0%		16.3%	77.2%	2.2%	20.7%						

欠 0



政権への不信で支持率が低下する中で、この戦術はまったく裏目に出て、11名減の17名に減少し、得票も8万5千票減らした。港北・青葉区で3名、その他推薦を含め10区で2名の候補者を擁立したが、2名当選できたのは港北・旭の2区だけにとどまり、鶴見・南・都築区では現職を含めて共倒れになり議席ゼロとなり、青葉区でも2名落選となった。現職が10名落選し、新人の当選が1名だけという結果は、党勢衰退を読み切れず、複数擁立にこだわった戦術の失敗といえる。

公明党は、前回と同様16名を擁立したが、15名に終わった。金沢区で自民とみんなの党の新人に追い上げられるかたちでベテラン議員が落選し、全国でも珍しく大阪府議選と並んで全員当選を果たせない選挙区となった。

共産党は、15名を擁立し議席拡大をねらったが、前回と同数の5名に終わった。南・戸塚区で元職の復活当選を果たせたものの、港南・旭区で現職が議席を失うなど出入りの激しい選挙結果であった。

ネットワーク横浜は、昨年の栄区での補欠選挙の勝利などもあり6名を擁立し拡大をめざしたが、現職4名を含め全員落選となってしまった。神奈川ネットワークから分離してから2度目の選挙であったが、有権者から新鮮さが失われたとの見方もあり、神奈川区で神奈川ネットワークとの競合に調整がつかず共倒れする結果になってしまった。神奈川ネットワークは、発祥の地である青葉区で1名当選し唯一の議席を守った。

躍進したのはみんなの党であり、14名の立候補者のうち13名が当選するという成果であった。党幹事長の選挙区である青葉区、隣接する都築・港北区でトップ当選を果たし、定数の削減にもかかわらず、各区

で上位当選している。民主党の共倒れや議席を落とした区などでは新人議員が当選しており、今回の選挙で最大の旋風を巻き起こした。

2003年の選挙で中田市長の支持をうけるかたちでつくられた「ヨコハマから日本を変える会」は9名が当選して旋風となったが、前は4名が当選、民主党で当選した議員の一部を会派に加え11名の会派を保っていた。しかし、2009年8月、中田市長が突然辞任し、民主党推薦による林市長が登場し、会派としての去就が注目されていた。選挙結果は現職2名が当選したにとどまり、その影響力は衰退した。社民党は、議席獲得ができなかった。

無所属は18名が立候補したが、3名の現職だけが当選した。当選後の初議会で、栄区でトップ当選した議員はみんなの党の会派に入り、みんなの党は14名となった。残る2名の議員と神奈川ネットワークの1名が「ネット・無所属クラブ」の会派をつくっている。

定数削減とみんなの党の躍進は、民主党の議席の大幅減少に終わったのがこの市議選の結果である。ベテランの現職議員が落選したことなどもあり、新人が前回の19名から24名に増え、3割近い新人議員(27.9%)が新旧交代を果たしたのも特徴的であった。しかし、女性が15名から10名に減ったのは残念なことであった。

## (2) 川崎市議会議員選挙

川崎市議選は、選挙直前の議会で定数を3名減らし60の議席で争われた。ここでも、定数削減とみんなの党の躍進は、民主党に大きな影響を与えた。

選挙結果を党派別に見ると、自民党は、前回23名と多数の候補者を出し落選者が一番多かったことの反省から、候補者を19

表17 川崎市議会 定数60（前回63）

	立候補者	内 訳			当選者	構成比	内 訳				選挙前	増減	2007年 当選	構成比	前回比
		現	元	新			女性	現	元	新					
自 民 党	19	16		3	16	26.7%	1	15		1	16	0	17	27.0%	△ 1
民 主 党	19	12		7	14	23.3%	4	9		5	16	△ 2	18	28.6%	△ 4
公 明 党	13	10		3	13	21.7%	2	10		3	14	△ 1	14	22.2%	△ 1
共 産 党	10	10		0	10	16.7%	5	10			10	0	10	15.9%	0
みんなの党	6	0		6	6	10.0%	1			6	0	6			6
神奈川ネット	4	1		3	0	0.0%		0		0	2	△ 2	2	3.2%	△ 2
無 所 属	10	2	1	7	1	1.7%	1	1		0	4	△ 3	2	3.2%	△ 1
合 計	81	51	1	29	60	100.0%	14	45	0	15	62	△ 2	46	73.0%	14
内訳の構成比	100.0%	63.0%	1.2%	35.8%	100.0%		23.3%	75.0%	0.0%	25.0%					
前回07年	81	51	1	29	63		14	50	2	11					
内訳の構成比	100.0%	63.0%	1.2%	35.8%	100.0%		22.2%	79.4%	3.2%	17.5%					

欠 1

名に絞った戦術が功を奏し、前回より1名減の16名が当選した（表17）。幸区で候補者を1名に絞ったことと、中原区で現職1名が落選したものの新人が入ったことなど、現職中心の着実な選挙戦であった。

民主党は、前回より1名少ない19名を立てたが、前回より4名減の14名にとどまり、得票も3万9千票減らして、前回第1党となった座席を自民党に明け渡した。川崎・高津・宮前区で現職議員が落選し、多摩区で前回の3から2名に候補者を減らしたことなどがあり議席減となったが、新人が5名当選し新旧交代が見られた。

公明党は、定数減となった川崎区で候補者を1名減らし13名で臨んだが、全員当選を果たしている。共産党は、現職10名だけに絞って立候補したが、手堅い戦術が実り全員当選を果たした。神奈川ネットワークは現職1名含め4名立候補させたが、全員が落選となって議席を失った。

みんなの党の躍進が川崎でも見られ、多摩区を除く6区で1名ずつ候補者を立てたが、全員当選を果たした。中原・高津区でトップ当選、幸・高津区で2位当選など多くの得票を得ていた。6名のうち3名が衆議院議員の秘書出身者でしめられている。

無所属は、現職1名だけが当選した。選挙後、民主党から多摩区で当選した議員が、

定数削減問題に絡んで会派を離れたため、民主党は13名で公明党と肩を並べることとなり、これまで持っていた副議長を公明党に明け渡すことになった。無所属の会派は2名となった。

自民・公明だけでは過半数に達せず、みんなの党の動向が注目され、民主党の衰退傾向が見られた選挙であった。新人の当選が前回の11名から15名になり、4分の1を占めて新旧交代が進んだ結果になった。女性は14名で変わらなかった。

### （3）相模原市長選

旧津久井郡4町がすべて相模原市に合併した終わった直後の2007年4月の市長選で初当選した加山俊夫市長が、2010年に念願の政令指定都市入りを果たし、初めての選挙戦に臨んだ。共産党の新人菅野通子がいち早く立候補声明をし、旧津久井郡から選出された県議の榎本与助元議長も名乗りを上げて、現職との三つともえとなった。

選挙結果は、加山市長の圧勝で、政令市として再選を果たした（表18）。前回1万8千票の僅差で当選（得票率53.7%）したことからすると、2期目の今回は他の候補を10万票以上の大差（得票率64.3%）をつけての当選であった。加山市長は、震災後の災害対策本部会議などの公務を執行し

表18 相模原市長選

2011/04/10執行

氏名	年齢	得票	得票率	政党新旧	推薦
当 加山 俊夫	66	177,899	64.3%	無現 ② 公	元助役
榎本 与助	65	67,131	24.2%	無新	元県会議長
菅野 通子	69	31,846	11.5%	共新	元市会副議長
有効投票		276,876	100.0%		
当日有権者数		563,464			
投票数・投票率		285,113	50.60%	(前回・旧相模原市47.38%)	

政令指定都市となり、市内が3つの行政区に分かれて初めての選挙戦であった。今回は旧津久井郡に6議席、旧相模原市に46議席が与えられ定数は52となっていたが、今回は定数が3減らされ49で争われることになった。立候補者は76名で激戦となった。

ながらの選挙戦であったが、防災と子育て・高齢者の支援拡充を前面に出し、特に「市民の安全・安心を守る」という現職としての訴えが、安定を求める市民の間に浸透したものといえる。

榎本元県議は、政令市移行について意見が違った加山市長との一騎打ちを期待していたのだが、共産党の菅野元副議長の出馬により、現行市政への批判票が分散されてしまい選挙戦術が大きな狂いが生じてしまった。地盤である緑区での得票も、得票率で3分の1を超えた(25.7%)だけで、他の区では2割程度であった。菅野市議は、県議・市議候補との立体的な選挙戦を繰り広げ、これまでの共産党市議の得票を大きく上回る3万票を獲得した。市議・県議選への相乗効果のあった闘いであった。

選挙結果を党派別に見ると、民主党が候補者を15名と前回より7名増やし議席の拡大をめざしたが、1名増の9名にとどまった(表19)。現職が緑区で2名、中央区で1名落選したが、それぞれ新人が交替して当選し、南区で新人1名が増加した。公明党は、現職5、新人3の計8名を立候補させ、前回と同数になる全員当選を果たし、定数減の中で勢力を維持した。共産党は、前回の候補者8名から現職3と新人2の5名に絞って立候補させたが、現職3と新人1名が当選し、前回と同数の4議席を確保した。市長選に公認候補を立てた立体選挙が効果を発揮したものといえる。社民党は現有の1議席を確保した。

みんなの党は、初の参戦で、南区で2名、緑・中央区で各1名の4議席を獲得した。これまで公認候補を擁立してこなかった自民党だが、中央区から無所属だった現職1

(4) 相模原市議会議員選挙

表19 相模原市議会 定数49(前回52)

	立候補者	内 訳			当選者	構成比	内 訳				選挙前	増減	2007年 当選	構成比	前回比	
		現	元	新			女性	現	元	新						
自 民 党	1	1		0	1	2.0%		1			1	0	0	0.0%	1	
民 主 党	15	6		9	9	18.4%		3		6	8	1	8	15.4%	1	
公 明 党	8	5		3	8	16.3%		5		3	8	0	8	15.4%	0	
共 産 党	5	3		2	4	8.2%		3		1	3	1	4	7.7%	0	
みんなの党	5	0		5	4	8.2%				4	0	4			4	
神奈川ネット	1	0		1	0	0.0%				0	1	△1	1	1.9%	△1	
社 民 党	1	1		0	1	2.0%		1			1	0	1	1.9%	0	
無 所 属	40	25	1	14	22	44.9%		2	20	1	1	29	△7	30	57.7%	△8
合計	76	41	1	34	49	100.0%		8	33	1	15	50	△2	52	100.0%	△3
内訳の構成比	100.0%	53.9%	1.3%	44.7%	100.0%	2.0%	16.3%	67.3%	2.0%	30.6%						
前回07年	78	33	2	43	52			11	31	2	19					
内訳の構成比	100.0%	42.3%	2.6%	55.1%	100.0%		21.2%	59.6%	3.8%	36.5%						

名を公認して立て、公認候補の当選を果たした。神奈川ネットワークは、中央区から現職に変え新人が立候補したが、当選することができず、これまでの議席を失った。

無所属は、定数減により大きく議席を減らし、前回の30から22に減少した。無所属議員のうち自民党籍を持つ現職14名が全員当選したことから、自民党議員を含め緑区の3、中央区の6、南区の8名の計17名が前回と同様「新政クラブ」をつくり最大会派を維持し、自民党公認の当選者が議長を獲得した。緑区の現職2、中央区の現職1名が民主党と同一会派として「民主・無所属の会」を13名でつくり、第2会派になり副議長を獲得した。公明8・共産4はそれぞれの党名の会派となった。社民党と無所属の緑・中央区の現職は3名で「市民連合」の会派をつくった。みんなの会は、会派をひとつにまとめることができず、緑・南区の当選者と緑区の無所属現職の3人で「みんなのクラブ」をつくり、中央区と南区の2名で「みんなの党相模原」をつくって分裂状態となっている。

市長選挙との関係では、全議員のうち3分の2は加山市長の支持を表明しており、市長にとっては安定した議会運営となるものと思われる。

## 2. 市長・市会選、町長・町会選

### (1) 4市長選

県内の統一地方選の後半戦は、4市長と2町長選、10市議会と4町議会選が行われた。

#### ①平塚市長選挙

現市長の引退に伴い、柏木徹元衆議院議

員秘書と、落合克宏元市会議長、減税日本の公認水嶋一耀の新人3名が立候補し三つともえの闘いとなった。選挙結果は、落合氏が柏木氏を約1万2千票の差をつけて初当選した(表20)。

落合氏は、地元の有力経済団体や労働組合、現市長の後援会幹部などから支えられる幅広い組織をつくりあげた。市職員時代の経験で防災担当を努めたことや、行政に精通した手堅さをアピールし、幅広い支持を得た。柏木氏は、国会議員秘書時代に培った人脈を中心に後援会活動を続け、市役所の民営化などによる行財政改革を訴えたが、及ばなかった。水嶋氏は、市民税10%削減などを公約に掲げた減税日本の公認と

表20 平塚市長選

当	氏名	年齢	得票	得票率	政党	新旧	略歴
	落合 克宏	53	46,127	45.9%	無所属	新①	(元)市議長
	柏木 徹	48	34,480	34.3%	無所属	新	(元)衆議院議員秘書
	水嶋 一耀	67	19,980	19.9%	諸派	新	飲食会社社長
合 計			100,587	100.0%			
当日有権者数			208,070				
投票者総数・投票率			103,775	49.88%	(前回 53.75%)		

表21 茅ヶ崎市長選

当	氏名	年齢	得票	得票率	政党	新旧	略歴
	服部 信明	49	35,287	40.3%	無所属	現③	(元)県議
	藤間 明男	56	29,206	33.4%	無所属	新	(元)県議
	永田 輝樹	47	23,079	26.4%	無所属	新	(元)市議
合 計			87,572	100.0%			
当日有権者数			192,631				
投票者総数・投票率			89,689	46.56%	(前回 49.04%)		

なったが、広がりにつけて2割の得票にとどまった。

#### ②茅ヶ崎市長選挙

現職の服部信明市長が3期目をめざしたのに対して、新人の藤間明男学校法人理事と、水田輝樹元市議が立候補し、3つともえの闘いとなった。選挙結果は、現職の服部氏が次点の藤間氏を6千票の差をつけて3選を果たした(表21)。

服部氏は、民主・公明両党の県組織からの推薦を受け、2期8年の実績の中で行ってきたさまざまな新規事業をアピールするとともに、大震災に耐えられる新市役所建設の必要性を訴えた。これに対して2新人は建て替え反対を正面に据えて闘いを挑んだ。藤間氏は、市役所建て替え反対一点に争点を絞って訴えて精力的な街頭活動を続けた。永田氏は、市会議員からの転身で立候補表明が2月と遅れたことから、藤間氏と同じ市庁舎問題を前面に出したものの出遅れは否めなかった。最終的には、服部氏が現職の強みを発揮し、安心・安定をのぞむ有権者に浸透し、予想外の接戦を制することになった。

### ③大和市長選挙

現職の大木哲市長は、前回現職を4選阻止の多選批判のスローガン一本で破っており、今回2期目をめざした。これに対して、市会議長の経験を持つ荻窪幸一市議が立ち、一騎打ちとなった。選挙結果は、現職の大木氏が、2万2千票余りの大差をつけて再選を果たした（表22）。

大木氏は、「健康都市やまと」を掲げ、医療体制の充実などを図ってきた実績を強調し、政党からの推薦は受けなかったものの、民主・自民・公明の各党支持者に浸透していった。荻窪氏は、5期20年の市議時代の実績や、厚木基地の騒音問題などへの取り組みを訴え、自治基本条例の理念を白紙にしたと大木氏を批判し、社民党と神奈川ネットの推薦を受けた。しかし、基地の騒音問題は選挙の争点とならず、有権者への浸透が遅れた。そして現職大木氏が、市民

表22 大和市長選

氏名	年齢	得票	得票率	政党	新旧	略歴
当 大木 哲	62	48,157	65.0%	無所属	現②	歯科医師
荻窪 幸一	55	25,899	35.0%	無所属	新	(元)市議長
合 計		74,056	100.0%			
当日有権者数		180,053				
投票者総数・投票率		76,349	42.40%			(前回 47.38%)

表23 南足柄市長選

氏名	年齢	得票	得票率	政党	新旧	略歴
当 加藤 修平	62	10,306	44.3%	無所属	新①	(元)市部長
沢 長生	63	9,686	41.6%	無所属	現	(元)写真会社員
杉本 健二	55	1,670	7.2%	無所属	新	(元)小田原市職員
滝本 妙子	61	1,618	7.0%	無所属	新	(元)市議
合 計		23,280	100.0%			
当日有権者数		35,759				
投票者総数・投票率		23,507	65.74%			(前回 71.17%)

病院医師の増員や保育所の定員増、小中学校の耐震工事の完成などの実績の訴え、市政の継続を訴えたのが成功した。

### ④南足柄市長選挙

現職の沢長生市長が、3選をめざして立候補したのに対して、加藤修平元市部長、杉本健二元小田原市職員、そして滝本妙子元市議の3新人が挑戦した。選挙結果は、前回に続いて市長選で2回目の挑戦となった加藤氏がわずかに600票の差で現職を破り、初当選を果たした（表23）。

市財政の基盤を担ってきた法人市民税収入が富士フイルムの業績不振で大幅に減少し、沢市長が市の財政難を解消する対策として打ち出した文化会館の休館や固定資産税の増税が、市民や議会の反対で撤回を余儀なくされた。この不手際が新人候補にそれぞれ指摘された。さらに小田原市との合併に前向きな姿勢をしめす沢氏に対し、加藤氏が「吸収合併となるよりも財政再建が優先」と反論し、農業振興など地域経済の活性化を訴え、支持を広げたのが勝因であった。他の2氏は得票を伸ばせず、批判票が加藤氏に集中したのも有権者の選択であった。

### (2) 開成町長・湯河原町長選挙

開成町では、露木町長が知事選に出馬して自動失職したため、統一選での選挙となった。露木氏が2期目以降は無投票当選を続けていたため13年ぶりの選挙となり、府川裕一元町会議長と、山本研

表24 開成町長選

氏名	年齢	得票	得票率	政党	新旧	略歴
当 府川 裕一	55	4,850	57.3%	無所属	新①	元町会議長
山本 研一	57	3,611	42.7%	無所属	新	元自動車会社員
合 計		8,461	100.0%			
当日有権者数		12,587				
投票者総数・投票率		8,603	68.35%			(前回 2010.無投票)

表25 湯河原町長選

氏名	年齢	得票	得票率	政党	新旧	略歴
当 富田 幸宏	53	9,047	74.6%	無所属	現②	元町議、観光組会理事
中島 寛	61	3,081	25.4%	無所属	新	元町議、都職員
合 計		12,128	100.0%			
当日有権者数		22,783				
投票者総数・投票率		12,326	54.10%			(前回 66.96%)

一元自動車会社員の新人2人で争われた。選挙結果は、府川氏が1200票の差で初当選を果たした(表24)。2人とも露木町政の継承を訴えたが、町議3期の実績と知名度にまさる府川氏が一騎打ちを制したことになる。

湯河原町長選は、前回の町長選で3人の新人争いを最年少で勝利した富田幸宏町長が2期目をめざしたのに対して、中島寛元町議が挑戦した。選挙結果は、富田町長が約6千票の大差をつけて再選を果たした(表25)。富田氏は、周辺市町の首長や県議と町議の支援を取り付け、1期目に推進した行財政改革の成果を強調し、町観光の発展も訴えながら支持層を拡大していき、勝利に結びつけた。

### (3) 10市議選

今回は11市議選が行われたが、相模原市が政令市へ移行したため、10の市議選が行われ、前回より定数が12名削減され、264名の議席が争われた(表26)。選挙結果を党派別に見ると、第1党が公明党で前回より1増の43名、第2党は共産党で3減の24名であり、自民党が1減の18名、民主党も1減の13名であった。みんなの党が初の選挙で5市で8名が当選した。

神奈川ネットは5減の7名、社民党は5減の2名にとどまった。圧倒的に多いのが無所属で、149名と56%を占めており、無所属の割合が少ないのは藤沢の44.1%、大和の46.2%などで、最も多いのが南足柄の80%となっていた。

以下、各都市別の特徴を見てみることにする(表27)。

#### ①横須賀市議会議員選挙

横須賀市議選は、前回より定数が2減の41名となり、ほぼ前回並みの61名という多数の候補者で争われた。選挙結果は、党派別に見ると、自民党が1減の8名、公明党が前回と同様に7名全員当選、共産党も前回並みに3名が全員当選した。

民主党は、前回当選した2名が無所属となり、新人2名が立候補したが、当選でき

表26 10市議会 合計

	立候補者	内 訳			当選者	構成比	内 訳				選挙前	増減	2007年 当選	構成比	前回比
		現	元	新			女性	現	元	新					
自 民 党	19	14		5	18	6.8%	1	14		4			19	6.9%	△ 1
民 主 党	21	9		12	13	4.9%	2	7		6			14	5.1%	△ 1
公 明 党	43	31		12	43	16.3%	15	31		12			42	15.2%	1
共 産 党	28	22	0	6	24	9.1%	11	21		3			27	9.8%	△ 3
みんなの党	12	1	2	9	8	3.0%	1	1	2	5				0.0%	8
神奈川ネット	9	2		7	7	2.7%	7	1		6			12	4.3%	△ 5
社 民 党	3	1		2	2	0.8%	0	1		1			7	2.5%	△ 5
諸 派	0	0		0	0	0.0%	0	0		0			0	0.0%	0
無 所 属	206	119	3	84	149	56.4%	18	110	1	38			155	56.2%	△ 6
合 計	341	199	5	137	264	100.0%	55	186	3	75			276	100.0%	△ 12
内訳の構成比	100.0%	58.4%	1.5%	40.2%	100.0%		20.8%	70.5%	1.1%	28.4%					
前回07年	358	211	12	151	276		60	196	9	71					
内訳の構成比	100.0%	58.9%	3.4%	42.2%	100.0%		21.7%	71.0%	3.3%	25.7%					

ず議席がゼロとなってしまった。無所属になった議員のうち1名は当選したが、1名は落選している。みんなの党が2名立候補したが2名とも当選できず、初議席を獲得できなかった。神奈川ネットワークも現職1名が再選をめざしたが、落選し議席がゼロとなった。

無所属は、現職が20名、新人が17名、計37名が立候補したが、現職は18名が当選し、新人はわずか5名の当選にとどまり23名と前回より2名増となっている。結果としては、民主党の議席減が無所属に移ってしまう結果になった。

### ②平塚市議会議員選挙

平塚市議選は、前回と同じ30の定数で争われ、34名の立候補で少数激戦となった。選挙結果は、民主党が2名当選したが2名とも新人である。前回当選した2名はいずれも無所属となり今回も立候補していたが1名は落選している。自民党が初めて公認候補を出し1名当選した。公明党は、前回と同じ5名を立てて全員当選を果たし、共産党も3名を立てて全員当選を果たした。神奈川ネットワークは新人に変えて1議席を確保した。

社民党は、現職が引退し新人を擁立したが、当選できず議席をゼロにした。みんなの党は、立候補者がなかった。

無所属は、前回より1名減の18名となった。候補者が絞られていたことから、現職は17名の立候補のうち16名が、新人は2名が当選した。選挙結果の議席配分は、前回とほぼ同じ状況で終わっている。

### ③藤沢市議会議員選挙

藤沢市議選は、前回と同じ36の定数で争われ、43名が立候補し激戦となった。選挙結果を党派別に見ると、自民党は現職1名が引退したため現職1減の4名が立候補し、全員が当選した。民主党は、前回より

1多い4名が立候補し、全員当選を果たした。公明党は、前回と同じ6名が立候補し、全員当選した。共産党は、前回と同じ4名が立候補したが、3名の当選にとどまった。社民党は、現職1名の議席を守り、神奈川ネットワークは新人に変えて1議席を確保した。みんなの党は、4名立候補したが、元議員が1、新人が1の計2名が初議席を得た。

無所属は、前回より立候補が9名減り19名であったが、前回より2名少ない15名となった。この選挙の結果、現職が25名立候補して全員当選となり、元職が1名減、新人1名増であり、新旧交代は進まず大きな変化は見られなかった。

### ④小田原市議会議員選挙

小田原市議選は、定数が前回と同じ28で争われ、34名が立候補した。選挙結果を党派別に見ると、民主党が、現職の1名が議席を守り、自民党は公認候補を立てなかった。公明党は前回と同じ4名が立候補し、全員当選しており、共産党も前回と同じ3名を立候補させ全員当選を果たしている。社民党は、現職が引退して立候補者がなく2名の減となり、みんなの党も立候補がなく、神奈川ネットワークも立候補がなく2名の減となった。

結果として無所属が、前回の16から4名増えて20名となった。都市部における多党化の波が、ここではやや止まってしまったような印象を受ける選挙結果である。

### ⑤茅ヶ崎市議会議員選挙

茅ヶ崎市議選は、定数が前回より2減の28で争われ、37名が立候補する激戦となった。選挙結果を党派別に見ると、自民党は、公認候補を前回より1減の現職3名だけに絞り、全員が当選した。民主党は、前回同様1名だけの立候補で、前回に続いてトップ当選を果たした。公明党は、前回と

表27 10市議会選 党派別立候補者数・当選者数

2011. 4. 24執行

		横須賀市	平塚市	藤沢市	小田原市	茅ヶ崎市	三浦市	大和市	伊勢原市	南足柄市	綾瀬市	10市計	うち女性		
定数	11年	41	30	36	28	28	15	28	21	16	21	264			
	07年	43	30	36	28	30	18	29	24	16	22	276			
	07年比	△ 2	0	0	0	△ 2	△ 3	△ 1	△ 3	0	△ 1	△ 12			
自民党	立候補者	11年	9	1	4		3		2			19	1		
		07年	10		5		4		1			20			
	当選者数	11年	<b>8</b>	<b>1</b>	<b>4</b>		<b>3</b>		<b>2</b>			<b>18</b>	<b>1</b>		
		07年	9		5		4		1			19	1		
増減	07比	△ 1	1	△ 1	0	△ 1	0	1	0	0	0	△ 1			
民主党	立候補者	11年	2	2	4	2	1	2	5	2		1	21	2	
		07年	2	2	3	1	1	2	3	1		1	16		
	当選者数	11年	<b>0</b>	<b>2</b>	<b>4</b>	<b>1</b>	<b>1</b>	<b>0</b>	<b>2</b>	<b>2</b>		<b>1</b>	<b>13</b>	<b>2</b>	
		07年	2	2	2	1	1	1	3	1		1	14	2	
増減	07比	△ 2	0	2	0	0	△ 1	△ 1	1		0	△ 1			
公明党	立候補者	11年	7	5	6	4	5	2	5	3	2	4	43	15	
		07年	7	5	6	4	5	2	5	2	2	4	42		
	当選者数	11年	<b>7</b>	<b>5</b>	<b>6</b>	<b>4</b>	<b>5</b>	<b>2</b>	<b>5</b>	<b>3</b>	<b>2</b>	<b>4</b>	<b>43</b>	<b>15</b>	
		07年	7	5	6	4	5	2	5	2	2	4	42	13	
増減	07比	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	1			
共産党	立候補者	11年	3	3	4	3	2	3	4	3	1	2	28	12	
		07年	3	3	4	3	3	3	4	3	1	2	29		
	当選者数	11年	<b>3</b>	<b>3</b>	<b>3</b>	<b>3</b>	<b>1</b>	<b>3</b>	<b>3</b>	<b>2</b>	<b>1</b>	<b>2</b>	<b>24</b>	<b>11</b>	
		07年	3	2	4	3	3	3	4	2	1	2	27	13	
増減	07比	0	1	△ 1	0	△ 2	0	△ 1	0	0	0	△ 3			
社民党	立候補者	11年		1	1		1					3	0		
		07年		2	1	2	1			2	1		9		
	当選者数	11年		<b>0</b>	<b>1</b>		<b>1</b>					<b>2</b>	<b>0</b>		
		07年		1	1	2	0			2	1		7	0	
増減	07比		△ 1	0	△ 2	1			△ 2	△ 1		△ 5			
みんなの党	立候補	11年	2		4		3		2		1	12	2		
	当選者	11年	<b>0</b>		<b>2</b>		<b>3</b>		<b>2</b>		<b>1</b>	<b>8</b>	<b>1</b>		
神奈川ネット	立候補者	11年	1	1	1	0	1	0	3	1	0	1	9	9	
		07年	1	1	1	2	1			3	2	0	1	12	
	当選者数	11年	<b>0</b>	<b>1</b>	<b>1</b>		<b>1</b>		<b>2</b>	<b>1</b>		<b>1</b>	<b>7</b>	<b>7</b>	
		07年	1	1	1	2	1			3	2		1	12	
増減	07比	△ 1	0	0	△ 2	0	0	△ 1	△ 1	0	0	△ 5			
無所属	立候補者	11年	37	21	19	25	21	11	22	22	14	14	206	26	
		07年	40	27	28	21	29	13	16	20	19	17	230		
	当選者数	11年	<b>23</b>	<b>18</b>	<b>15</b>	<b>20</b>	<b>13</b>	<b>10</b>	<b>12</b>	<b>13</b>	<b>12</b>	<b>13</b>	<b>149</b>	<b>18</b>	
		07年	21	19	17	16	16	12	11	16	13	14	155	19	
	増減	07比	2	△ 1	△ 2	4	△ 3	△ 2	1	△ 3	△ 1	△ 1	△ 6		
構成比	11年	56.1%	60.0%	41.7%	71.4%	46.4%	66.7%	42.9%	61.9%	75.0%	61.9%	56.4%	32.7%		
合計	立候補者	11年	61	34	43	34	37	18	43	31	18	22	341	67	
		07年	63	40	48	33	44	20	34	29	22	25	358		
	当選者数	11年	<b>41</b>	<b>30</b>	<b>36</b>	<b>28</b>	<b>28</b>	<b>15</b>	<b>28</b>	<b>21</b>	<b>16</b>	<b>21</b>	<b>264</b>	<b>55</b>	
		07年	43	30	36	28	30	18	29	24	16	22	276	60	
	07比	△ 2	0	0	0	△ 2	△ 3	△ 1	△ 3	0	△ 1	△ 12			
	現	立候補者	11年	34	24	25	20	18	14	18	18	13	15	199	
			07年	34	24	28	25	23	10	21	16	13	17	211	
	当選者数	11年	31	23	25	19	17	13	14	16	13	15	186		
		07年	34	24	25	23	20	9	20	16	9	16	196		
	元	立候補者	11年	0	0	1	0	2	1	1	0	0	0	5	
			07年	1	0	3	0	1	4	0	2	1	0	12	
	当選者数	11年	0	0	1	0	1	1	0	0	0	0	3		
		07年	0	0	2	0	1	4	0	1	1	0	9		
	新	立候補者	11年	27	10	17	14	17	3	24	13	5	7	137	
			07年	28	16	28	16	17	6	13	11	8	8	151	
		当選者数	11年	10	7	10	9	10	1	14	5	3	6	75	
			07年	9	6	9	5	9	5	9	7	6	6	71	
構成比	11年	24.4%	23.3%	27.8%	32.1%	35.7%	6.7%	50.0%	23.8%	18.8%	28.6%	28.4%			
07年	20.9%	20.0%	25.0%	17.9%	30.0%	27.8%	31.0%	29.2%	37.5%	27.3%	25.7%				
女性	立候補者	11年	9	6	9	7	12	3	8	6	2	5	67		
		07年	10	6	11	5	9	3	7	5	4	5	65		
	当選者数	11年	6	6	7	6	10	3	6	4	2	5	55		
		07年	8	5	10	5	9	3	7	5	4	4	60		
構成比	11年	14.6%	20.0%	19.4%	21.4%	35.7%	20.0%	21.4%	19.0%	12.5%	23.8%	20.8%			
07年	18.6%	16.7%	27.8%	17.9%	30.0%	16.7%	24.1%	20.8%	25.0%	18.2%	21.7%				



同様5名を立候補させ、全員当選を果たした。共産党は、前回より1減の新人2名を立候補させたが、1名の当選にとどまった。みんなの党は、県会で議席獲得をしたのを受け新人2、元職1の3名をたて、3名とも当選した。神奈川ネットワークは、現職が引退して新人1名を立て、議席を確保している。社民党は、前回議席を得られなかったが、今回は新人が当選し1議席を確保した。

各党がこれまでの議席をほぼ維持し、みんなの党が進出したことに伴い、無所属が3名減り13名になった。この結果、新人が前回の9名から今回は10名となり、定数削減もあって新旧交代が進んだ印象を受ける。

#### ⑥三浦市議会議員選挙

三浦市議選は、定数を前回より3減し15議席が争われ、18名が立候補し少数激戦となった。自民党は前回と同様に公認候補者を立てず議席がない。民主党は前回と同様に現職と新人を1名ずつ立てたが、2名合わせても当選者1名の得票しか得られず、共倒れとなり議席をゼロにした。公明党は、前回と同様2名を立てて全員当選を果たし、共産党も同様に3名立てて全員当選を果たした。他の党派は立候補がなかった。無所属は、立候補者が11名に絞られ、10名が当選した。選挙結果は、民主党の現職の敗退を除き立候補した現職13名がすべて当選し、新人が1名、元職1名と新旧交代の変化が見られない結果であった。

#### ⑦大和市議会議員選挙

大和市議選は、定数が1削減され28名となり、43名という多くの立候補者があり激戦が予想された。選挙結果を党派別に見ると、自民党は、前回より新人1を増やし2名を立て、2名を当選させた。民主党は、党勢拡大をめざして5名を立てたが、現職

と新人の2名しか当選できずに1議席減となった。公明党は、前回同様5名を立て、5名全員当選を果たした。共産党は、前回と同様に4名を立てたが、現職を1名落とし3名となった。みんなの党は、新人2名を立て、2名が並んで当選し議席を獲得した。神奈川ネットワークは、前回と同様に3名を立てたが、現職を含め2名の当選にとどまった。

これまで藤沢市議会と並んで無所属議員の割合が少なかった大和市中で、今回は1名増の12名となった。社民党の現職議員が市長選に立候補し1名が引退したため社民党の2議席がなくなった。あわせて、新人が定数の半数14名が当選し県内で最も多い新人数となり、新旧交代が進んだことが注目された。

#### ⑧伊勢原市議会議員選挙

伊勢原市議選は、定数が3削減され21名で争われ、31名が立候補して激戦となった。選挙結果を党派別に見ると、民主党が、前回より1増の2名を立て、2名とも当選した。公明党は、前回より1増の3名を立て、全員当選を果たした。共産党は、前回と同様3名を立てたが、新人が当選できず前回と同じ2議席にとどまった。神奈川ネットワークは新人に変えて1名を立て、議席を維持した。自民党、みんなの党、社民党は候補者を立てなかった。無所属は、前回より2名多い22名が立候補したが、13名にとどまった。

この選挙で、現職は18名立候補して無所属の2名を除いて16名が当選したが、新人は5名が当選したにとどまり、新人にとって狭き門であった。

#### ⑨南足柄市議会議員選挙

南足柄市議選は、前回同様16名の定数で、18人が立候補して争われた。選挙結果は、公明党が現職2名を立て、共産党も現

職1名を立て、みんなの党は無所属から移った現職1名を立て、この現職は全員当選を果たした。無所属は、前回より立候補者が5名少ない14名であったが、現職9名が全員当選したが新人の当選は3名にとどまった。自民・民主・社民・ネットの各党派は候補者を立てていない。

現職が全員当選を果たしたのに、新人はわずか3名であり、変化にとぼしい選挙結果であった。

#### ⑩綾瀬市議会議員選挙

綾瀬市議選は、定数が1削減され21となり、立候補者はわずか1多い22名しかいなかった。選挙結果もきわめて変化に乏しく、大きな変化が見られなかった。民主党は現職1名だけを立て、公明党は現職3、新人1の4名を立て、共産党は現職2名を立て、神奈川ネットワークは新人に変えて1名を立て、各党派の候補者は全員当選を果たしている。無所属は前回より3名少ない14名が立ち、1議席減の13名となった。

定数削減はあったが、無所属議員の減少で、党派間の変化は見られず、変化のほとんどない選挙結果であった。

#### (4) 4町議選 (表28)

葉山町議選は、定数が前回より3減の14名となり、22名と多数が立候補して激戦となった。自民党は、現職と新人の2名を立てたが、現職が落選1名となった。公明党は、現職と新人2名を立て、2名が当選した。共産党は、現職と新人の2名を立てたが、現職が落選し1議席のままであった。みんなの党は、無所属から移った現職を立て議席を獲得した。無所属は、現職8、元職1、新人7の16名が立候補したが、現職6、元職1、新人3の10名が当選し、前回の7から3名減となり、やや多党化の傾向が見られた。

中井町議選は、前回定数を2名削減したので14の定数のままで、16名が立候補した。共産党の現職が9期目となる当選を果たしたほか、すべて無所属であった。無所属の内訳は、現職9、新人4であり、新人には狭き門となっていた。

山北町議選は、前回に定数を2削減していたので、14名の定数に1名多い15名が立候補した。公明党の現職が2期目の当選

表28 4町議選 党派別当選者

2011. 4. 24執行

		葉山町	中井町	山北町	開成町	合計	現	元	新	女性
		自民	立候補 当選	2 1				2 1	1 0	
公明	立候補 当選	1 1		1 1	1 1	3 3	2 2		1 1	2 2
共産	立候補 当選	2 1	1 1		1 1	4 3	3 2		1 1	1 1
みんな	立候補 当選	1 1				1 1		1		
無所属	立候補 当選	16 10	15 13	14 13	11 10	56 46	32 27	2 2	22 17	11 11
合計	立候補 当選	22 14	16 14	15 14	13 12	66 54	38 32	2 2	26 20	14 14
	現	8	10	7	7	32				
	元	1		1		2				
	新	5	4	6	5	20				
	女性	7	1	4	2	14				

を果たしたほか、すべてが無所属であった。無所属の内訳は、現職6、元職1、新人6であり、立候補者が少なかった割には定数の4割が交替し、新旧交代が見られた。

開成町議選は、定数が前回の削減に続いて今回も2削減され12となり、2名多い13名が立候補した。公明党の新人が初当選、共産の現職が9期目の当選を果たしたほか、10名がすべて無所属だった。無所属の内訳は、現職7、新人5であり、定数の半分が新人となり、新旧交代が進行していた。

### (5) 議会選挙結果の特徴を見る

個別の議会選挙結果については、上記に見たとおりであるが、最後に、共通した特徴について指摘しておきたい。

#### ①新旧交代と当選者の若返り

全般的に見ると、新旧交代が全体に進んでいる傾向が見られた。当選者のうち新人の占める割合を見ると、県会では前回より11名増加し37.4%となり、平均年齢も前回より1.8歳若返って49.4歳となった(表29)。横浜市議でも新人が5名増え27.9%

となり、20歳代の議員が3名当選するなど年齢でも49.0歳と1.7歳若返った。川崎市でも4名増え15人になり、20歳代が2名当選するなどわずかに若返った。相模原市では、定数減で立候補者が絞られ少なかったことから新人が減り、新旧交代は進んでいない。

一般市議では、湘南の各市などで定数に対して立候補者がかなり多くなった中で、わずかではあるが新人の割合が増加した。三浦・伊勢原・南足柄などの立候補者が少なかったところでは新旧交代が止まったものの、その他の都市では新人が増加して10市全体で新人が5名増え、その割合が2.7%増えて28.4%3割近くになっている。年齢ではほとんど変化がなかったが、最も若いのは藤沢の49.3歳である。中でも目についたのは、大和で半数を新人が占め、年齢が4.9歳若返り51.4歳となり、かなりの若返りが見られたことである。

#### ②女性議員の進出が伸び悩み

前回までは、一貫して女性議員が増加してきていたが、今回の選挙では足止めがか

表29 県内統一選の平均年齢の推移

	立候補者			当選者		
	2011年	2007年	07年比	2011年	2007年	07年比
県議	49.2	51.6	△ 2.4	49.4	51.2	△ 1.8
横浜市議	49.2	49.8	△ 0.6	49.0	50.7	△ 1.7
川崎市議	48.3	49.6	△ 1.3	49.6	49.6	0.0
相模原市議	52.7	53.3	△ 0.6	53.9	54.0	△ 0.1
政令市計	50.1	50.9	△ 0.8	50.8	51.4	△ 0.6
横須賀市議	51.0	51.3	△ 0.3	53.0	53.0	0.0
平塚市議	51.1	52.1	△ 1.0	52.6	52.0	0.6
藤沢市議	49.4	50.3	△ 0.9	49.3	51.7	△ 2.4
小田原市議	56.2	57.9	△ 1.7	57.8	57.9	△ 0.1
茅ヶ崎市議	52.4	49.9	2.5	52.5	51.8	0.7
三浦市議	55.7	55.9	△ 0.2	58.2	55.7	2.5
大和市議	51.8	56.6	△ 4.8	51.4	56.3	△ 4.9
伊勢原市議	55.0	55.3	△ 0.3	55.0	55.8	△ 0.8
南足柄市議	61.1	60.4	0.7	61.3	58.7	2.6
綾瀬市議	54.0	55.6	△ 1.6	53.7	55.1	△ 1.4
市議計	53.8	54.5	△ 0.7	54.5	54.8	△ 0.3

かったようである。県会は、もともと女性議員の割合が少なかったため、今回の選挙で4増の14名となったが、構成比では13.1%にとどまっている。横浜市議では、定数削減の影響もあり、ネットワーク横浜の議席がゼロになったことなどから5減の10名11.6%になってしまった。川崎では14名で変わらず、相模原は3減の8名16.3%となった。

一般市議では、横須賀・藤沢・大和・伊勢原・南足柄で女性議員が減り、その他の都市でも増えたのは1名ずつで、全体として5名減の55名20.8%となってしまった。その中であって、茅ヶ崎では、新人の増加と合わせて女性も1名増え、定数が3名減ったことから女性の割合が4割と県内で最も多くなっていた。

### ③ 地域政党の衰弱

神奈川は、生協運動を中心にしてネットワーク運動の発祥の地として地域政党の歴史も長く、この間一定の議席を占めてきた。しかし、6年前に神奈川ネットワーク運動が分裂しネットワーク横浜が生まれたが、今回の選挙ではそのネット横浜が議席をゼロにした。川崎・相模原でも神奈川ネットはこれまでの議席をゼロにした。一般市議でも、立候補者が減少するとともに議席も5名減らして7議席にとどまった。新たな運動の再構築が求められている。

横浜市長系の地域政党ヨコハマから日本を変える会も、市長が退陣したことにより議席を減らした。このヨコハマ会から分かれて新しくできた日本創新党、ヨコハマ維新の会も議席を得られなかった。その代わりに躍進したのがみんなの党であった。

### ④ 政治家秘書の進出が続く

前回から注目されたのが政治家秘書出身者の進出である。今回の統一地方選で県内の各議会で当選した政治家秘書は、県議で

22名、政令市議で26名、一般市議で16名の64名である。このうち、衆参国会議員秘書は県会11、政令市21、一般市議で13の45名で、他は知事や県議の秘書である。立候補者全体ではもっと多く、落選者を含め県議33、政令市議37、一般市議20名となっていた。これは朝日新聞による候補者の経歴から集計したものである。

政治家をめざすものとして議員の秘書となり、実地の政治の場を踏んでから地方議員になるのは、政治家リクルートのあり方として当然のことではあろう。特に、自民党と民主党に多く見られ、無所属にもかなりあり政党の公認もれや政党推薦候補と見られる。

問題は、自民・民主の国政政党が組織政党になっていないことで、政党組織ではなく個人後援会組織にのって選挙を進めている実態である。特に民主党は地域に政党としての基盤が確立されていないことが明らかで、それだけに順風に乗れば当選するが、逆風になると落選する、これが今回横浜・川崎などの大都市で起きた現象である。候補者を地域での日常活動を経た経験者から発掘せずに、安易に国会議員秘書を擁立しているきらいがある。そのことから無理な複数候補の擁立で共倒れという結果になっていた。地域にしっかりと根づいた組織を創り上げる地道な運動が忘れ去られてはいないであろうか。

民主党は、国会議員の議席が一番多く、大都市の議会は一定の数を持っているものの、地方へ行くにしたがって政党の公認市会議員がゼロになる、こうした逆ピラミットの組織構造が今回の選挙でも明らかになった。市民からの政治家への批判がかなり強い中で、若手の議員の進出が見られたものの、政党としての基本的日常活動の不足が問われた選挙結果であった。

資料1 統一地方選挙の実施状況

1987年～2011年

選挙の種類	知事選	道府県議選	政令市長選	政令市議選	市長選	市議選	区長選	区議選	町村長選	町村議選	合計	
2011 (H23)年 (第17回)	実施日	2011.4.10執行				2011.4.24執行						
	自治体数	47	47	19	19	767	767	23	23	938	938	3,588
	実施自治体数	12	41	5	15	88	293	13	21	121	374	983
	実施率	25.5%	87.2%	26.3%	78.9%	11.5%	38.2%	56.5%	91.3%	12.9%	39.9%	27.4%
	投票率	52.77%	48.15%	53.95%	47.59%	52.97%	50.82%	44.51%	43.22%	70.56%	66.57%	
	定数・当選数	12	2,330	5	924	88	7,104	13	821	121	4,423	15,841
	立候補者数	69	3,457	15	1,361	203	8,625	46	1,162	201	5,026	20,165
	無投票当選数	0	410	1	0	15	116	0	0	58	893	1,493
無投票当選率	0.0%	17.6%	20.0%	0.0%	17.0%	1.6%	0.0%	0.0%	47.9%	20.2%	9.4%	
2007 (H19)年 (第16回)	実施日	2007.4.8				2007.4.22						
	自治体数	47	47	17	17	765	765	23	23	1,022	1,022	3,748
	実施自治体数	13	44	3	14	96	309	13	21	156	448	1,116
	実施率	27.7%	93.6%	17.6%	82.4%	12.5%	40.4%	56.5%	91.3%	15.3%	43.8%	29.8%
	投票率	54.85%	52.25%	59.10%	49.17%	53.57%	55.32%	45.31%	44.51%	74.57%	71.49%	
	定数・当選数	13	2,544	4	984	96	8,035	13	841	156	5,637	18,323
	立候補者数	44	3,773	12	1,380	225	9,976	38	1,110	270	6,556	23,384
	無投票当選数	0	416	0	13	19	159	0	0	60	740	1,407
無投票当選率	0.0%	16.4%	0.0%	1.3%	19.8%	2.0%	0.0%	0.0%	38.5%	13.1%	7.7%	
2003 (H15)年 (第15回)	実施日	2003.4.13				2003.4.27						
	自治体数	47	47	13	13	663	663	23	23	2,511	2,511	6,514
	実施自治体数	11	44	1	12	118	386	14	21	541	1,214	2,362
	実施率	23.4%	93.6%	7.7%	92.3%	17.8%	58.2%	60.9%	91.3%	21.5%	48.3%	36.3%
	投票率	52.63%	52.48%	57.32%	47.70%	57.00%	56.74%	43.55%	43.23%	77.52%	77.72%	
	定数・当選数	11	2,634	1	831	118	10,218	14	837	541	17,563	32,768
	立候補者数	46	3,854	7	1,159	290	12,028	45	1,102	878	19,298	38,707
	無投票当選数	1	513	0	31	12	277	0	0	276	4,099	5,209
無投票当選率	9.1%	19.5%	0.0%	3.7%	10.2%	2.7%	0.0%	0.0%	51.0%	23.3%	15.9%	
1999 (H11)年 (第14回)	実施日	1999.4.11				1999.4.25						
	自治体数	47	47	12	12	659	659	23	23	2,558	2,558	6,598
	実施自治体数	12	44	1	11	122	385	15	21	581	1,245	2,437
	実施率	25.5%	93.6%	8.3%	91.7%	18.5%	58.4%	65.2%	91.3%	22.7%	48.7%	36.9%
	投票率	56.8%	56.7%	59.6%	50.7%	60.9%	60.8%	47.5%	47.4%	82.6%	82.2%	
	定数・当選数	12	2,669	1	779	122	10,676	15	877	581	18,999	34,731
	立候補者数	58	4,013	3	1,080	288	12,678	47	1,138	1,018	21,350	41,673
	無投票当選数	0	448	0	9	24	43	0	0	232	2,248	3,004
無投票当選率	0.0%	16.8%	0.0%	1.2%	19.7%	0.4%	0.0%	0.0%	39.9%	11.8%	8.6%	
1995 (H7)年 (第13回)	実施日	1995.4.9				1995.4.23						
	自治体数	47	47	12	12	651	651	23	23	2,571	2,571	6,608
	実施自治体数	13	43	1	10	117	383	15	22	612	1,268	2,484
	実施率	27.7%	91.5%	8.3%	83.3%	18.0%	58.8%	65.2%	95.7%	23.8%	49.3%	37.6%
	投票率	55.12%	56.23%	61.00%	48.44%	60.03%	60.25%	44.28%	43.69%	85.53%	83.42%	
	定数・当選数	13	2,607	1	713	117	11,052	15	966	612	20,149	36,245
	立候補者数	49	3,701	2	936	254	12,444	40	1,142	991	22,287	41,846
	無投票当選数	0	550	0	27	31	196	0	0	294	2,943	4,041
無投票当選率	0.0%	21.1%	0.0%	3.8%	26.5%	1.8%	0.0%	0.0%	48.0%	14.6%	11.1%	
1991 (H3)年 (第12回)	実施日	1991.4.7				1991.4.21						
	自治体数	47	47	11	11	645	645	23	23	2,583	2,583	6,618
	実施自治体数	13	44	1	10	125	385	15	23	646	1,272	2,534
	実施率	27.7%	93.6%	9.1%	90.9%	19.4%	59.7%	65.2%	100.0%	25.0%	49.2%	38.3%
	投票率	54.43%	60.49%	65.75%	51.82%	66.58%	65.39%	49.21%	48.97%	86.40%	87.18%	
	定数・当選数	13	2,693	1	733	125	11,398	15	1,031	646	20,579	37,234
	立候補者数	46	3,810	3	992	250	12,652	41	1,242	1,021	22,478	42,535
	無投票当選数	0	581	0	11	40	239	0	0	320	3,785	4,976
無投票当選率	0.0%	21.6%	0.0%	1.5%	32.0%	2.1%	0.0%	0.0%	49.5%	18.4%	13.4%	
1987 (S62)年 (第11回)	実施日	1987.4.12				1987.4.26						
	自治体数	47	47	10	10	643	643	23	23	2,599	2,599	6,644
	実施自治体数	13	44	2	9	131	387	16	23	671	1,280	2,576
	実施率	27.7%	93.6%	20.0%	90.0%	20.4%	60.2%	69.6%	100.0%	25.8%	49.2%	38.8%
	投票率	59.78%	66.66%	66.91%	58.32%	70.32%	70.31%	50.75%	50.94%	89.73%	90.26%	
	定数・当選数	13	2,670	2	665	131	11,613	16	1,051	671	21,096	37,928
	立候補者数	40	4,118	5	889	264	13,191	35	1,304	1,039	23,384	44,269
	無投票当選数	0	183	0	33	34	159	0	0	348	2,649	3,406

※出所：都道府県選挙管理委員会連合会刊『選挙』各年7月号「統一地方選挙の結果について」より

資料2 都道府県知事の経歴

2011.5.15現在

選挙年月	府県名	氏名	年齢	当選回数	主な経歴	出身種別	政党支持
11. 4	北海道	高橋はるみ	57	3	道経済通産局長	官・通産	自
07. 6	青森県	三村 申吾	54	2	代議士・町長	政・衆議	自・公
07. 4	岩手県	達増 拓也	46	1	代議士・外務省職員	政・衆議	民
09. 10	宮城県	村井 嘉浩	50	2	県議(3期)	県議	自
09. 4	秋田県	佐竹 敬久	63	1	秋田市市長・県庁職員	首長	
09. 1	山形県	吉村 美栄子	59	1	行政書士・県教育委員	他	
10. 10	福島県	佐藤 雄平	63	2	参議院議員	政・参議	
09. 8	茨城県	橋本 昌	65	5	自治省課長	官・自治	
08. 11	栃木県	福田 富一	57	2	宇都宮市長・県議	首長	自・公
07. 7	群馬県	大澤 正明	65	1	県会議員	県議	自・公
07. 9	埼玉県	上田 清司	62	2	代議士	政・衆議	
09. 3	千葉県	森田 健作	61	1	代議士・参議院議員・俳優	政・衆議	
11. 4	東京都	石原慎太郎	78	4	作家・代議士・運輸相	政・衆議	
11. 4	神奈川県	黒岩 祐治	56	1	ジャーナリスト	他	
08. 10	新潟県	泉田 裕彦	48	2	経済産業省課長	官・通産	自・公
08. 10	富山県	石井 隆一	65	2	総務省(自治省)消防庁長官	官・自治	自・公
10. 3	石川県	谷本 正憲	65	5	自治省課長	官・自治	自・公
11. 4	福井県	西川 一誠	66	3	副知事・国土庁審議官	官・自治	自・公
11. 1	山梨県	横内 正明	69	2	代議士・建設相	政・衆議	
10. 8	長野県	阿部 守一	50	1	自治省	官・自治	民・社・国
09. 1	岐阜県	古田 肇	63	2	経済産業省審議官	官・通産	自・公
09. 7	静岡県	川勝 平太	62	1	静岡文化芸術大学学長	他	民・社・国
11. 2	愛知県	大村 秀章	51	1	代議士・農水省	政・衆議	
11. 4	三重県	鈴木 英敬	36	1	経産省	官・通産	自・み
10. 7	滋賀県	嘉田 由紀子	60	2	大学教授	他	
10. 4	京都府	山田 啓二	57	3	副知事・自治省参事官	官・自治	
08. 1	大阪府	橋下 徹	41	1	弁護士	その他	
09. 7	兵庫県	井戸 敏三	65	3	副知事・自治省審議官	官・自治	自・公・社
11. 4	奈良県	荒井 正吾	66	2	参議院議員・運輸省	政・参議	
10. 11	和歌山県	仁坂 吉伸	60	2	経産省局次長	官・通産	自
11. 4	鳥取県	平井 伸治	49	2	総務省室長	官・自治	
11. 4	島根県	溝口善兵衛	65	2	財務省財務官	官・大蔵	
08. 10	岡山県	石井 正弘	65	4	建設省審議官	官・建設	
09. 11	広島県	湯崎 英彦	45	1	会社副社長・通産省	官・通産	
08. 8	山口県	二井 関成	68	4	県出納長・消防大部長	官・自治	
11. 4	徳島県	飯泉 嘉門	50	3	県部長・自治省企画官	官・自治	
10. 8	香川県	浜田 恵造	59	1	大蔵省	官・大蔵	
10. 11	愛媛県	中村 時広	51	1	代議士・松山市長	政・衆議	
07. 11	高知県	尾崎 正直	43	1	大蔵省計画官	官・大蔵	自・公・社
11. 4	福岡県	小川 洋	61	1	内閣府報道官・通産省	官・通産	自・公・民・社
11. 4	佐賀県	古川 康	52	3	自治省企画官・長崎県総務部長	官・自治	自・公
10. 2	長崎県	中村 法道	60	1	副知事	副知事	
08. 3	熊本県	蒲島 郁夫	64	1	東大教授	他	
11. 4	大分県	広瀬 勝貞	68	3	経済産業事務次官	官・通産	社
10. 12	宮崎県	河野 俊嗣	46	1	自治省	官・自治	
08. 7	鹿児島県	伊藤祐一郎	63	2	総務省(自治省)自治大学長	官・自治	
10. 11	沖縄県	仲井眞弘多	71	2	沖縄電力会長・通産	他	自・公
	平均		58.3	2.0			

※出所:全国知事会現職知事名簿他をもとに上林作成

出身種別 官=国の官僚25名、政=国会議員10名、首=自治体の首長2名、県議=2名、他=その他8名

官の内訳 自治13、通産8、大蔵3、建設1 国会議員の内訳 衆院8、参院2

当選期数 1期=20名、2期=16名、3期=6名、4期=4名、5期=1名

資料3 道府県議会選挙の道府県別当選者数

41道府県 2011.4.10執行

立候補者	定数	当選者		うち女性		無投票者	自民党		民主党		公明党		共産党		社民党		みんなの党		諸派		無所属					
		立候補者	当選者	前回比	前回比		立候補者	当選者	前回比	前回比	立候補者	当選者	前回比	前回比	立候補者	当選者	前回比	前回比	立候補者	当選者	前回比	前回比	立候補者	当選者	前回比	前回比
北海道	149	104	△2	44	△2	1	34	△1	8	△1	1	6	△1	1	0	△1	0	3	0	0	5	0	31	17	△2	
青森	67	46	0	25	1	1	6	0	2	0	1	4	0	1	1	0	0	0	0	0	22	0	22	13	△2	
秋田	67	45	0	31	6	2	6	3	1	1	0	2	0	1	0	△1	3	2	0	1	1	23	13	△5		
山形	54	44	0	31	4	1	4	2	1	0	0	2	1	1	0	△1	2	0	0	0	12	6	△5			
栃木	79	50	0	22	△10	3	5	△1	3	1	3	1	0	△1	0	△1	17	13	2	0	16	7	△2			
群馬	70	50	0	30	△2	1	4	△1	3	1	3	3	2	1	1	0	1	1	1	0	18	10	△2			
埼玉	161	94	0	48	7	7	11	△4	9	△1	3	7	1	1	1	0	5	5	2	△4	55	22	△2			
千葉	147	95	0	52	2	2	31	△4	7	3	7	5	4	0	1	1	4	4	1	1	28	7	△4			
神奈川	177	107	0	40	4	3	26	△12	10	△2	11	9	0	△1	0	△1	23	15	2	6	39	12	△10			
新潟	75	53	0	29	0	0	9	△1	1	0	0	4	1	0	1	3	3	0	0	3	22	10	0			
富山	54	40	0	28	△1	1	5	4	2	0	0	3	1	0	1	5	3	0	0	10	3	0	0	0		
石川	59	43	△3	25	1	1	11	6	0	0	2	2	1	0	0	△1	0	0	0	1	16	6	△4			
福井	51	37	△1	25	1	1	7	3	1	0	1	2	1	0	0	0	0	0	0	0	16	5	△8			
山梨	59	38	0	14	△1	1	1	△2	1	0	0	3	1	0	0	0	3	0	0	0	34	21	△3			
長野	84	58	0	16	5	5	10	1	1	1	1	6	△1	3	2	0	2	0	0	3	36	23	△6			
岐阜	56	46	0	30	0	2	9	5	0	0	0	3	1	0	0	0	0	0	0	1	1	5	5	△9		
静岡	109	69	△5	35	0	0	26	6	1	2	6	0	△1	0	0	0	6	1	0	0	26	11	△10			
愛知	175	103	△1	49	△8	1	45	△12	6	△1	4	4	0	0	0	0	2	0	0	45	17	4	2	2		
三重	65	51	0	19	1	1	11	5	2	0	2	2	0	2	0	0	1	1	1	4	23	15	△4			
滋賀	73	47	0	20	4	1	17	△1	2	0	1	6	0	0	0	0	1	1	1	8	4	8	△1	1		
京都	96	60	△2	25	1	1	23	15	4	2	5	△1	1	0	4	1	2	0	0	2	10	4	△4	4		
大阪	206	108	△3	13	△32	1	33	10	△9	1	2	38	4	△6	2	0	△1	2	1	61	57	3	17	3	△11	
兵庫	135	89	△3	26	1	1	25	17	△1	4	1	15	5	0	4	0	0	6	1	2	1	47	27	△5		
奈良	63	44	0	20	0	1	15	8	1	1	3	0	1	0	3	1	0	1	1	0	0	0	6	6	△2	
和歌山	54	42	△4	26	3	1	4	1	0	0	3	△1	5	4	0	1	0	0	0	13	8	△5	1	1		
鳥取	45	35	△3	16	△5	1	8	1	0	0	2	2	0	0	2	1	0	0	0	0	0	14	8	0		
島根	43	37	0	18	△3	3	6	5	2	1	1	2	2	1	1	0	0	0	0	0	14	11	0	1		
岡山	74	56	0	34	6	1	11	5	1	3	5	0	2	△1	1	0	0	0	0	0	17	10	△6	1		
広島	85	66	0	32	△1	1	10	7	3	0	6	0	1	2	1	0	0	0	0	0	35	20	△2	1		
山口	70	49	0	27	△1	1	9	5	1	1	5	1	4	2	△1	1	0	1	0	0	24	9	△2	1		
徳島	60	41	0	21	1	1	6	4	0	0	2	4	3	0	2	0	2	1	1	1	22	9	△3	1		
香川	55	41	△4	21	△2	2	4	2	△1	1	0	2	2	0	1	4	0	1	0	1	11	3	△2	1		
愛媛	71	47	0	30	1	1	7	3	1	2	3	1	0	3	1	0	1	0	0	24	9	0	0	0		
高知	60	39	0	13	0	2	4	1	0	0	3	6	5	1	2	1	0	0	0	1	32	17	△1	1		
福岡	129	86	△2	41	1	2	25	20	8	1	11	7	0	△1	1	0	7	0	0	4	30	11	△8	1		
佐賀	53	38	△3	27	0	2	7	4	0	1	0	2	1	0	1	2	1	0	0	12	4	4	△4	1		
長崎	65	46	0	20	1	1	12	11	3	1	3	1	1	0	1	2	1	0	0	21	10	△3	1			
熊本	68	49	0	28	3	1	6	1	△1	0	3	0	1	1	0	0	0	0	0	1	27	15	△3	1		
大分	61	44	0	18	0	0	4	3	0	1	2	1	0	1	0	3	2	1	0	0	30	16	△1	2		
宮崎	54	39	△6	18	△8	0	3	3	0	1	3	0	1	1	0	5	1	0	0	29	11	4	1	1		
鹿児島	79	51	△3	32	△6	1	3	1	0	0	3	0	3	1	0	1	1	0	0	27	13	3	1	1		
合計	3,457	2,330	△47	1,119	△21	27	572	346	12	44	172	171	△2	14	37	45	30	△14	102	41	5	161	98	△113	34	
議席構成比				48%			99%	7%					3%				1%	67%		2%			4%		19%	
当選比率				60%			60%	15%					36%				6%	40%		4%			61%		47%	

岩手、宮城、福島の3県は、東日本大震災のため選挙を延期している。愛知の諸派は「減税日本」「日本一愛知の会」、大阪の諸派は「大阪維新の会」の議席であり、徳島の諸派には「あがれ日本」議席がふくまれている。

資料4 政令指定都市 市会議員当選者数

15政令指定都市 2011.4.10執行

都市名	立候補者数	定数		当選者		うち女性	現			元			新		自民党		民主党		公明党		共産党		社民党		みんなの党		諸派		無所属										
		前	回	当	選		前	回	比	立	候	補	当	選	者	数	前	回	比	立	候	補	当	選	者	数	前	回	比	立	候	補	当	選	者	数	前	回	比
札幌市	91	68	0	17	55	2	11	22	21	△2	24	22	10	△1	11	5	△1	1	0	0	3	1	9	5	1	11	4	1	11	4	1	11	4	1					
さいたま市	90	60	△4	12	41	2	17	19	19	△3	18	13	11	0	11	7	△1	0	0	0	4	1	3	1	1	24	8	△5	24	8	△5	24	8	△5					
千葉市	77	54	0	9	38	0	16	14	14	△2	13	10	8	0	7	6	0	0	0	5	2	6	2	△4	24	12	3	24	12	3	24	12	3	24	12	3			
横浜市	142	86	△6	10	59	3	24	31	30	0	32	17	16	15	15	5	0	0	0	14	13	15	3	△6	18	3	△1	18	3	△1	18	3	△1	18	3	△1			
川崎市	81	60	△3	14	45	0	15	19	16	△1	19	14	13	13	10	10	0	0	0	6	6	4	0	△2	10	1	△1	10	1	△1	10	1	△1	10	1	△1			
相模原市	76	49		8	33	1	15	1	1		15	9	8	8	5	4		1	1	5	4	1	0		40	22		40	22		40	22		40	22				
新潟市	77	56	0	9	41	2	13	12	11	3	9	6	4	4	8	7	0	3	1	0	0	1	1	1	1	40	26	△4	40	26	△4	40	26	△4	40	26	△4		
浜松市	66	46	△8	3	39	0	7	5	5	△1	4	2	0	5	8	2	△2	2	2	1	0	1	0	3	0	38	31	△6	38	31	△6	38	31	△6	38	31	△6		
京都市	98	69	0	14	55	2	12	24	23	0	20	13	12	12	24	15	△4	2	0	3	1	9	4	4	4	4	1	△2	4	1	△2	4	1	△2	4	1	△2		
大阪市	145	86	△3	13	57	1	28	23	17	△13	24	8	△9	19	24	8	△8	0	0	1	0	44	33	33	10	1	△5	10	1	△5	10	1	△5	10	1	△5	10	1	△5
堺市	78	52	0	11	39	1	12	11	7	△3	12	5	△4	12	10	8	0	0	0	2	0	16	13	12	15	7	△4	15	7	△4	15	7	△4	15	7	△4	15	7	△4
神戸市	94	69	0	14	52	2	15	21	19	1	18	13	△4	12	10	9	△1	1	0	10	8	2	3	△4	18	5	1	18	5	1	18	5	1	18	5	1	18	5	1
岡山市	67	52		7	37	0	15	0			8	4		8	5	5		1	0	0	1	1	1	1		46	34		46	34		46	34		46	34			
広島市	83	55	0	6	45	2	8	21	21	0	5	3	1	8	8	3	△2	3	3	-1	4	1	0	0	34	16	1	34	16	1	34	16	1	34	16	1	34	16	1
福岡市	96	62	△1	5	44	3	15	19	18	△1	16	8	0	12	12	5	△1	1	1	6	3	12	8	△2	13	7	0	13	7	0	13	7	0	13	7	0	13	7	0
合計	1,361	924	△25	152	680	21	223	242	222	△22	237	147	△23	158	157	△6	163	99	△20	16	7	0	64	40	126	74	34	345	178	△22	345	178	△22	345	178	△22	345	178	△22
現	777	680	△80					197	190		147	106		125	124		97	78		6	5		4	3	48	38		153	136		153	136		153	136		153	136	
元	48	21	1					6	5		1	0		0	0		12	6		1	1		1	0	4	4		23	5		23	5		23	5		23	5	
新	536	223	20					39	27		89	41		33	33		54	15		9	1		59	37	77	32		176	37		176	37		176	37		176	37	
女性	239	152	△24					16	15		41	25		21	21		72	51		3	1		8	6	40	14		38	19		38	19		38	19		38	19	

前回の選挙であった仙台市が選挙を延期し、名古屋市がリコール後の選挙を終えているので除いている。

新たに相模原市、岡山市が加わったので、前回比計にはこの両市を除いた数値としてある。

諸派のうち、大阪市・堺市については「大阪維新の会」の議席であり、神戸市はたちあがれ日本1議席が含まれている。



対象 自治 体数	立候補者 数	定数 当選者	無投票者		女性		民主党		公明党		共産党		社民党		みんなの党		諸派		無所属	
			立候補者	当選者	前回比	前回比	立候補者	当選者	構成比	前回比	立候補者	当選者	構成比	前回比	立候補者	当選者	構成比	前回比	立候補者	当選者
北海道	27	615	48	552	△45	80	47	40	68	68	49	2	2	2	3	3	9	8	381	327
青森	3	95	14	86	△13	9	9	11	5	5	6	1	3	3	1	1	1	0	56	50
秋田	2	89	6	87	△1	7	3	4	5	5	5	2	4	4	2	2	1	0	64	47
山形	5	129	11	111	△19	14	3	3	7	7	8	3	3	3	2	2	1	1	100	83
福島	1	27	26	190	△164	1	5	1	2	2	2	2	2	2	0	0	2	2	23	22
茨城	11	298	26	272	△26	32	6	6	33	33	16	1	1	1	3	3	2	2	235	201
栃木	5	175	146	21	△205	20	9	9	15	15	5	1	0	1	8	8	2	2	100	84
群馬	8	248	206	34	△142	20	2	2	19	19	13	1	1	1	5	5	2	2	206	171
埼玉	19	577	469	44	△108	100	35	44	71	71	48	7	4	4	10	9	6	5	345	268
千葉	16	544	423	161	△121	75	16	28	63	63	34	8	7	7	16	15	14	11	357	260
東京	20	613	489	101	△124	126	50	70	98	98	66	12	11	11	25	18	37	30	241	160
神奈川	10	341	264	64	△77	55	13	21	43	43	24	3	2	2	12	8	9	7	206	149
新潟	5	138	127	28	△11	7	2	2	9	9	11	2	1	1	0	1	1	1	112	103
石川	4	116	96	20	△20	7	4	4	5	5	5	6	5	5	1	0	1	4	49	35
福井	3	83	76	7	△7	3	3	3	6	6	5	5	5	1	1	1	1	66	59	
山梨	3	82	70	12	△12	4	1	1	7	7	4	1	1	1	1	1	2	68	57	
長野	7	163	137	26	△26	24	2	2	10	10	16	1	1	1	0	0	2	1	128	108
岐阜	9	252	211	41	△41	20	3	3	22	22	11	1	1	1	2	2	1	1	167	138
静岡	7	201	159	42	△42	18	8	8	16	16	10	6	6	6	2	0	1	0	152	118
愛知	22	676	542	134	△134	68	19	24	62	62	43	6	2	2	8	4	10	7	492	387
三重	3	94	82	12	△12	7	2	2	9	9	5	6	5	5	1	1	1	1	67	57
滋賀	4	117	104	13	△13	18	7	7	11	11	13	1	1	1	1	1	1	83	70	
京都	6	174	141	33	△33	28	19	28	19	19	27	3	3	3	1	1	1	1	90	66
大阪	17	511	412	99	△99	82	46	56	93	93	63	6	6	6	7	7	20	12	216	152
兵庫	9	311	246	65	△65	41	16	17	42	42	26	2	1	1	4	4	13	10	187	135
奈良	5	125	100	25	△25	4	4	4	12	12	11	1	1	1	1	1	2	0	83	66
和歌山	3	89	77	12	△12	5	2	2	12	12	8	10	8	8	1	1	1	1	60	50
岡山	2	57	49	8	△8	5	1	1	6	6	4	5	4	4	0	0	1	1	44	37
広島	3	113	98	15	△15	7	2	2	10	10	5	6	5	5	3	3	2	2	88	75
山口	1	33	26	7	△7	5	2	2	4	4	4	1	1	1	0	0	2	2	20	16
徳島	2	58	51	7	△7	4	2	2	6	6	7	7	7	7	2	2	2	1	33	28
香川	5	145	118	27	△27	13	5	5	13	13	5	5	5	5	1	1	1	0	61	49
愛媛	1	30	26	4	△4	3	3	3	4	4	2	2	2	2	1	1	1	1	23	19
高知	3	88	62	26	△26	8	3	3	8	8	7	7	7	7	1	0	1	0	56	37
福岡	16	429	357	72	△72	18	12	10	45	45	22	10	8	8	3	3	3	1	321	260
佐賀	3	67	56	11	△11	4	1	1	3	3	2	3	2	2	1	1	1	1	60	50
長崎	3	129	101	28	△28	5	16	17	12	12	1	1	6	6	0	0	5	4	70	52
熊本	5	161	126	35	△35	16	16	16	12	12	8	1	1	1	1	1	1	1	108	81
大分	6	154	131	23	△23	11	9	9	11	11	13	1	1	1	1	1	1	1	116	101
宮崎	6	219	163	56	△56	14	12	12	17	17	8	13	8	8	4	4	2	2	159	111
鹿児島	3	59	48	11	△11	3	1	1	4	4	3	3	3	3	1	1	1	1	54	43
合計	293	8,625	7,104	1,040	△1,521	116	550	514	915	915	627	106	85	105	108	87	144	105	5,558	4,382
富山、鳥取、島根、神奈川は統一地方選挙の対象となる市議会選挙がない。東日本大震災のため岩手・宮城では延期のため、前回議員から差し引いてある。																				

資料6 道府県議・政令市議・市議・特別区議・町村議員 政党別当選者数の推移  
 各年とも統一自治体選挙終了時現在の党派による

選挙年月	対象自治体数	総定数	自民党		民社党・新進党		公明党		共産党		社会党		みんなの党		諸派(含む新自民社民連・さきかた)		無所属		うち女性		うち新人		うち無投票当選			
			議席数	構成比	議席数	構成比	議席数	構成比	議席数	構成比	議席数	構成比	議席数	構成比	議席数	構成比	議席数	構成比	議席数	構成比	議席数	構成比	議席数	構成比	議席数	構成比
1975年4月	44	2,609	1,391	53.3%	103	3.9%	167	6.4%	95	3.6%	422	16.2%	40	1.5%	40	1.5%	29	1.1%	749	28.7%	130	5.0%	485	18.3%		
1979年4月	44	2,645	1,406	53.2%	106	4.0%	166	6.3%	122	4.6%	379	14.3%	76	2.9%	76	2.9%	28	1.1%	631	23.9%	130	5.0%	485	18.3%		
1983年4月	44	2,660	1,486	55.9%	100	3.8%	182	6.8%	85	3.2%	372	14.0%	64	2.4%	64	2.4%	30	1.1%	633	23.8%	80	3.0%	485	18.3%		
1987年4月	44	2,670	1,382	51.8%	104	3.9%	186	7.0%	118	4.4%	443	16.6%	40	1.5%	40	1.5%	52	1.9%	652	24.4%	183	6.9%	485	18.3%		
1991年4月	44	2,693	1,543	57.3%	82	3.0%	159	5.9%	96	3.6%	345	12.8%	37	1.4%	37	1.4%	73	2.8%	643	23.9%	583	21.6%	485	18.3%		
1995年4月	43	2,607	1,275	48.9%	140	5.4%	148	5.7%	91	3.5%	277	10.6%	89	3.4%	89	3.4%	64	2.4%	629	24.1%	550	21.1%	485	18.3%		
1999年4月	44	2,669	1,288	48.3%	170	6.4%	166	6.2%	152	5.7%	94	3.5%	81	3.0%	81	3.0%	136	5.1%	630	23.6%	448	16.8%	485	18.3%		
2003年4月	44	2,634	1,309	49.7%	205	7.8%	178	6.8%	107	4.1%	73	2.8%	50	1.9%	50	1.9%	164	6.2%	636	24.1%	513	19.5%	485	18.3%		
2007年4月	44	2,544	1,212	47.6%	375	14.7%	181	7.1%	100	3.9%	52	2.0%	53	2.0%	53	2.0%	190	7.5%	620	24.4%	416	16.4%	485	18.3%		
2011年4月	41	2,328	1,119	48.1%	346	14.9%	171	7.3%	80	3.4%	30	1.3%	30	1.3%	99	4.3%	99	4.3%	577	24.8%	410	17.6%	485	18.3%		
11-07増減	△3	△216	△93	0.4%	△29	0.1%	△10	0.2%	△20	-0.5%	△22	-0.8%	41	1.8%	41	1.8%	△10	-3.9%	△43	0.4%	△6	-1.3%	△7	0.3%	△7	0.3%
1975年4月	8	586	196	33.4%	55	9.4%	111	18.9%	81	13.8%	98	16.7%	0	0.0%	0	0.0%	45	7.7%	161	27.5%	0	0.0%	0	0.0%		
1979年4月	8	607	193	31.8%	61	10.0%	108	17.8%	87	14.3%	101	16.6%	17	2.8%	17	2.8%	40	6.6%	123	20.3%	5	0.8%	5	0.8%		
1983年4月	10	665	232	34.9%	69	10.4%	122	18.3%	74	11.1%	112	16.8%	20	3.0%	20	3.0%	36	5.4%	128	19.2%	0	0.0%	0	0.0%		
1987年4月	10	665	204	30.7%	71	10.7%	128	19.2%	80	12.0%	126	18.9%	19	2.9%	19	2.9%	37	5.6%	115	17.3%	33	5.0%	33	5.0%		
1991年4月	11	733	244	33.3%	62	8.5%	124	16.9%	86	11.7%	128	17.5%	33	4.5%	33	4.5%	56	7.6%	142	19.4%	11	1.5%	11	1.5%		
1995年4月	10	713	219	30.7%	52	7.3%	115	16.1%	82	11.5%	93	13.0%	51	7.2%	51	7.2%	101	14.2%	138	19.4%	22	3.1%	22	3.1%		
1999年4月	11	779	233	29.9%	114	14.6%	132	16.9%	120	15.4%	15	1.9%	42	5.4%	42	5.4%	122	15.7%	150	19.3%	9	1.2%	9	1.2%		
2003年4月	12	831	252	30.3%	126	15.2%	146	17.6%	104	12.5%	13	1.6%	57	6.9%	57	6.9%	128	15.4%	173	20.8%	31	3.7%	31	3.7%		
2007年4月	15	983	276	28.1%	194	19.7%	169	17.2%	124	12.6%	15	1.5%	39	4.0%	39	4.0%	166	16.9%	196	19.9%	7	0.7%	7	0.7%		
2011年4月	15	970	222	22.9%	147	15.2%	157	16.2%	99	10.2%	14	1.4%	74	7.6%	74	7.6%	178	18.4%	223	23.0%	0	0.0%	0	0.0%		
11-07増減	0	△13	△54	-5.2%	△47	-4.6%	△12	-1.0%	△22	-2.4%	△8	-0.8%	35	3.7%	35	3.7%	12	1.5%	△27	-3.1%	△7	-0.7%	△7	-0.7%		
1975年4月	381	12,280	1,160	9.4%	354	2.9%	1,122	9.1%	797	6.5%	1,356	11.0%	8	0.1%	8	0.1%	7,483	60.9%	3,804	31.0%	37	0.3%	37	0.3%		
1979年4月	396	12,344	1,229	10.0%	411	3.3%	1,119	9.1%	93	7.5%	1,302	10.5%	70	0.6%	70	0.6%	7,282	59.0%	2,899	23.5%	178	1.4%	178	1.4%		
1983年4月	386	12,075	1,439	11.9%	429	3.6%	1,149	9.5%	926	7.7%	1,219	10.1%	41	0.3%	41	0.3%	6,872	56.9%	2,913	24.1%	86	0.7%	86	0.7%		
1987年4月	387	11,613	1,380	11.9%	404	3.5%	1,200	10.3%	972	8.4%	1,163	10.0%	17	0.1%	17	0.1%	6,477	55.8%	2,555	22.0%	159	1.4%	159	1.4%		
1991年4月	385	11,396	1,281	11.2%	351	3.1%	1,135	10.0%	970	8.5%	1,116	9.8%	30	0.3%	30	0.3%	6,513	57.2%	2,551	22.4%	239	2.1%	239	2.1%		
1995年4月	382	11,051	968	8.8%	118	1.1%	1,058	9.6%	940	8.5%	833	7.5%	106	1.0%	106	1.0%	7,028	63.6%	2,506	22.7%	196	1.8%	196	1.8%		
1999年4月	384	10,698	881	8.2%	301	2.8%	1,117	10.4%	1,033	9.7%	295	2.8%	117	1.1%	117	1.1%	6,948	64.9%	2,648	24.8%	43	0.4%	43	0.4%		
2003年4月	386	10,346	814	7.9%	292	2.8%	1,137	11.0%	938	9.1%	237	2.3%	103	1.0%	103	1.0%	6,997	64.7%	2,397	23.2%	276	2.7%	276	2.7%		
2007年4月	310	8,024	598	7.5%	374	4.7%	974	12.1%	772	9.6%	143	1.8%	83	1.0%	83	1.0%	5,080	63.3%	1,736	21.6%	151	1.9%	151	1.9%		
2011年4月	293	7,104	514	7.2%	389	5.5%	915	12.9%	627	8.8%	85	1.2%	105	1.5%	105	1.5%	4,382	61.7%	1,100	15.5%	116	1.6%	116	1.6%		
11-07増減	△17	△920	△84	-0.2%	△15	-0.8%	△59	0.7%	△145	-0.8%	△58	-0.6%	22	0.4%	22	0.4%	△698	-1.6%	△636	-6.2%	△35	-0.2%	△35	-0.2%		
1975年4月	23	1,091	525	48.1%	40	3.7%	176	16.1%	159	14.6%	122	11.2%	0	0.0%	0	0.0%	66	6.0%	280	25.7%	0	0.0%	0	0.0%		
1979年4月	23	1,087	498	45.8%	51	4.7%	179	16.5%	156	14.4%	107	9.8%	46	4.2%	46	4.2%	60	5.6%	280	25.7%	0	0.0%	0	0.0%		
1983年4月	23	1,073	477	44.5%	54	5.0%	186	17.3%	159	14.8%	106	9.9%	41	3.8%	41	3.8%	50	4.7%	224	20.9%	0	0.0%	0	0.0%		
1987年4月	23	1,051	440	41.9%	49	4.7%	207	19.7%	167	15.9%	115	10.9%	9	0.9%	9	0.9%	64	6.1%	211	20.1%	0	0.0%	0	0.0%		
1991年4月	22	1,031	461	44.7%	38	3.7%	202	19.6%	157	15.2%	98	9.5%	7	0.7%	7	0.7%	68	6.6%	184	17.8%	0	0.0%	0	0.0%		
1995年4月	22	966	354	36.6%	53	5.5%	179	18.5%	156	16.1%	62	6.4%	36	3.7%	36	3.7%	126	13.0%	139	14.4%	156	16.1%	0	0.0%		
1999年4月	21	877	289	33.0%	78	8.9%	172	19.6%	148	16.9%	24	2.7%	28	3.2%	28	3.2%	130	14.8%	183	20.9%	0	0.0%	0	0.0%		
2003年4月	21	837	267	31.9%	75	9.0%	172	20.5%	130	15.5%	19	2.3%	32	3.8%	32	3.8%	127	15.2%	203	24.3%	0	0.0%	0	0.0%		
2007年4月	23	841	275	32.7%	117	13.9%	173	21.2%	134	15.9%	14	1.7%	47	5.6%	47	5.6%	121	14.4%	215	25.6%	200	23.8%	0	0.0%		
2011年4月	21	821	259	31.5%	87	10.6%	169	20.6%	121	14.7%	10	1.2%	36	4.4%	36	4.4%	88	10.7%	220	26.8%	209	25.5%	0	0.0%		
11-07増減	△2	△20	△16	-1.2%	△30	-3.3%	△9	-0.6%	△13	-1.2%	△4	-0.4%	4	0.6%	4	0.6%	△3	-0.1%	△9	1.7%	△5	-1.2%	△9	1.7%		

民社党・新進党・民主党・公明党・共産党・社会党・みんなの党・諸派(含む新自民社民連・さきかた)は、99年以降は民主党の数字である

資料7 統一地方選の県内投票率の推移

選挙期日	87.4.12	91.4.7	95.4.9	99.4.11	03.4.13	07.4.8	11.4.10	前回比
県知事	57.30	45.17	43.47	45.68	48.44	47.04	45.24	△ 1.80
県会	57.30	47.15	46.54	46.41	48.65	47.49	45.69	△ 1.80
横浜市議	55.31	46.00	45.92	47.13	49.50	48.20	46.73	△ 1.47
川崎市議	60.63	49.32	48.09	48.07	49.17	48.52	46.11	△ 2.41
相模原市議							50.59	3.21
選挙期日	87.4.26	91.4.21	95.4.23	99.4.25	03.7.27	07.4.22	11.4.24	前回比
横須賀市議	62.08	56.05	49.03	52.58	53.10	52.59	47.98	△ 4.61
平塚市議	70.17	63.23	56.96	52.37	53.59	53.75	49.88	△ 3.87
藤沢市議	57.07	49.89	41.24	46.61	43.05	42.94	38.15	△ 4.79
小田原市議	70.45	68.04	57.28	58.55	52.59	49.10	45.20	△ 3.90
茅ヶ崎市議	65.72	57.48	45.64	55.07	49.07	49.06	46.57	△ 2.49
相模原市議	62.19	54.33	44.05	45.89	42.69	47.38		
三浦市議	77.25	71.21	59.87	56.06	64.36	60.09	53.33	△ 6.76
大和市議	63.70	50.62	48.58	45.52	47.13	44.87	42.41	△ 2.46
伊勢原市議	71.77	62.27	54.12	58.15	52.34	50.37	49.60	△ 0.77
南足柄市議	無投票	83.27	68.92	73.26	74.11	71.17	65.74	△ 5.43
綾瀬市議	72.08	62.29	56.05	56.99	53.87	51.28	44.99	△ 6.29
葉山町議	71.98	66.69	60.01	65.29	57.08	54.23	53.61	△ 0.62
中井町議	92.22	91.15	無投票	82.09	72.42	無投票	66.46	
山北町議	92.31	無投票	86.03	85.56	81.21	82.14	78.42	△ 3.72
開成町議	89.05	81.13	75.42	76.99	73.97	66.17	68.35	2.18

ワースト記録

資料8-① 神奈川県議会議員選挙 その1

告示日:2011/04/01(金) 投票日:2011/04/10(日)

得票	名前	年齢	政党	新旧	略歴
<b>横浜市鶴見区(定数:3-6)</b>					
当	24,366	横山 幸一	37	自民	現② 保育園副園長
当	20,970	加藤 正法	42	みんな	新① 環境NPO理事
当	18,108	鈴木 秀志	58	公明	現③ (元)通信社員
	11,536	檜垣 明宏	48	民主	新 (元)中学校教諭
	10,179	東野 陽子	78	無所属	現(6) (元)小中学校教諭
	9,646	岡崎 裕	33	共産	新 党県委員

得票	名前	年齢	政党	新旧	略歴
<b>神奈川区(定数:3-7)</b>					
当	21,893	梅沢 裕之	54	自民	現③ 運輸会社役員
当	14,516	藤井 深介	53	公明	現④ (元)製菓会社員
当	12,199	軽部 和夫	59	みんな	新① 行政書士
	11,984	田村 雅俊	44	民主	新 電器店経営
	9,051	工藤 恒子	60	神ネット	新 (元)市議
	7,016	柴田 豊勝	64	共産	新 (元)市議
	6,245	竹内 栄一	57	無所属	元(2) 病院評議員

得票	名前	年齢	政党	新旧	略歴
<b>西区(定数:1-2)</b>					
当	18,778	加藤 元弥	44	自民	現② (元)広告会社員
	12,656	奈良 甲介	26	民主	新 (元)衆院議員秘書

得票	名前	年齢	政党	新旧	略歴
<b>中区(定数:2-4)</b>					
当	18,076	原 聡祐	41	自民	新① (元)衆院議員秘書
当	12,511	作山 友祐	36	民主	現② (元)衆院議員秘書
	11,284	細川 慎一	36	みんな	新 (元)衆院議員秘書
	5,648	佐久間 衛	35	無所属	新 電気照明販売業

得票	名前	年齢	政党	新旧	略歴
<b>南区(定数:2-4)</b>					
当	26,543	三橋 政雄	41	自民	新① (元)県議秘書
当	19,198	岸部 都	52	民主	新① (元)小中学校教諭
	18,164	清水 義博	57	みんな	新 不動産管理業
	5,097	後藤 輝樹	28	無所属	新 自営業

得票	名前	年齢	政党	新旧	略歴
<b>港南区(定数:3-4)</b>					
当	32,467	桐生 秀昭	60	自民	現③ (元)建設会社社長
当	23,169	浦道 健一	42	民主	新① (元)人材会社員
当	16,426	高橋 稔	55	公明	現② (元)市議
	9,948	田中 米一	71	無所属	新 建築会社社長

得票	名前	年齢	政党	新旧	略歴
<b>保土ヶ谷区(定数:2-3)</b>					
当	26,375	高橋 栄一郎	41	自民	新① (元)市議秘書
当	23,177	芳賀 洋治	31	みんな	新① (元)県知事秘書
	22,754	高谷 清	63	民主	現(3) 党県議団長

得票	名前	年齢	政党	新旧	略歴
<b>旭区(定数:3-4)</b>					
当	27,261	磯本 桂太郎	48	自民	現③ (元)理容会社役員
当	26,257	合原 康行	56	民主	新① 管理栄養士
当	22,596	小野寺慎一郎	55	公明	現③ (元)ポパイ編集長
	18,542	沢木 優輔	53	無所属	元(1) 福祉団体理事

得票	名前	年齢	政党	新旧	略歴
<b>磯子区(定数:2-5)</b>					
当	24,650	新井 綱世	43	自民	新① 飲料会社役員
当	16,984	茅野 誠	57	民主	現④ (元)学習塾経営
	11,884	市川 智志	44	無所属	新 ビル管理会社社長
	4,388	山本 誠一	39	無所属	新 物流アルバイト
	2,884	小林 元	61	無所属	新 (元)商社員

得票	名前	年齢	政党	新旧	略歴
<b>金沢区(定数:2-3)</b>					
当	34,308	国吉 一夫	69	自民	現⑥ (元)県課長
当	27,603	松崎 淳	48	民主	現③ (元)NHK記者
	21,312	田中 肇	55	みんな	現(4) (元)不動産会社員

得票	名前	年齢	政党	新旧	略歴
<b>港北区(定数:4-5)</b>					
当	39,571	嶋村 公	54	自民	現③ (元)情報処理社員
当	22,156	宗像 富次郎	49	みんな	新① (元)所沢市職員
当	21,125	計屋 珠江	57	民主	現⑤ (元)小中学校教諭
当	17,221	中谷 一馬	27	民主	新① (元)衆院議員秘書
	13,187	大山 奈々子	48	共産	新 (元)高校教諭

得票	名前	年齢	政党	新旧	略歴
<b>緑区(定数:2-3)</b>					
当	24,879	城田 学	40	みんな	新① (元)衆院議員秘書
当	22,352	柳下 剛	47	自民	新① ゴルフ関連業
	16,433	石川 輝久	61	民主	現(3) (元)衆院議員秘書

得票	名前	年齢	政党	新旧	略歴
<b>青葉区(定数:4-6)</b>					
当	30,426	赤野 孝之	41	みんな	新① (元)衆院議員秘書
当	20,787	小島 健一	47	自民	現③ 社福法人理事長
当	14,490	若林 智子	49	神ネット	新① (元)市議
当	14,046	内田 美保子	45	自民	現② (元)衆院議員秘書
	11,936	伊藤 久美子	51	民主	現(1) (元)特許事務所員
	11,450	大井 康裕	44	民主	現(2) (元)衆院議員秘書

得票	名前	年齢	政党	新旧	略歴
<b>都筑区(定数:2-5)</b>					
当	21,649	敷田 博昭	42	自民	現③ (元)衆院議員秘書
当	16,250	山口 裕子	53	民主	現② (元)OA商社員
	12,601	野渡 和久	38	みんな	新 (元)県議秘書
	8,489	飯沢 賢人	32	無所属	新 政策団体代表
	4,874	加藤 堯久	63	無所属	元(3) (元)市職員

得票	名前	年齢	政党	新旧	略歴
<b>戸塚区(定数:3-4)</b>					
当	34,138	松田 良昭	58	自民	現⑦ 党県副会長
当	24,511	曾我部久美子	56	民主	現② (元)衆院議員秘書
当	20,872	久坂 誠治	38	みんな	新① ダイヤ小売業
	19,191	北井 宏昭	44	民主	現(2) (元)衆院議員秘書

得票	名前	年齢	政党	新旧	略歴
<b>栄区(定数:1-3)</b>					
当	18,489	楠 梨恵子	30	みんな	新① すし飲食店役員
	17,266	関口 正俊	63	民主	現(2) (元)NTT社員
	13,686	志田 一宏	27	自民	新 (元)IT会社員

得票	名前	年齢	政党	新旧	略歴
<b>泉区(定数:2-3)</b>					
当	23,317	石井 源真	61	自民	現② 不動産業
当	18,820	松本 清	38	民主	現② 建設業
	16,807	沢村 裕美	35	無所属	新 (元)臨時教諭

得票	名前	年齢	政党	新旧	略歴
<b>瀬谷区(定数:1-2)</b>					
当	25,629	平本 敏	62	民主	現④ 学習塾経営
	22,740	内田 高広	43	自民	新 中小企業診断士

得票	名前	年齢	政党	新旧	略歴
<b>川崎市</b>					
<b>川崎市川崎区(定数:3-5)</b>					
当	23,613	杉山 信雄	53	自民	現④ (元)衆院議員秘書
当	16,206	西村 恭仁子	48	公明	新① (元)参院議員秘書
当	12,867	栄居 学	33	民主	新① (元)衆院議員秘書
	11,867	渋谷 圭子	58	共産	新 看護師
	10,823	島田 佳和	40	みんな	新 飲料販売社員

得票	名前	年齢	政党	新旧	略歴
<b>幸区(定数:2 無投票)</b>					
当	—	市川 佳子	47	民主	新① (元)市議
当	—	田中 徳一郎	30	自民	新① (元)建設会社員

得票	名前	年齢	政党	新旧	略歴
<b>中原区(定数:3-5)</b>					
当	30,856	田島 信二	53	自民	現⑥ ビル管理業
当	18,962	滝田 孝徳	40	民主	現③ (元)衆院議員秘書
当	14,950	日浦 和明	34	みんな	新① 保険代理店経営
	10,502	宗田 裕之	52	共産	新 党地区常任委員
	10,013	徳安 久是	50	民主	現(1) (元)市長秘書

得票	名前	年齢	政党	新旧	略歴
<b>高津区(定数:2-3)</b>					
当	30,609	小川 久仁子	58	自民	現④ 介護NPO理事
当	23,260	斉藤 尊巳	34	みんな	新① (元)県議秘書
	17,054	佐藤 洋子	59	民主	元(1) (元)市議

得票	名前	年齢	政党	新旧	略歴
<b>宮前区(定数:3-4)</b>					
当	29,775	持田 文男	60	自民	現⑤ 植木生産業
当	16,981	飯田 満	39	民主	新① (元)市議
当	16,435	土居 昌司	35	みんな	新① (元)衆院議員秘書
	10,263	佐々木由美子	43	神ネット	新 (元)市議

得票	名前	年齢	政党	新旧	略歴
<b>多摩区(定数:2-4)</b>					
当	30,469	土井 隆典	51	自民	現④ (元)衆院議員秘書
当	24,266	青山 圭一	44	民主	新① (元)市議
	11,861	塩田 房子	62	共産	新 (元)養護教諭
	6,570	前野 茂雄	45	無所属	新 文化団体理事長

得票	名前	年齢	政党	新旧	略歴
<b>麻生区(定数:2-3)</b>					
当	23,534	相原 高広	47	無所属	現⑤ (元)松下政経塾生
当	18,232	吉田 大成	41	民主	現④ (元)衆院議員秘書
	18,031	伊藤 久史	52	無所属	新 (元)市議

得票	名前	年齢	政党	新旧	略歴
<b>相模原市</b>					
<b>相模原市緑区(定数:2-3)</b>					
当	29,811	八木 大二郎	47	自民	新① (元)城山町長
当	25,453	長友 克洋	40	民主	現② (元)市議
	15,562	小儀 晃	54	無所属	新 (元)城山町議

得票	名前	年齢	政党	新旧	略歴
<b>中央区(定数:3-4)</b>					
当	35,261	河本 文雄	54	自民	新① 幼稚園理事
当	24,208	佐々木 正行	47	公明	現② (元)製菓会社員
当	23,075	寺崎 雄介	39	民主	現② (元)市議
	17,567	小林 教利	51	民主	新 (元)市議

資料8-② 神奈川県議会議員選挙 その2

得票	名前	年齢	政党	新旧	略歴
<b>相模原市南区(定数:3-6)</b>					
当	33,356	細谷 政幸	53	自民	新① 石油製品販売業
当	17,415	山下 昌一朗	35	民主	新① (元)市議
当	17,395	小林 大介	35	みんな	新① ケアマネジャー
	13,588	長谷川久美子	49	無所属	現② (元)生活ク職員
	11,887	中村 武人	36	民主	新 NPO代表理事
	9,684	河野 幸司	65	共産	現④ (元)衆院議員秘書

<b>横須賀市(定数:5-6)</b>					
当	36,231	竹内 英明	60	自民	現⑤ 自動車修理業
当	35,562	牧島 功	66	自民	現⑦ (元)衆院議員秘書
当	25,244	大村 博信	53	民主	現③ (元)市議
当	25,196	亀井 貴嗣	44	公明	現② (元)横浜銀行員
当	19,399	安川 有里	56	みんな	新① アナウンサー
	9,809	上村 孝幸	42	共産	新 (元)エンジニア

151,441					
<b>平塚市(定数:3-5)</b>					
当	30,240	森 正明	49	自民	現④ (元)サッカー選手
当	19,806	赤井 和憲	63	公明	現③ (元)建築設計役員
当	14,513	根岸 孝之	34	民主	新① 貸ビル業
	12,866	府川 勝	67	無所属	元⑤ 不動産管理業
	12,432	伊藤 亨	49	無所属	現③ 行政書士

<b>鎌倉市(定数:2-4)</b>					
当	21,834	中村 省司	66	自民	現⑧ ラジオ局役員
当	21,087	早稲田 夕季	52	民主	新① (元)市議
	20,706	河村 琢磨	39	みんな	新 (元)衆院議員秘書
	1,091	銀 悟志	36	無所属	新 郵便期間社員

<b>藤沢市(定数:5-9)</b>					
当	21,274	鈴木 恒夫	61	自民	現⑤ 医薬店経営
当	20,464	国松 誠	49	自民	現② (元)市議長
当	18,280	渡辺 均	52	公明	現③ (元)紙卸売会社員
当	16,009	塩坂 源一郎	47	みんな	現② 運動用品販売業
当	15,547	斎藤 健夫	42	民主	現③ (元)NHK職員
	14,305	井手 拓也	41	民主	現① (元)市議
	10,265	植木 裕子	56	神ネット	新 (元)市議
	8,927	原田 建	46	無所属	新 (元)市議
	8,811	沼上 常生	52	共産	新 党地区委員長

<b>小田原市(定数:2-3)</b>					
当	29,896	守屋 輝彦	44	無所属	新① (元)県職員
当	24,282	豊島 輝慶	67	民主	元⑥ (元)県副議長
	13,309	杉山 三郎	63	無所属	新 (元)市議

<b>茅ヶ崎市(定数:3-4)</b>					
当	32,148	佐藤 光	41	自民	現④ (元)衆院議員秘書
当	15,801	日下 景子	55	民主	現② (元)市議
当	14,306	岩本 一夫	63	みんな	現③ デザイン業
	13,843	加藤 大嗣	47	民主	新 (元)市議

<b>逗子市・三浦郡(定数:1 無投票)</b>					
当	—	近藤 大輔	41	無所属	現② イベント企画業

<b>三浦市(定数:1-3)</b>					
当	9,782	木村 謙蔵	55	自民	現③ (元)市議
	4,021	神田 健二	63	無所属	元② (元)高速道会社員
	3,479	今井 将一	39	無所属	新 (元)衆院議員秘書

<b>秦野市(定数:2 無投票)</b>					
当	—	久保寺 邦夫	74	自民	現⑧ 石油販売業
当	—	安藤 慶	45	民主	現③ (元)市議

<b>厚木市(定数:3-6)</b>					
当	20,375	堀江 則之	67	自民	現⑦ 厚木ビール会長
当	11,600	山口 貴裕	38	無所属	新① (元)市議
当	9,373	佐藤 知一	41	民主	新① (元)市議
	8,963	井上 武	44	みんな	新 (元)市議
	6,465	山本 智子	53	神ネット	新 (元)市議
	5,204	鈴木 裕二	41	民主	現 (元)保険会社員

<b>大和市(定数:3-5)</b>					
当	20,033	菅原 直敏	32	無所属	現② (元)市議
当	17,641	谷口 和史	48	公明	新① (元)衆院議員
当	14,436	藤代 優也	39	自民	新① (元)衆院議員秘書
	13,323	安藤 博夫	63	自民	元③ 建築設計業
	12,258	及川 晃成	47	民主	新 (元)市議

得票	名前	年齢	政党	新旧	略歴
<b>伊勢原市(定数:1-2)</b>					
当	22,845	高山 松太郎	61	無所属	現② (元)農業
	9,140	相良 啓子	50	神ネット	新 (元)市議

<b>海老名市(定数:1-2)</b>					
当	29,489	長田 進治	45	自民	現② (元)市議
	13,437	相原 志徳	34	民主	新 (元)参院議員秘書

<b>座間市(定数:1 無投票)</b>					
当	—	山本 俊昭	48	無所属	現③ 座間神社神職

<b>南足柄市(定数:1-3)</b>					
当	9,215	川上 賢治	72	無所属	現⑤ (元)写真会社員
	6,817	瀬戸 良雄	63	無所属	新 (元)市議
	4,207	瀬戸 利一	56	無所属	新 歯科医院長

<b>綾瀬市(定数:1-2)</b>					
当	16,694	笠間 茂治	61	無所属	現⑤ 書店経営
	10,095	吉岡 憲史	33	民主	新 (元)民放記者

<b>高座郡(定数:1-2)</b>					
当	8,031	飯田 誠	75	無所属	現④ 木材販売業
	7,048	小沢 千明	51	無所属	新 (元)寒川町議

<b>中郡(定数:1-2)</b>					
当	13,518	古沢 時衛	65	自民	元⑤ ビル管理業
	11,280	村田 邦子	53	無所属	現① (元)二宮町議

<b>足柄上郡(定数:1 無投票)</b>					
当	—	杉本 透	57	自民	現② 石油製品販売業

<b>足柄下郡(定数:1 無投票)</b>					
当	—	向笠 茂幸	63	無所属	現④ 農業

<b>愛甲郡(定数:1 無投票)</b>					
当	—	馬場 学郎	63	無所属	現③ 社福法人理事長

資料9 横浜市会議員選挙

告示日:2011/04/01(金) 投票日:2011/04/10(日)

得票	名前	年齢	政党	新旧	略歴
<b>鶴見区(定数:6-11)</b>					
当	14,836	尾崎 太	45	公明	新① (元)部品製造社員
当	14,100	有村 俊彦	41	みんな	新① (元)大成建設社員
当	13,019	山田 一海	65	自民	現⑦ ビル管理業
当	10,918	渡辺 忠則	46	自民	現② 党市青年局幹事長
当	10,720	井上 桜	46	無所属	現⑤ (元)県議事務所員
当	9,015	古谷 靖彦	39	共産	新① (元)医療団体職員
	7,484	山室 千尋	26	民主	新 (元)ソフト会社員
	6,321	藤川 祥子	35	横ネット	新 党区代表
	6,002	谷地 伸次	64	民主	現(1) (元)衆院議員秘書
	1,429	山崎 宏文	45	無所属	新 (元)情報通信社員
	865	林田 浩作	36	無所属	新 無職

得票	名前	年齢	政党	新旧	略歴
<b>神奈川区(定数:5-10)</b>					
当	12,454	平野 和之	35	みんな	新① 経済評論家
当	12,377	福田 進	69	自民	現⑧ 社福法人理事
当	11,909	竹内 康洋	50	公明	新① (元)人材紹介社員
当	11,161	藤代 哲夫	31	自民	新① 市議秘書
当	9,168	中山 大輔	35	民主	現③ 党県副幹事長
	7,330	杉山 典子	52	横ネット	現(3) 党代表
	6,197	柏木 哲哉	30	共産	新 医療団体職員
	5,885	井上 大石	48	民主	現(1) 包装サービス業
	4,488	太田 幸江	51	横ネット	新 配食団体監事
	1,798	葛西 康樹	47	無所属	新 会社員

得票	名前	年齢	政党	新旧	略歴
<b>西区(定数:2-3)</b>					
当	16,004	清水 富雄	55	自民	現⑤ (元)日本郵船社員
当	8,408	荻原 隆宏	41	民主	現② (元)輸入会社員
	7,420	上野 盛郎	40	みんな	新 住宅企画設計業

得票	名前	年齢	政党	新旧	略歴
<b>中区(定数:4-7)</b>					
当	10,145	福島 直子	54	公明	現③ (元)住友建設社員
当	9,586	伊波 洋之助	68	自民	現⑦ 社福法人理事
当	9,442	串田 久子	45	みんな	現② 社福法人顧問
当	9,318	松本 研	59	自民	現⑤ (元)診療所事務長
	5,688	坂田 潤	36	民主	新 市交通局職員
	2,866	畑野 良弘	50	共産	新 カメラマン
	2,159	松本 修明	52	無所属	新 社団法人代表

得票	名前	年齢	政党	新旧	略歴
<b>南区(定数:5-7)</b>					
当	14,389	渋谷 健	52	自民	現② (元)衆院議員秘書
当	12,473	仁田 昌寿	54	公明	現⑤ (元)製紙会社員
当	10,554	遊佐 大輔	29	自民	新① (元)衆院議員秘書
当	9,986	荒木 由美子	51	共産	元④ (元)市保育所職員
当	9,164	木下 義裕	33	みんな	新① (元)中学校教諭
	9,155	高梨 晃嘉	63	民主	現(4) 行政書士
	6,322	横手 晃	43	無所属	新 (元)広告会社員

得票	名前	年齢	政党	新旧	略歴
<b>港南区(定数:5-8)</b>					
当	14,957	瀬之間 康浩	50	自民	現③ (元)福祉会社員
当	14,909	市野 太郎	46	民主	現② (元)梱包会社員
当	14,229	田野井 一雄	70	自民	現⑧ 関東学院監事
当	11,997	安西 英俊	40	公明	新① (元)人材派遣社員
当	9,318	山田 桂一郎	47	ヨコハマ	現② (元)大倉商事社員
	8,744	三輪 智恵美	57	共産	新 (元)小学校教諭
	6,616	藤井 皆子	55	横ネット	新 党区代表
	3,499	酒井 亮介	38	無所属	新 (元)衆院議員秘書

得票	名前	年齢	政党	新旧	略歴
<b>保土ヶ谷区(定数:5-9)</b>					
当	14,169	斉藤 伸一	43	公明	現③ (元)情報会社員
当	12,078	磯部 圭太	29	みんな	新① (元)ビル管理社員
当	10,044	田中 忠昭	67	自民	現⑤ 燃料米穀会社社長
当	8,996	坂井 太	43	自民	現③ (元)衆院議員秘書
当	8,568	森 敏明	61	民主	現⑥ 製鉄会社員
	6,754	平野 千城	31	民主	新 (元)党職員
	6,033	岩見 洋子	61	共産	新 (元)劇団員
	4,944	田中 紳一	47	ヨコハマ	現(1) (元)広告会社員
	2,624	片田 和男	60	無所属	新 (元)東京ガス社員

得票	名前	年齢	政党	新旧	略歴
<b>旭区(定数:6-8)</b>					
当	21,525	吉川 直季	42	自民	現⑤ (元)横浜銀行員
当	16,156	和田 卓生	57	公明	現⑥ (元)市職員
当	13,253	小粥 康弘	43	民主	現③ 三菱重工社員
当	12,789	佐藤 茂	56	自民	現⑦ 社福法人理事
当	9,697	大岩 真善和	40	みんな	新① (元)日本GE社員
当	8,938	五十嵐 節馬	45	民主	現② (元)郵政公社職員
当	8,099	河治 民夫	59	共産	現(2) (元)電機製造社員
	6,723	土田 龍司	58	諸派	新 (元)衆院議員

得票	名前	年齢	政党	新旧	略歴
<b>磯子区(定数:4-7)</b>					
当	17,133	関 勝則	48	自民	現② (元)衆院議員秘書
当	13,374	中尾 智一	44	民主	現③ IH社員
当	10,112	太田 正孝	65	無所属	現⑨ 社福法人理事
当	9,998	加藤 広人	53	公明	現⑤ (元)学習塾経営
	5,698	赤島 順子	56	横ネット	新 党共同代表
	4,171	浅川 義治	43	無所属	元(1) (元)横浜銀行員
	3,071	児玉 俊明	48	共産	新 党区委員長

得票	名前	年齢	政党	新旧	略歴
<b>金沢区(定数:5-9)</b>					
当	15,060	谷田部 孝一	61	民主	現⑥ 日本飛行機社員
当	14,457	黒川 勝	45	自民	現② 党市政調副会長
当	11,971	篠原 豪	36	みんな	新① (元)編集記者
当	11,197	高橋 徳美	42	自民	新① (元)参院議員秘書
当	11,037	小幡 正雄	68	ヨコハマ	現⑨ 社福法人理事
	10,683	木村 久義	60	公明	現⑤ (元)信金職員
	4,771	阪本 真記	26	共産	新 (元)IT会社員
	4,712	田辺 真也	35	無所属	新 行政書士
	1,124	大倉 洋一	62	無所属	新 電子機器販売業

得票	名前	年齢	政党	新旧	略歴
<b>港北区(定数:8-13)</b>					
当	18,712	豊田 有希	35	みんな	新① (元)電通社員
当	12,860	川口 珠江	63	民主	現③ (元)養護教諭
当	12,580	佐藤 祐文	48	自民	現⑥ (元)衆院議員秘書
当	11,297	望月 康弘	50	公明	現② (元)ロッソ社員
当	11,030	大山 正治	43	民主	現③ (元)中学校教諭
当	9,662	白井 正子	51	共産	現② 党地区委員
当	9,532	畑野 鎮雄	64	自民	現⑤ 不動産管理業
当	8,860	酒井 誠	49	自民	現② 党市女性局長
	7,594	大野 拓夫	42	横ネット	新 (元)NPO職員
	6,126	飯田 助尚	40	民主	現(1) (元)IT会社員
	4,141	水口 大助	59	無所属	新 不動産業
	1,376	村上 剛	50	無所属	新 (元)海外協力隊員
	600	深沢 利元	53	無所属	新 環境コンサル業

得票	名前	年齢	政党	新旧	略歴
<b>緑区(定数:4-7)</b>					
当	17,696	斎藤 達也	38	自民	現③ (元)市議秘書
当	16,636	伊藤 大貴	33	みんな	現② (元)日経BP記者
当	11,014	今野 典人	50	民主	現④ 通信機器会社員
当	10,004	高橋 正治	51	公明	現③ (元)技術開発社員
	4,382	安田 麗子	49	民主	新 化粧品契約社員
	3,627	杉本 久子	67	共産	新 (元)卸販売会社員
	1,889	仲本 宏章	68	無所属	新 (元)市職員

得票	名前	年齢	政党	新旧	略歴
<b>青葉区(定数:7-11)</b>					
当	23,795	藤崎 浩太郎	31	みんな	新① (元)衆院議員秘書
当	13,840	山下 正人	46	自民	現② (元)生保会社員
当	12,099	横山 正人	47	自民	現⑤ 社福法人評議員
当	10,984	丸岡 伊津子	49	横ネット	新① 教育団体代表
当	8,669	行田 朝仁	44	公明	新① (元)日立社員
当	6,965	菅野 義矩	63	民主	現⑥ 福祉NPO理事
当	6,878	大貫 憲夫	63	共産	現⑦ (元)酒店経営
	6,453	遠藤 幸彦	49	民主	新 (元)衆院議員秘書
	5,908	土志田 三津夫	55	民主	現(1) (元)大学講師
	5,153	志村 正泰	50	無所属	新 不動産業
	3,713	工藤 裕一郎	37	革新	現② (元)衆院議員秘書

得票	名前	年齢	政党	新旧	略歴
<b>都筑区(定数:4-7)</b>					
当	11,235	望月 高德	45	みんな	新① 学習塾経営
当	10,525	草間 剛	29	自民	新① (元)研究所職員
当	10,293	嶋村 勝夫	70	自民	現⑨ 不動産管理業
当	9,707	斎藤 真二	54	公明	現② (元)通信機器社員
	8,958	森 裕之	40	民主	現(2) 国際NPO理事
	7,429	飯沢 清人	56	ヨコハマ	現(4) (元)財団法人職員
	6,528	内野 敦	44	民主	新 酒店経営

得票	名前	年齢	政党	新旧	略歴
<b>戸塚区(定数:6-9)</b>					
当	24,095	鈴木 太郎	44	自民	現③ (元)三菱銀行員
当	12,219	坂本 勝司	43	民主	新① 労組支部書記長
当	11,773	中島 光徳	41	公明	新① (元)タイヤ会社員
当	10,553	足立 秀樹	40	みんな	新① (元)市議秘書
当	10,041	岩崎 広	64	共産	元② 党区委員長
当	9,837	川辺 芳男	56	民主	現⑦ 県民社協会役員
	9,173	吉原 訓	64	自民	現(6) 飲食店経営
	7,544	宇都宮 充子	61	横ネット	現(2) 介護NPO監事
	5,761	小野 和宏	48	民主	新 市水道局職員

得票	名前	年齢	政党	新旧	略歴
<b>栄区(定数:3-5)</b>					
当	19,858	大桑 正貴	37	無所属	現③ (元)人材派遣社員
当	12,276	奥石 且子	42	自民	新① (元)市議秘書
当	7,726	石渡 由紀夫	47	民主	現② 東京電力社員
	6,373	藤田 みちる	61	横ネット	現(1) (元)小学校教諭
	4,057	竹岡 健治	64	社民	新 (元)小学校教諭

得票	名前	年齢	政党	新旧	略歴
<b>泉区(定数:4-6)</b>					
当	14,546	横山 勇太郎	37	みんな	新① 造園会社社長
当	11,486	梶村 充	62	自民	元④ 党支部長
当	11,142	麓 理恵	52	民主	現② (元)小学校教諭
当	10,078	源波 正保	57	公明	現④ (元)不動産会社員
	9,168	松本 秀一	43	民主	現(1) 日産自動車社員
	4,275	宮本 千恵美	55	共産	新 訪問介護員

得票	名前	年齢	政党	新旧	略歴
<b>瀬谷区(定数:3-5)</b>					
当	14,047	川口 正寿	68	自民	現⑦ 不動産賃貸業
当	11,768	花上 喜代志	64	民主	現⑨ 党県副代表
当	11,586	加納 重雄	58	公明	現④ 党県遊説局長
	8,905	漆原 道友	35	民主	新 (元)病院職員
	3,882	小池 恒彦	69	共産	新 (元)新聞印刷社員

資料10 川崎市議会議員選挙

告示日:2011/04/01(金) 投票日:2011/04/10(日)

得票	名前	年齢	政党	新旧	略歴
<b>川崎区(定数:9-12)</b>					
当	10,635	嶋崎 嘉夫	46	自民	現⑤ 市副議長
当	8,486	浜田 昌利	49	公明	現③ (元)情報会社員
当	7,492	岩崎 善幸	62	公明	現⑤ (元)広告会社員
当	7,022	飯塚 正良	60	民主	現⑥ (元)市職員
当	6,990	為谷 義隆	37	みんな	新① (元)衆院議員秘書
当	6,756	坂本 茂	61	自民	現⑥ 党市副会長
当	6,365	佐野 仁昭	42	共産	現④ (元)大工
当	6,188	林 浩美	47	自民	現③ (元)事務機社員
当	6,039	宮原 春夫	68	共産	現⑥ (元)合成ゴム社員
	5,267	西 譲治	58	民主	現② 製鉄会社員
	3,069	今野 克義	38	民主	新 (元)参院議員秘書
	1,264	柚場 和敏	37	無所属	新 電気通信会社員

得票	名前	年齢	政党	新旧	略歴
<b>多摩区(定数:9-13)</b>					
当	8,739	三宅 隆介	40	民主	現③ (元)総合商社員
当	8,567	橋本 勝	36	自民	現② (元)衆院議員秘書
当	8,196	広田 健一	61	自民	現③ (元)豆腐販売業
当	7,741	吉沢 章子	47	自民	現③ (元)建築設計業
当	6,783	井口 真美	49	共産	現③ 生活相談所長
当	6,246	菅原 進	63	公明	現④ (元)海運会社員
当	5,845	斉藤 隆司	59	共産	現④ (元)県議秘書
当	5,844	河野 ゆかり	43	公明	新① (元)准看護師
当	4,613	露木 明美	56	民主	現⑥ 小学教諭
	3,519	前田 哲朗	41	民主	新 (元)衆院議員秘書
	3,365	井野 大輔	39	無所属	新 飲食店経営
	3,263	川合 藤花	41	神ネット	新 党支部副代表
	1,581	須藤 教成	31	無所属	新 著述業

得票	名前	年齢	政党	新旧	略歴
<b>幸区(定数:7-9)</b>					
当	11,499	鍋木 茂哉	63	自民	現⑤ (元)市議長
当	8,757	小田 理恵子	39	みんな	新① (元)富士通社員
当	8,561	竹間 幸一	63	共産	現⑦ (元)参院議員秘書
当	6,419	河野 忠正	51	公明	現③ (元)小学校職員
当	6,276	沼沢 和明	57	公明	現③ (元)宝石会社員
当	5,321	山田 益男	55	民主	現② 東京電力社員
当	4,491	吉田 史子	47	民主	新① コンサル会社長
	3,380	西村 晋一	50	無所属	現① (元)金型製造業
	2,617	柳下 博子	51	神ネット	新 介護ヘルパー

得票	名前	年齢	政党	新旧	略歴
<b>麻生区(定数:7-9)</b>					
当	10,272	雨笠 裕治	52	民主	現⑦ (元)党県幹事長
当	9,620	山崎 直史	37	自民	現③ (元)情報通信社員
当	9,011	月本 琢也	32	みんな	新① (元)衆院議員秘書
当	7,291	花輪 孝一	57	公明	現④ (元)市職員
当	6,959	尾作 均	54	自民	現③ (元)川崎信金職員
当	6,409	木庭 理香子	43	民主	新① (元)商社員
当	5,759	勝又 光江	57	共産	現② (元)幼稚園教諭
	5,165	山口 和子	49	神ネット	現① 党市代表
	2,064	福田 治	43	無所属	新 (元)市職員

得票	名前	年齢	政党	新旧	略歴
<b>中原区(定数:10-13)</b>					
当	13,287	松川 正二郎	42	みんな	新① (元)衆院議員秘書
当	9,962	松原 成文	57	自民	現③ 不動産管理業
当	9,373	原 典之	34	自民	新① しょうゆ店社長
当	7,939	市古 映美	61	共産	現⑦ 党県委員
当	6,356	潮田 智信	57	民主	現⑥ (元)自動車会社員
当	6,200	東 正則	63	民主	現④ 富士通嘱託社員
当	6,125	川島 雅裕	40	公明	新① 党県青年局次長
当	6,092	吉岡 俊祐	54	公明	現③ (元)情報技術社員
当	5,397	大庭 裕子	50	共産	現② (元)幼稚園教諭
当	5,395	押本 吉司	27	民主	新① (元)県議秘書
	4,176	清水 勝利	40	自民	現① (元)綾瀬市議
	3,729	加藤 隆志	33	自民	新 (元)衆院議員秘書
	1,915	荒居 義次	60	無所属	新 建設会社員

得票	名前	年齢	政党	新旧	略歴
<b>高津区(定数:9-11)</b>					
当	10,874	青木 功雄	33	自民	現② (元)ガラス販売業
当	8,597	小川 顕正	27	みんな	新① 古河電工社員
当	7,105	石田 和子	64	共産	現④ (元)保育士
当	6,966	大島 明	56	自民	現④ 不動産管理業
当	6,794	後藤 晶一	58	公明	現⑤ (元)アパレル社員
当	6,200	岡村 テル子	59	公明	現③ (元)大和証券社員
当	6,173	猪股 美恵	61	無所属	現⑥ (元)保育士
当	6,087	岩隈 千尋	36	民主	現② (元)英語塾講師
当	4,761	粕谷 葉子	54	民主	現④ (元)機器会社員
	4,711	伊藤 博幸	40	自民	新 広告会社役員
	4,672	堀添 健	48	民主	現② (元)IT会社役員

得票	名前	年齢	政党	新旧	略歴
<b>宮前区(定数:9-14)</b>					
当	9,320	竹田 宣広	28	みんな	新① (元)衆院議員秘書
当	8,390	石田 康博	40	自民	現④ (元)衆院議員秘書
当	6,808	浅野 文直	40	自民	現④ デイサービス業
当	6,649	矢沢 博孝	67	自民	現⑥ (元)農協支店長
当	6,627	田村 伸一郎	45	公明	新① (元)銀行員
当	5,780	添田 勝	33	民主	新① 社団法人監事
当	5,636	山田 晴彦	56	公明	現③ (元)食糧協組職員
当	5,306	石川 建二	53	共産	現④ (元)劇団員
当	5,294	織田 勝久	49	民主	現③ 社団法人研究員
	4,457	太田 公子	62	民主	現① アナウンサー
	4,335	井上 みどり	37	無所属	新 (元)衆院議員秘書
	3,823	仲本 早苗	42	神ネット	新 (元)介護団体理事
	1,306	山内 和彦	46	無所属	元① (元)コイン販売業
	792	中村 信夫	52	無所属	新 (元)IT会社役員

資料11 相模原市議会議員選挙

告示日:2011/04/01(金) 投票日:2011/04/10(日)

得票 名前 年齢 政党 新旧 略歴

緑区(定数:12-24)

当	5,721	小野沢 耕一	65	無所属	現③	不動産業
当	5,666	関山 由紀江	61	公明	現④	党派女性局長
当	5,470	小林 正明	63	無所属	現②	(元)城山町長
当	5,060	長友 義樹	66	無所属	現⑧	(元)和泉短大理事
当	4,953	山岸 一雄	75	無所属	現⑨	社福法人理事
当	4,510	小田 貴久	29	民主	新①	(元)衆院議員秘書
当	4,245	野元 好美	48	無所属	現②	(元)中学校教諭
当	4,109	栗原 大	62	無所属	現②	自動車整備業
当	3,984	栄 裕明	57	公明	現②	(元)城山町議長
当	3,936	宮下 奉機	68	無所属	元②	(元)津久井町議
当	3,253	小林 倫明	40	みんな	新①	(元)衆院議員秘書
当	2,838	関根 雅吾郎	39	民主	新①	(元)農協職員
	2,810	二木 栄一	48	民主	現(1)	(元)NPO役員
	2,632	久保田 雄司	57	共産	新	造園業
	2,482	池谷 健	39	無所属	現(1)	経営コンサル業
	2,434	秋本 仁	40	無所属	新	格闘家
	2,086	角尾 彰央	51	民主	現(2)	党副総支部長
	1,673	安藤 照男	59	無所属	新	市文化協会会長
	1,406	高橋 正二	61	無所属	新	林業
	724	榎本 五郎	65	無所属	新	派遣会社社長
	548	佐々木 宣彰	67	無所属	新	学習塾経営
	536	松川 公浩	49	無所属	新	(元)新宿区議
	426	藤田 出	42	無所属	新	リネン工場社員
	410	関戸 正樹	29	無所属	新	家庭教師

中央区(定数:18-23)

当	9,940	沼倉 孝太	64	自民	現④	(元)印刷業
当	8,439	五十嵐 千代	38	みんな	新①	(元)杉並区議
当	6,281	菅原 康行	61	公明	現⑤	党支部長
当	6,267	江成 直士	65	無所属	現②	(元)小学校長
当	5,758	米山 定克	60	公明	現④	党支部長
当	5,580	西家 克己	47	公明	新①	(元)そごう社員
当	5,396	中村 昌治	49	無所属	現③	不動産管理業
当	4,402	大沢 洋子	57	民主	現③	(元)党派副幹事長
当	4,373	佐藤 賢司	65	無所属	現⑦	(元)県市議長会長
当	4,252	岸浪 孝志	59	無所属	現⑤	三菱重工社員
当	3,875	森 繁之	44	無所属	現②	NEC社員
当	3,738	松永 千賀子	56	共産	現④	党地区委員
当	3,714	久保田 義則	78	無所属	現⑦	不動産業
当	3,660	小池 義和	33	民主	現③	(元)市監査委員
当	3,619	落合 芳平	77	民主	現④	(元)内装業
当	3,433	小野 弘	52	無所属	新①	建材販売会社社長
当	3,402	竹腰 早苗	59	共産	現②	党地区委員
当	3,270	白井 貴彦	39	民主	新①	(元)県議秘書
	3,093	多賀 誠	49	無所属	新	(元)衆院議員秘書
	3,036	杉本 直子	40	民主	新	(元)不動産業
	2,136	山本 裕子	55	神ネット	新	(元)生協理事
	1,916	小沢 隆宏	29	無所属	新	行政書士
	1,820	渡辺 良一	61	民主	現(1)	建設会社役員

南区(定数:19-29)

当	6,776	阿部 善博	40	無所属	現③	(元)IT会社員
当	6,010	大槻 研	36	みんな	新①	(元)参院議員秘書
当	5,233	鈴木 秀成	34	民主	新①	(元)衆院議員秘書
当	4,745	石川 将誠	34	無所属	現②	(元)医療法人理事
当	4,734	久保田 浩孝	50	公明	新①	(元)市職員
当	4,471	大崎 秀治	51	公明	新①	行政書士
当	4,448	加藤 明德	53	公明	現④	党派企画局長
当	4,257	中村 知成	41	民主	新①	(元)衆院議員秘書
当	4,060	金子 豊貴男	61	社民	現⑥	党派副代表
当	3,995	寺田 弘子	57	無所属	現②	地区社協理事
当	3,976	古内 明	47	無所属	現③	(元)力士
当	3,876	稲垣 稔	67	無所属	現⑤	石材会社会長
当	3,836	大田 浩	35	共産	新①	(元)派遣会社員
当	3,686	折笠 峰夫	67	無所属	現⑦	不動産業
当	3,663	桜井 はるな	53	民主	新①	医療法人理事
当	3,516	市川 圭	32	みんな	新①	防犯コンサル業
当	3,503	藤井 克彦	51	共産	現⑤	党地区委員
当	3,503	須田 毅	69	無所属	現③	(元)電機商社員
当	3,486	溝渕 誠之	87	無所属	現⑫	幼稚園長
	3,224	東條 恵美子	66	無所属	現(2)	環境問題講師
	3,215	財津 秀明	54	みんな	新	(元)大和証券社員
	3,071	大槻 和弘	55	無所属	現(1)	印刷業
	2,495	渋谷 浩	63	無所属	新	不動産管理業
	2,356	石川 達	41	民主	新	(元)広告会社社長
	2,213	西村 綾子	71	無所属	現(4)	婦人団体顧問
	2,142	篠崎 健太	29	民主	新	(元)衆院議員秘書
	1,212	津久井 知恵	35	無所属	新	(元)電子部品社員
	1,152	小林 美穂子	68	無所属	新	教育NPO代表
	838	吉田 梯	43	無所属	現(1)	タウン紙社長



資料12 10市の当選者の内訳

横須賀市議 41/61

	立候補者					当選者数				
	現	元	新	女性	計	現	元	新	女性	計
自民	5		4		9	5		3		8
民主			2		2			0		0
公明	5		2	2	7	5		2	2	7
共産	3			2	3	3			2	3
みんな			2		2			0		0
社民					0					0
ネット	1			1	1	0				0
無所属	20		17	4	37	18		5	2	23
計	34	0	27	9	61	31	0	10	6	41

三浦市議 15/18

	立候補者					当選者数				
	現	元	新	女性	計	現	元	新	女性	計
自民					0					0
民主	1		1		2	0		0		0
公明	2				2	2				2
共産	3			2	3	3			2	3
みんな					0					0
社民					0					0
ネット					0					0
無所属	8	1	2	1	11	8	1	1	1	10
計	14	1	3	3	18	13	1	1	3	15

平塚市議 30/34

	立候補者					当選者数				
	現	元	新	女性	計	現	元	新	女性	計
自民	1				1	1				1
民主			2	2	2			2		2
公明	4		1	1	5	4		1	2	5
共産	2		1		3	2		1	1	3
みんな					0					0
社民			1		1			0		0
ネット			1	1	1			1	1	1
無所属	17		4	2	21	16		2	2	18
計	24	0	10	6	34	23	0	7	6	30

大和市議 28/43

	立候補者					当選者数				
	現	元	新	女性	計	現	元	新	女性	計
自民	1		1		2	1		1		2
民主	2		3		5	1		1		2
公明	2		3	1	5	2		3	1	5
共産	4			2	4	3			2	3
みんな			2		2			2		2
社民					0					0
ネット	1		2	3	3	1		1	2	2
無所属	8	1	13	2	22	6		6	1	12
計	18	1	24	8	43	14	0	14	6	28

藤沢市議 36/43

	立候補者					当選者数				
	現	元	新	女性	計	現	元	新	女性	計
自民	4				4	4				4
民主	2		2	1	4	2		2	1	4
公明	4		2	2	6	4		2	2	6
共産	2		2	2	4	2		1	1	3
みんな		1	3	1	4		1	1		2
社民	1				1	1				1
ネット			1	1	1			1	1	1
無所属	12		7	2	19	12		3	2	15
計	25	1	17	9	43	25	1	10	7	36

伊勢原市議 21/31

	立候補者					当選者数				
	現	元	新	女性	計	現	元	新	女性	計
自民					0					0
民主	1		1		2	1		1		2
公明	2		1	1	3	2		1	1	3
共産	2		1	1	3	2			1	2
みんな					0					0
社民					0					0
ネット			1	1	1			1	1	1
無所属	13		9	3	22	11		2	1	13
計	18	0	13	6	31	16	0	5	4	21

小田原市議 28/34

	立候補者					当選者数				
	現	元	新	女性	計	現	元	新	女性	計
自民					0					0
民主	1		1		2	1				1
公明	3		1	1	4	3		1	1	4
共産	3			1	3	3			1	3
みんな					0					0
社民					0					0
ネット					0					0
無所属	13		12	5	25	12		8	4	20
計	20	0	14	7	34	19	0	9	6	28

南足柄市議 16/18

	立候補者					当選者数				
	現	元	新	女性	計	現	元	新	女性	計
自民					0					0
民主					0					0
公明	2			1	2	2			1	2
共産	1				1	1				1
みんな	1				1	1				1
社民					0					0
ネット					0					0
無所属	9		5	1	14	9		3	1	12
計	13	0	5	2	18	13	0	3	2	16

茅ヶ崎市議 28/37

	立候補者					当選者数				
	現	元	新	女性	計	現	元	新	女性	計
自民	3			1	3	3			1	3
民主	1				1	1				1
公明	4		1	3	5	4		1	3	5
共産			2	1	2			1	1	1
みんな		1	2	1	3		1	2	1	3
社民			1		1			1		1
ネット			1	1	1			1	1	1
無所属	10	1	10	5	21	9		4	3	13
計	18	2	17	12	37	17	1	10	10	28

綾瀬市議 21/22

	立候補者					当選者数				
	現	元	新	女性	計	現	元	新	女性	計
自民					0					0
民主	1			1	1	1			1	1
公明	3		1	2	4	3		1	2	4
共産	2				2	2				2
みんな					0					0
社民					0					0
ネット			1	1	1			1	1	1
無所属	9		5	1	14	9		4	1	13
計	15	0	7	5	22	15	0	6	5	21

◇横須賀市議 (定数41-候補者数61)

得票	氏名	年齢	党派	現新期数	前職等
当	6,495 上地 克明	57	無所属	現 ③	元市場調査業
当	6,457 藤野 英明	37	無所属	現 ③	元東宝社員
当	5,531 永井 真人	34	無所属	新 ①	神 職
当	5,421 青木 哲正	55	無所属	現 ③	不動産管理業
当	5,369 木下 憲司	60	自民	現 ②	元海上自衛隊員
当	4,574 大野 忠之	51	自民	新 ①	通信販売会社社長
当	3,998 鈴木 真智子	57	公明	現 ③	党支部長
当	3,931 長谷川 昇	48	無所属	新 ①	元中学校教諭
当	3,861 角井 基	56	無所属	現 ⑤	市労運役員
当	3,850 伊藤 順一	67	無所属	現 ③	元市経済部長
当	3,735 岩崎 絵美	43	無所属	現 ③	元大和証券社員
当	3,732 板橋 衛	52	公明	現 ⑥	党県副幹事長
当	3,726 岩沢 章夫	61	公明	現 ③	党副支部長
当	3,663 嘉山 淳平	26	無所属	新 ①	元求人広告社員
当	3,483 芳賀 親男	56	無所属	現 ③	日産自動車社員
当	3,482 加藤 真道	42	無所属	現 ②	元シャープ社員
当	3,476 土田 弘之宣	44	公明	現 ②	党副支部長
当	3,471 室島 真貴子	60	公明	現 ④	党支部長
当	3,456 西郷 宗範	41	自民	新 ①	元財団法人職員
当	3,339 田辺 宗一	55	自民	現 ②	元県議秘書
当	3,318 山口 道夫	66	無所属	現 ⑥	京急電鉄食卓
当	3,268 渡辺 光一	43	自民	新 ①	元衆院議員秘書
当	3,204 石山 満	50	公明	新 ①	元日本航空社員
当	3,156 関沢 敏行	50	公明	新 ①	元自動車会社社員
当	3,141 井坂 新哉	39	共産	現 ④	党地区委員
当	2,977 小林 伸行	35	無所属	新 ①	元コンサル業
当	2,943 杉田 惺(さとる)	63	無所属	現 ②	元大倉商事社員
当	2,829 高橋 敏明	69	自民	現 ⑨	写真館経営
当	2,745 根岸 加寿子	60	共産	現 ④	党地区委員
当	2,686 青木 秀介	50	自民	現 ③	生命保険会社社員
当	2,614 伊東 雅之	58	無所属	現 ⑤	元旅行会社社長
当	2,606 矢島 真知子	61	無所属	現 ⑥	元自治体学会役員
当	2,477 浜野 雅浩	49	無所属	現 ③	市体育指導員
当	2,458 一柳 洋	61	無所属	現 ⑥	海洋研究家
当	2,433 神保 浩	75	無所属	現 ⑨	元衆院議員秘書
当	2,399 大村 洋子	46	共産	現 ②	元水道検針員
当	2,373 伊関 功滋	47	無所属	現 ③	電気機器会社社員
当	2,203 山下 薫	74	自民	現 ⑥	元高梨乳業社員
当	2,130 山本 文夫	56	無所属	現 ④	照明機器会社社員
当	2,112 山城 保男	63	無所属	新 ①	元郵便局員
当	2,072 松岡 和行	54	無所属	現 ①	不動産業
	1,940 村松 仁志	52	みんな	新	歯科技工士
	1,930 滝川 君枝	51	ネット	現	開発NPO監査
	1,920 西依 均	39	みんな	新	元衆院議員秘書
	1,819 葉山 直	51	無所属	新	元私立高校教諭
	1,742 原田 周二	69	民主	新	運送会社社長
	1,727 加藤 明	54	無所属	新	旅行会社社長
	1,580 野村 隆弘	52	無所属	現	元金属会社役員
	1,577 森 歩三	31	自民	新	福祉関連会社社長
	1,397 岡本 史朗	38	無所属	新	建設会社顧問
	1,359 佐藤 進矢	27	民主	新	NPO法人研究員
	1,084 渡辺 孝	52	無所属	新	塗装業
	1,030 永井 秀明	35	無所属	新	元富士通社員
	910 佐久間 則夫	56	無所属	現	元基地従業員
	710 内田 竹伸	32	無所属	新	介護支援員
	634 白浜 幸吉	70	無所属	新	リサイクル業
	599 本田 充	54	無所属	新	建設不動産業
	560 木下 容子	59	無所属	新	元地域交流店長
	535 辺見 義和	32	無所属	新	自動車修理業
	307 鈴木 真	31	無所属	新	無 職
	214 大竹 泰子	55	無所属	新	英語講師

◇平塚市議 (定数30-候補者数34)

得票	氏名	年齢	党派	現新期数	前職等
当	7,208 江口 友子	35	無所属	現 ③	元地域紙社員
当	5,552 数田 俊樹	28	無所属	新 ①	元衆院議員秘書
当	5,226 府川 正明	61	無所属	現 ④	日産車体社員
当	4,705 白井 照人	50	自民	現 ③	乳製品販売業
当	3,943 米村 和彦	27	民主	新 ①	元参院議員秘書
当	3,934 須藤 量久	50	無所属	現 ③	農 業
当	3,778 山原 栄一	56	無所属	現 ⑤	日産車体社員
当	3,260 出村 光	61	無所属	現 ⑤	横浜ゴム社員
当	3,224 鈴木 晴男	60	公明	現 ③	党副支部長
当	3,167 坂間 正昭	49	無所属	現 ②	元郵政公社社員
当	3,149 小笠原千恵美	57	公明	新 ①	党副支部長
当	3,014 伊東 尚美	56	公明	現 ②	元党副支部長
当	2,964 鈴木 亜紀子	44	ネット	新 ①	元丸善社員
当	2,924 片倉 章博	48	無所属	現 ③	酒類販売業
当	2,880 永田 美典	57	公明	現 ③	1級建築士
当	2,845 秋澤 雅久	49	公明	現 ③	元大東建託社員
当	2,814 端 文昭	60	無所属	現 ④	元住友重機社員
当	2,771 岩田 耕平	55	無所属	現 ③	農 業
当	2,739 野崎 審也	66	無所属	現 ②	元特定郵便局長
当	2,722 吉野 和美	57	無所属	現 ④	元市監査委員
当	2,711 小泉 春雄	61	無所属	現 ④	元日本通運社員
当	2,662 松本 敏子	59	共産	現 ③	党県委員
当	2,471 佐藤 貴子	43	無所属	現 ①	元製造契約社員
当	2,435 黒部 栄三	59	無所属	新 ③	塗料会社社員
当	2,417 金子 修一	69	無所属	現 ④	市観光協会会長
当	2,389 出縄 喜文	58	無所属	現 ③	元湘南農協職員
当	2,312 渡辺 敏光	54	共産	現 ④	党地区委員
当	2,205 内堀 祐一	48	民主	新 ①	不動産会社社員
当	2,169 高山 和義	57	共産	新 ①	元生協職員
当	2,092 高橋 紀英	45	無所属	現 ③	元市職員
	1,869 山口 聖	37	無所属	現	漁 業
	1,337 古家 秀泰	35	無所属	新	市消防団分団員
	883 上杉 隆史	47	社民	新	横浜市バス職員
	805 今井 章博	38	無所属	新	商業NPO代表

◇小田原市議 (定数28-候補者数34)

得票	氏名	年齢	党派	期数	前職等
当	3,459 大野 真一	69	無現⑦		不動産管理業
当	3,408 楊 隆子	47	公新①		看護師
当	3,367 大村 学	48	無現②		元市職員
当	2,979 小松 久信	62	公現⑥		党県幹事
当	2,959 奥山 孝二郎	53	公現③		金属回収会社社員
当	2,877 今村 洋一	54	公現⑤		測量会社社員
当	2,806 加藤 仁司	49	無現⑤		元衆院議員秘書
当	2,725 安藤 孝雄	60	無新①		元小学校教諭
当	2,664 木村 信市	61	無現③		元県職員
当	2,493 武松 忠	45	無現④		元半導体会社社員
当	2,440 鈴木 敦子	47	無新①		市臨時職員
当	2,218 植田 理都子	64	無現②		元市市民部長
当	2,194 田中 利恵子	57	共現④		党地区委員
当	2,185 鈴木 紀雄	62	無新①		元市職員
当	2,136 安野 裕子	61	無現③		元保育士
当	2,134 神永 四郎	59	無新①		元高校教諭
当	2,119 関野 隆司	63	共現⑥		党地区副委員長
当	2,082 井原 義雄	56	無現④		東京電力社員
当	2,061 鈴木 美伸	59	無現③		農 業
当	1,921 佐々木奈保美	41	無現②		学習塾経営
当	1,876 野坂 稔	65	無新①		農 業
当	1,869 原田 敏司	65	共現④		元機械製造社員
当	1,869 小沢 峯雄	65	無新①		家電販売修理業
当	1,837 細田 常夫	80	無現⑨		元ガス会社顧問
当	1,820 横田 八郎	66	無現②		元番組制作役員
当	1,812 俣 鋼太郎	50	民現②		党総支部幹事長
当	1,781 井上 昌彦	46	無新①		種苗会社役員
当	1,755 木村 正彦	64	無新①		元厚木市助役
	1,717 檜山 智子	60	無現		NPO理事長
	1,519 吉田 良和	39	民新		衆院議員秘書
	928 竹村 忠孝	56	無新		大学非常勤講師
	837 澤地 良則	59	無新		自動車販売業
	739 笠原 豪人	34	無新		元ビル管理社員
	562 本杉 芳和	46	無新		元ホテル社員

資料13-② 市議会議員選挙

◆藤沢市議 (定数36一候補者数43)

得票	氏名	年齢	党派・期数	前職等	
当	5,851	松長 泰幸	42	自現③	元建設会社員
当	4,772	有賀 正義	54	み元②	元いすゞ社員
当	4,597	原 輝雄	37	無現③	元衆議院議員秘書
当	4,391	加藤 一	51	自現②	建設会社役員
当	4,037	市川 和広	40	自現②	元衆議院議員秘書
当	3,862	桜井 直人	43	無現②	元衆議院議員秘書
当	3,776	佐賀 和樹	38	無現④	元衆議院議員秘書
当	3,704	山口 幸雄	63	自現④	市観光協副会長
当	3,565	井上 裕介	29	無現②	元衆議院議員秘書
当	3,537	吉田 淳基	28	無新①	元衆議院議員秘書
当	3,451	原田 伴子	48	無現②	元三菱電機社員
当	3,253	大矢 徹	45	無新①	市職労役員
当	3,178	柳田 秀憲	42	民現③	元不動産会社員
当	3,176	竹村 雅夫	57	無現②	元湘南教組役員
当	3,133	浜元 輝喜	56	無現②	いすゞ社員
当	3,068	宮戸 光	40	無現②	NPO事務局長
当	2,942	大野 美紀	61	公現④	元看護師
当	2,916	渡辺 光雄	64	無現④	獣医師
当	2,913	増井 秀夫	60	公現⑦	党県幹事
当	2,913	塚本 昌紀	49	公現③	元建設業
当	2,899	柳沢 潤次	59	共現⑥	湘南民商理事
当	2,836	東木 久代	50	公新①	党副支部長
当	2,744	三野 由美子	45	民現③	元広告会社員
当	2,733	武藤 正人	50	公新①	党副支部長
当	2,640	松下 賢一郎	52	公現④	党総支部長
当	2,630	青木 仁子	39	ネ新①	党市副代表
当	2,588	佐藤 春雄	63	無現②	元JA理事
当	2,572	栗原 義夫	68	無現⑦	食品会社顧問
当	2,546	永井 謙	52	民新①	環境NPO代表
当	2,298	脇 礼子	53	無新①	元人権団体職員
当	2,262	加藤 なを子	52	共現③	党市委員
当	2,217	友田 宗也	34	み新①	県議秘書
当	2,133	佐藤 清崇	32	民新①	藤沢JC理事
当	2,094	土屋 俊則	46	共新①	元医療施設職員
当	2,089	高橋 八一	64	社現⑤	党県幹事長
当	1,994	諏訪間 春雄	68	無現⑤	元建設業
	1,969	藤本 昌樹	36	無新	元衆議院議員秘書
	1,898	神尾 江里	30	み新	元社団法人職員
	1,882	白田 明秀	44	み新	元資産相談業
	1,866	渡辺 慈子	63	共新	党地区委員
	1,728	種部 弘	63	無新	元市部長
	760	矢野 彰教	54	無新	精神保健福祉士
	506	大山 富士男	59	無新	税理士

◆三浦市議 (定数15一候補者数18)

得票	氏名	年齢	党派・期数	前職等	
当	2,269	小林 直樹	54	共現⑥	党地区委員
当	1,874	藤田 昇	54	公現②	党副支部長
当	1,727	出口 正雄	53	無元②	農 業
当	1,534	佐瀬 喜代志	56	公現④	党支部長
当	1,426	寺田 一樹	37	無新①	元市職員
当	1,322	神田 真弓	53	無現②	市青少年指導員
当	1,311	岩野 匡史	70	無現⑩	飲食店経営
当	1,279	中谷 博厚	68	無現④	京急電鉄嘱託
当	1,162	北川 年一	58	無現④	医 師
当	1,160	石原 正宣	65	無現③	元高校教諭
当	1,111	石橋 むつみ	65	共現④	党地区委員
当	1,068	草間 道治	53	無現②	農 業
当	1,068	松原 敬司	67	無現③	元市企画部長
当	1,049	立本 真須美	67	共現④	党地区委員
当	1,010	出口 真琴	53	無現②	民宿経営
	533	渡辺 芳弘	26	民現	元衆議院議員秘書
	495	高橋 洋文	40	民現	准看護師
	466	鈴木 信夫	63	無新	コンビニ経営

◆茅ヶ崎市議 (定数28一候補者数37)

得票	氏名	年齢	党派・期数	前職等	
当	5,893	岸 正明	49	民現③	市職労副委員長
当	5,488	水島 誠司	34	自現②	調理師
当	4,034	海老名健太郎	38	無現②	元新聞販売社員
当	3,489	榎木 太郎	50	無現⑤	市水泳協会会長
当	3,356	伊藤 素明	53	無現②	元部品製造社員
当	2,833	白川 静子	61	公現④	元農協職員
当	2,821	中尾 寛	55	公現③	建設会社顧問
当	2,798	小磯 妙子	59	無現②	元団体嘱託職員
当	2,764	岸 高明	59	無現③	不動産管理業
当	2,701	青木 浩	53	自現③	保険代理店経営
当	2,695	長谷川 由美	41	み新①	県議秘書
当	2,675	松島 幹子	48	無現④	管理栄養士
当	2,666	山崎 広子	53	公新①	元太陽生命社員
当	2,643	広瀬 忠夫	64	無現③	元情報会社部長
当	2,626	滝口 友美	53	公現②	元三菱商事社員
当	2,603	永瀬 秀子	52	共現①	介護福祉士
当	2,587	新倉 真二	45	み新①	IT関連業
当	2,532	高橋 輝男	60	公現⑦	元NHK収納員
当	2,478	小島 勝巳	66	無新①	太鼓同好会長
当	2,380	岩田 はるみ	59	自現③	元民生委員
当	2,221	岡崎 進	47	無新①	不動産管理業
当	2,192	千葉 繁	64	み元③	廃棄物運搬業
当	2,166	花田 慎	50	無新①	環境事業会社社長
当	2,092	山田 悦子	52	無現②	イベント企画業
当	1,959	和田 清	52	無現②	元社福法理事長
当	1,845	早川 仁美	47	ネ新①	元NPO理事長
当	1,842	西田 淳一	48	社新①	翻訳業
当	1,793	吉川 和夫	58	無新①	元中学校教諭
	1,726	永淵 和成	59	共新	元IT会社員
	1,624	渡辺 晴治	55	無現	元建築会社社長
	1,290	椎野 康博	56	無元	元郵便事業社員
	1,172	石山 茂	50	無新	運送会社員
	1,155	上杉 桂子	52	無新	県自閉症協役員
	869	八城 貞彦	51	無新	福祉団体代表
	782	関根 豊勝	55	無新	福祉ケア会社社長
	452	高山 和久	53	無新	演芸ライター
	452	川口 富士子	38	無新	IT関連会社社長

◆伊勢原市議 (定数21一候補者数31)

得票	氏名	年齢	党派・期数	前職等	
当	2,403	相馬 欣行	53	無現②	日産自動車社員
当	2,185	石川 節治	69	無現⑧	警備会社顧問
当	1,855	越水 清	67	無現②	元高校教諭
当	1,813	山本 一恵	64	公現⑤	党総支部長
当	1,768	渡辺 紀之	40	無現③	工具販売業
当	1,687	安藤 玄一	42	民新①	衆議院議員秘書
当	1,604	小山 博正	39	民現②	元コンサル社員
当	1,547	横田 典之	53	公新①	元情報会社員
当	1,541	小沼 富夫	53	無現②	酒店経営
当	1,534	前沢 良二	63	公現④	金属加工会社社長
当	1,450	國島 正富	67	無現③	飲食業
当	1,403	館 大樹	33	無新①	元衆議院議員秘書
当	1,320	小林 京子	59	共現④	元幼稚園教諭
当	1,298	中台 和子	65	無現④	福祉団体理事
当	1,270	大山 学	50	無現②	飲食店経営
当	1,246	前田 秀資	54	無現③	タウン紙編集長
当	1,119	宮坂 順一	55	無現③	元企画会社役員
当	1,084	土山 由美子	58	ネ新①	介護法人理事
当	1,073	山田 昌紀	40	無新①	広告出版会社社長
当	1,041	瀬戸 洋四郎	66	無現②	元公民館長
当	919	笠原 国昭	65	共現⑥	元車部品会社社員
	878	橋田 夏枝	39	無新	元商社員
	859	椿 智仁	47	無新	プロゴルファー
	849	八島 満雄	68	無新	元小学校長
	833	中野 剛	45	無新	人材紹介社役員
	789	宮脇 俊彦	58	共新	元地域生協店長
	672	亀井 素代	51	無新	健康団体副会長
	663	安達 裕一	53	無新	元リコー社員
	631	添田 隆晴	64	無現	元病院事務局長
	587	高橋 準一	63	無新	元市立中学校長
	491	山田 幸男	61	無現	元第一生命社員

資料13-③ 市議会議員選挙 その3

◇大和市議 (定数28一候補者数43)

得票	氏名	年齢	党派・期数	前職等
当	3,664	菊地 弘	63	自現③ 元百貨店社員
当	3,032	井上 貢	40	自新① 放射線管理業
当	2,762	山田 己智恵	52	公新① 元市教育委員
当	2,638	河崎 民子	64	ネ現② NPO副理事長
当	2,636	吉沢 弘	49	公現② 党支部長
当	2,546	大波 修二	64	無現⑦ 元飛行機会社員
当	2,509	榊田 和広	46	公新① 元OA機商社員
当	2,502	古沢 敏行	62	公現④ 設計事務所経営
当	2,342	鳥淵 優	44	公新① 党副支部長
当	2,290	町田 零二	31	無新① 元幼稚園職員
当	2,220	木村 賢一	64	無現③ 不動産会社社長
当	2,183	小倉 隆夫	54	無新① 幼稚園長
当	2,094	二見 健介	33	無新① 元設備商社員
当	2,092	国兼 晴子	64	無現④ 市議長
当	2,001	青木 正始	44	無新① 不動産業
当	1,921	窪 純	72	共現⑩ 党地区委員
当	1,847	三枝 修	56	民現② 行政書士
当	1,839	大谷 仁	55	無現④ 不動産管理業
当	1,810	赤嶺 太一	30	無新① 元熱処理会社員
当	1,787	平田 純治	64	無現② 不動産業
当	1,780	佐藤 正紀	39	み新① 運送業
当	1,770	山本 光宏	38	み新① 元IT会社員
当	1,665	堀口 香奈	31	共現② 元准看護師
当	1,612	宮応 扶美子	66	共現⑦ 党地区委員
当	1,596	古木 勝治	74	無現⑤ 元郵便局長
当	1,523	古谷田 力	42	民新① 飲食店経営
当	1,476	中村 一夫	45	無新① 行政書士
当	1,440	中村 優子	54	ネ新① 元市社体振委員
	1,352	岡本 聖哉	42	無現 元相模鉄道社員
	1,346	高久 良美	57	共現 元NTT社員
	1,338	井上 勇児	30	無新 鉄道会社員
	1,309	間辺 祐見子	57	ネ新 元デザイナー
	1,180	岩崎 清昭	68	無現 不動産賃貸業
	1,068	鈴木 敏江	46	無新 元県立高校講師
	1,042	石田 充徳	60	無新 元小学校教諭
	1,027	水久保 博正	49	民新 行政書士
	967	伊沢 健志朗	38	無新 人材派遣業
	958	東猴 史紘	28	民新 衆院議員秘書
	930	村上 寛光	64	民現 元海上自衛官
	909	佐藤 信嘉	71	無元 電機計装業
	719	貝塚 吉高	62	無新 元農協職員
	417	徳村 康雄	62	無新 情報検索業
	363	小幡 秀造	54	無新 建築設計監理業

◇綾瀬市議 (定数21一候補者数22)

得票	氏名	年齢	党派・期数	前職等
当	2,337	綱島 洋一	43	無現③ 倉庫会社長
当	1,829	笠間 善晴	63	無現② 電気工事業
当	1,707	出口 けい子	61	公現④ 党支部長
当	1,678	松沢 堅二	54	公現③ 党副支部長
当	1,583	橘川 佳彦	40	無新① 不動産賃貸業
当	1,526	武藤 俊宏	51	無新① 酒店経営
当	1,491	笠間 信一郎	62	無現② 建物賃貸業
当	1,450	内山 恵子	50	公新① 元生保会社員
当	1,408	佐竹 百里	40	民現③ 党支部副幹事長
当	1,374	山田 晴義	62	無現⑥ 不動産賃貸業
当	1,339	井上 賢二	56	公現② 元基板会社員
当	1,270	上田 博之	52	共現② 元出版編集業
当	1,217	安藤 多恵子	63	無現⑤ 環境団体副代表
当	1,161	二見 昇	64	無現② 元横浜市職員
当	1,156	笠間 昇	39	無新① 不動産賃貸業
当	1,062	松本 春男	59	共現⑧ 党地区委員
当	1,027	増田 淳一郎	68	無現③ 車整備工場社長
当	991	比留川 政彦	45	無現② 不動産賃貸業
当	965	森藤 紀子	43	ネ新① 元市社教指導員
当	910	青柳 慎	59	無現③ 菓子卸会社役員
当	866	越川 好昭	54	無新① 元工場契約社員
	728	梅田 実	61	無新 元海上自衛官

◇南足柄市議 (定数16一候補者数18)

得票	氏名	年齢	党派・期数	前職等
当	1,673	石田 久良	68	無現③ 元カネボウ社員
当	1,640	石川 貴久雄	57	無新① 元写真会社員
当	1,617	渡辺 円一	67	無現② 元写真会社員
当	1,573	岡本 俊之	47	公現② 建設業
当	1,538	星崎 健次	38	無現② 写真会社員
当	1,451	湯川 素子	68	無現④ 元会計事務所員
当	1,427	大川 憲司	68	無現⑥ 元書店経営
当	1,425	菅原 ヒロミ	63	公現③ 党支部長
当	1,422	保田 建一郎	68	み現③ 土木建設業
当	1,366	村上 博	70	無現③ 畳店経営
当	1,321	小林 正	61	無新① 元県職員
当	1,258	加藤 洋一	54	無新① 元市職員
当	1,157	高田 三郎	61	共現④ 党地区委員
当	1,068	加藤 恵三	64	無現② 元NTT社員
当	847	内田 克己	61	無現② 農業
当	807	服部 俊作	66	無現④ 元建築設計業
	799	守屋 直樹	55	無新 理容店経営
	519	鈴木 克彦	63	無新 農業

資料14 町議会議員選挙

2011. 4. 24執行

◇葉山町議 (定数14一候補者数22)

得票	氏名	年齢	党派・期数	前職等
当	1,296	鈴木 道子	62	公現⑥ 党副支部長
当	1,276	山梨 崇仁	34	無現② 元コンサル社員
当	992	横山 純子	68	無元⑦ 元衆議院速記士
当	908	土佐 洋子	44	み現② プロセーラー
当	849	田中 孝男	73	無新① タオル卸売業
当	841	伊東 圭介	43	無現④ 町体協理事
当	744	金崎 ひさ	63	無現④ 福祉NPO理事
当	692	中村 文彦	43	自新① 元社福法人職員
当	675	畑中 由喜子	65	無現⑥ 主婦
当	659	長塚 かおる	51	無新① 元全日空社員
当	647	守屋 亘弘	70	無現③ 元NKK社員
当	646	荒井 直彦	52	無新① 町蹴球協会理事
当	641	窪田 美樹	45	共新① 介護福祉士
当	588	笠原 俊一	59	無現⑥ 食品販売業
	569	山田 由美	48	無新 元塾講師
	559	近藤 昇一	61	共現 クリーニング業
	534	加藤 清	62	自現 建築設計業
	524	待寺 真司	46	無現 食品会社長
	346	柴田 時子	62	無新 町卓球協会理事
	276	森 勝美	69	無現 環境団体代表
	269	前田 拓三	49	無新 元車販売社員
	169	羽後 栄	62	無新 元朝日新聞記者

◇中井町議 (定数14一候補者数16)

得票	氏名	年齢	党派・期数	前職等
当	593	武井 一夫	67	無現③ ゴルフ店経営
当	576	二宮 章悟	71	無新① 元公民館職員
当	517	曾我 功	58	無新① 農業
当	452	相原 啓一	62	無現④ 農業
当	376	金子 正直	55	無新① 社会福祉士
当	365	戸村 裕司	42	無新① NGO事務長
当	293	小沢 長男	68	共現⑨ 農業
当	290	成川 保美	63	無現④ 元写真会社員
当	287	植木 清八	62	無現④ 人材派遣業
当	256	岸 光男	63	無現② 元豆腐店経営
当	250	杉山 祐一	56	無現③ 不動産賃貸業
当	246	森 丈嘉	57	無現② 農業
当	246	小清水 招男	65	無現③ 元東芝社員
当	221	原 憲三	62	無現② 写真店経営
	165	岸野 照男	69	無現 元町職員
	153	黒野 英久	30	無新 無職

◇山北町議 (定数14一候補者数15)

得票	氏名	年齢	党派・期数	前職等
当	848	渡辺 良孝	66	無新① 町部長
当	685	石田 照子	56	無新① 主婦
当	667	鈴木 登志子	68	無元③ 福祉NPO代表
当	614	池谷 莊次郎	67	無現③ 農業
当	592	小栗 直治	65	無新① 農業
当	588	府川 輝夫	55	無新① 農業
当	548	瀬戸 恵津子	63	無現③ ピアノ教師
当	470	熊沢 友子	55	公現② 党副支部長
当	455	川村 俊治	68	無現④ 元日立社員
当	438	岩本 章治	71	無現⑤ 農業
当	437	原 憲司	63	無新① 元副町長
当	431	瀬戸 顕弘	68	無現② 元連合自治会長
当	408	藤原 浩	48	無新① 住宅設備工事業
当	395	佐藤 光男	62	無現⑤ 農業
	292	本杉 博是	66	無現 靴店経営

◇開成町議 (定数12一候補者数13)

得票	氏名	年齢	党派・期数	前職等
当	1,017	井上 宜久	70	無現③ 元ユニカ社員
当	1,001	前田 せつよ	53	公新① 保育士
当	754	佐々木 昇	42	無新① ビル清掃業
当	732	茅沼 隆文	65	無現② 元ビクター社員
当	706	下山 千津子	62	無新① 人形教室主宰
当	677	小林 秀樹	69	無新① 元写真会社員
当	639	吉田 敏郎	63	無新① 教材販売業
当	595	菊川 敬人	62	無現② 元化学会社員
当	551	山田 貴弘	43	無現② 建材会社経営
当	491	小林 哲雄	60	無現④ 行政書士
当	444	鈴木 庄市	72	無現② 行政書士
当	434	高橋 久志	66	共現⑨ 元ゴム会社員
	359	笠井 清	67	無現 元スーパー経営

開票区名	当日有権者数(人)	投票者数(人)	棄権者数(人)	投票率(%)	前回投票率(%)	有効投票数	黒岩祐治		露木順一		鴨居洋子		照屋修		無効票	
							得票数	得票率	得票数	得票率	得票数	得票率	得票数	得票率	無効票	無効率
県計	7,217,422	3,265,113	3,952,309	45.24	47.04	3,116,717	1,728,862	55.5%	821,981	26.4%	466,223	15.0%	99,751	3.2%	148,396	4.5%
横浜市計	2,937,105	1,372,956	1,564,149	46.75	48.22	1,307,717	756,559	57.9%	306,696	23.5%	205,095	15.7%	39,367	3.0%	65,236	4.8%
鶴見区	217,707	96,741	120,966	44.44	46.23	91,915	52,691	57.3%	18,319	19.9%	16,717	18.2%	4,188	4.6%	4,826	5.0%
神奈川区	186,656	84,727	101,929	45.39	45.74	80,501	45,924	57.0%	18,468	22.9%	13,355	16.6%	2,754	3.4%	4,226	5.0%
西区	77,385	33,180	44,205	42.88	44.14	31,779	19,300	60.7%	6,958	21.9%	4,454	14.0%	1,067	3.4%	1,401	4.2%
中区	111,822	50,030	61,792	44.74	44.91	47,233	27,799	58.9%	10,313	21.8%	7,619	16.1%	1,502	3.2%	2,791	5.6%
南区	162,617	73,418	89,199	45.15	47.47	69,476	40,861	58.8%	14,719	21.2%	11,239	16.2%	2,657	3.8%	3,942	5.4%
港南区	179,808	85,798	94,010	47.72	51.12	82,239	48,966	59.5%	19,648	23.9%	11,932	14.5%	1,693	2.1%	3,559	4.1%
保土ヶ谷区	165,297	75,818	89,479	45.87	47.25	72,321	42,533	58.8%	15,935	22.0%	11,723	16.2%	2,130	2.9%	3,491	4.6%
旭区	205,495	98,791	106,704	48.07	50.44	94,479	53,710	56.8%	24,253	25.7%	14,488	15.3%	2,029	2.1%	4,312	4.4%
磯子区	133,825	64,716	69,109	48.36	50.44	61,607	35,959	58.4%	14,893	24.2%	8,979	14.6%	1,776	2.9%	3,109	4.8%
金沢区	168,344	86,365	81,979	51.30	52.06	81,672	47,980	58.7%	18,695	22.9%	12,426	15.2%	2,571	3.1%	4,693	5.4%
港北区	261,088	117,221	143,867	44.90	46.23	111,862	65,158	58.2%	25,361	22.7%	17,454	15.6%	3,889	3.5%	5,359	4.6%
緑区	138,886	66,145	72,741	47.63	47.99	62,950	34,895	55.4%	15,692	24.9%	10,600	16.8%	1,763	2.8%	3,193	4.8%
青葉区	233,393	106,656	126,737	45.70	45.06	101,705	56,797	55.8%	27,802	27.3%	13,871	13.6%	3,235	3.2%	4,951	4.6%
都筑区	148,600	66,356	82,244	44.65	46.01	63,226	36,723	58.1%	14,846	23.5%	9,912	15.7%	1,745	2.8%	3,130	4.7%
戸塚区	218,165	102,916	115,249	47.17	48.09	98,289	57,062	58.1%	22,983	23.4%	15,802	16.1%	2,442	2.5%	4,621	4.5%
栄区	102,452	51,293	51,159	50.07	53.05	49,261	28,868	58.6%	12,706	25.8%	6,605	13.4%	1,082	2.2%	2,032	4.0%
泉区	124,300	61,798	62,502	49.72	51.58	58,807	34,331	58.4%	13,995	23.8%	9,147	15.6%	1,334	2.3%	2,991	4.8%
瀬谷区	101,265	50,987	50,278	50.35	53.61	48,395	27,002	55.8%	11,111	23.0%	8,772	18.1%	1,510	3.1%	2,592	5.1%
川崎市計	1,113,586	514,322	599,264	46.19	48.55	486,275	273,620	56.3%	109,207	22.5%	83,324	17.1%	20,124	4.1%	28,047	5.5%
川崎区	172,509	77,076	95,433	44.68	48.99	72,752	41,094	56.5%	12,890	17.7%	15,055	20.7%	3,713	5.1%	4,324	5.6%
幸区	124,502	58,409	66,093	46.91	52.09	55,195	31,019	56.2%	11,563	20.9%	9,744	17.7%	2,869	5.2%	3,214	5.5%
中原区	182,762	88,105	94,657	48.21	49.08	83,192	47,528	57.1%	17,083	20.5%	14,293	17.2%	4,287	5.2%	4,913	5.6%
高津区	169,193	74,568	94,625	44.07	46.02	70,206	39,473	56.2%	16,196	23.1%	12,047	17.2%	2,490	3.5%	4,362	5.8%
宮前区	169,601	76,294	93,307	44.98	46.17	71,966	40,941	56.9%	16,993	23.6%	11,668	16.2%	2,364	3.3%	4,328	5.7%
多摩区	162,772	76,103	86,669	46.75	48.26	72,180	39,982	55.4%	18,396	25.5%	11,862	16.4%	1,940	2.7%	3,923	5.2%
麻生区	132,247	63,767	68,480	48.22	50.64	60,784	33,583	55.2%	16,085	26.5%	8,655	14.2%	2,461	4.0%	2,983	4.7%
相模原市計	565,597	285,109	280,488	50.41	46.49	270,273	160,176	59.3%	57,726	21.4%	42,754	15.8%	9,615	3.6%	14,836	5.2%
緑区	139,292	73,778	65,514	52.97	48.34	69,922	42,844	61.3%	14,398	20.6%	10,517	15.0%	2,163	3.1%	3,856	5.2%
中央区	208,217	104,128	104,089	50.01	45.73	98,280	58,445	59.5%	19,536	19.9%	16,224	16.5%	4,075	4.1%	5,848	5.6%
南区	218,088	107,203	110,885	49.16	45.99	102,071	58,887	57.7%	23,794	23.3%	16,013	15.7%	3,377	3.3%	5,132	4.8%

開票区名	当日有権者数(人)	投票者数(人)	棄権者数(人)	投票率(%)	前回投票率(%)	有効投票数	黒岩祐治		露木順一		嶋居洋子		照屋修		無効票	
							得票数	得票率	得票数	得票率	得票数	得票率	得票数	得票率	得票数	得票率
横須賀市	349,249	154,483	194,766	44.23	49.98	147,481	92,859	63.0%	28,566	19.4%	20,417	13.8%	5,639	3.8%	7,002	4.5%
平塚市	208,157	92,015	116,142	44.20	48.94	88,311	46,348	52.5%	25,727	29.1%	12,662	14.3%	3,574	4.0%	3,704	4.0%
鎌倉市	148,106	66,812	81,294	45.11	48.91	64,084	36,185	56.5%	17,710	27.6%	8,346	13.0%	1,843	2.9%	2,728	4.1%
藤沢市	329,153	136,530	192,623	41.48	43.54	130,567	71,079	54.4%	36,137	27.7%	18,772	14.4%	4,579	3.5%	5,963	4.4%
小田原市	161,686	70,366	91,320	43.52	34.44	68,585	20,239	29.5%	40,140	58.5%	6,735	9.8%	1,471	2.1%	1,781	2.5%
茅ヶ崎市	192,310	78,236	114,074	40.68	44.51	75,005	42,150	56.2%	20,790	27.7%	10,362	13.8%	1,703	2.3%	3,231	4.1%
逗子市	49,626	18,282	31,344	36.84	48.00	17,771	9,889	55.6%	5,493	30.9%	1,987	11.2%	402	2.3%	511	2.8%
三浦市	41,201	17,853	23,348	43.33	52.97	17,009	10,711	63.0%	3,156	18.6%	2,616	15.4%	526	3.1%	844	4.7%
秦野市	131,455	43,981	87,474	33.46	43.38	43,132	18,082	41.9%	20,255	47.0%	4,275	9.9%	520	1.2%	849	1.9%
厚木市	174,591	63,432	111,159	36.33	37.43	60,973	33,351	54.7%	17,767	29.1%	8,139	13.3%	1,716	2.8%	2,459	3.9%
大和市	179,929	79,522	100,407	44.20	47.49	75,547	43,187	57.2%	18,842	24.9%	10,939	14.5%	2,579	3.4%	3,976	5.0%
伊勢原市	78,484	33,123	45,361	42.20	45.57	32,037	15,405	48.1%	11,992	37.4%	4,012	12.5%	628	2.0%	1,080	3.3%
海老名市	100,982	44,658	56,324	44.22	47.80	43,240	22,354	51.7%	14,468	33.5%	5,009	11.6%	1,409	3.3%	1,418	3.2%
座間市	103,944	35,315	68,629	33.98	41.48	34,477	18,006	52.2%	8,956	26.0%	6,319	18.3%	1,196	3.5%	838	2.4%
南足柄市	36,017	20,787	15,230	57.71	58.15	20,465	3,611	17.6%	15,549	76.0%	1,125	5.5%	180	0.9%	322	1.5%
綾瀬市	65,909	27,455	38,454	41.66	44.44	26,458	16,043	60.6%	6,292	23.8%	3,501	13.2%	622	2.4%	997	3.6%
市計	2,350,799	982,850	1,367,949			945,142	499,499	52.8%	291,840	30.9%	125,216	13.2%	28,587	3.0%		
葉山町	27,566	11,370	16,196	41.25	48.98	11,036	5,780	52.4%	3,605	32.7%	1,334	12.1%	317	2.9%	334	2.9%
寒川町	38,454	15,564	22,890	40.47	30.34	14,990	7,737	51.6%	4,967	33.1%	1,931	12.9%	355	2.4%	574	3.7%
大磯町	27,787	12,648	15,139	45.52	45.27	12,285	5,580	45.4%	5,170	42.1%	1,295	10.5%	240	2.0%	363	2.9%
二宮町	24,981	12,861	12,120	51.48	53.96	12,468	4,988	40.0%	5,790	46.4%	1,329	10.7%	361	2.9%	393	3.1%
中井町	8,060	3,650	4,410	45.29	51.73	3,603	816	22.6%	2,545	70.6%	209	5.8%	33	0.9%	47	1.3%
大井町	13,926	6,412	7,514	46.04	53.47	6,346	931	14.7%	5,080	80.1%	266	4.2%	69	1.1%	66	1.0%
松田町	9,916	5,141	4,775	51.85	56.76	5,095	914	17.9%	3,904	76.6%	241	4.7%	36	0.7%	46	0.9%
山北町	10,113	6,430	3,683	63.58	72.56	6,382	943	14.8%	5,110	80.1%	296	4.6%	33	0.5%	48	0.7%
開成町	12,602	8,241	4,361	65.39	65.06	8,202	659	8.0%	7,373	89.9%	148	1.8%	22	0.3%	39	0.5%
箱根町	11,060	4,204	6,856	38.01	34.35	4,123	1,381	33.5%	2,298	55.7%	346	8.4%	98	2.4%	81	1.9%
真鶴町	7,278	3,351	3,927	46.04	43.98	3,315	1,126	34.0%	1,936	58.4%	207	6.2%	46	1.4%	36	1.1%
湯河原町	22,951	8,773	14,178	38.22	40.25	8,578	3,104	36.2%	4,584	53.4%	784	9.1%	106	1.2%	195	2.2%
愛川町	32,909	10,042	22,867	30.51	31.45	9,816	4,643	47.3%	3,497	35.6%	1,350	13.8%	326	3.3%	226	2.3%
清川村	2,732	1,189	1,543	43.52	40.71	1,171	406	34.7%	651	55.6%	98	8.4%	16	1.4%	18	1.5%
町村計	250,335	109,876	140,459			107,410	39,008	36.3%	56,510	52.6%	9,834	9.2%	2,058	1.9%	2,466	2.2%
県計	7,217,422	3,265,113	3,952,309	45.24	47.04	3,116,817	538,507	17.3%	348,350	11.2%	135,030	4.3%	30,645	1.0%	148,296	4.5%

※「前回投票率」は、平成19年4月8日執行神奈川県知事選挙の投票率です。  
 ※相模原市の前回投票率は、比較の便宜のため緑区、中央区、南区に区分して算出したものです。

7,217,422

資料16 神奈川県議会議員選挙の行政区別・党派別得票数

2011.4.10執行

開票区名	当日有権者数(人)	投票者数(人)	棄権者数(人)	乗権者数(人)	投票率(%)	前回投票率との差	有効投票票	自民党		民主党		公明党		共産党		みんなの党		神奈川県		無所属		無効票		
								得票数	得票率	得票数	得票率	得票数	得票率	得票数	得票率	得票数	得票率	得票数	得票率	得票数	得票率	得票数	得票率	得票数
県計	6,648,778	3,038,086	3,610,692	45.69	△ 1.79	2,932,551	1,009,429	34.4%	793,245	27.0%	192,986	6.6%	92,383	3.2%	398,775	13.6%	59,674	2.0%	386,061	13.2%	105,535	3.5%	105,535	3.5%
横浜市内計	2,937,105	1,372,815	1,564,290	46.74	△ 1.46	1,318,037	467,003	35.4%	384,484	29.2%	71,646	5.4%	29,849	2.3%	236,529	17.9%	23,541	1.8%	104,985	8.0%	54,778	4.0%	54,778	4.0%
神奈川県	217,707	96,738	120,969	44.43	△ 1.79	84,806	24,366	28.7%	11,535	12.2%	18,108	19.1%	9,646	10.2%	20,970	22.1%	10,179	10.7%	10,485	10.7%	1,839	2.0%	1,839	2.0%
神奈川区内	186,656	84,743	101,913	45.40	△ 0.34	82,904	21,893	26.4%	11,984	14.5%	14,516	17.5%	7,016	8.5%	12,199	14.7%	9,051	10.9%	6,245	7.5%	1,839	2.2%	1,839	2.2%
西区	77,385	33,155	44,230	42.84	△ 1.26	34,434	18,778	59.7%	12,666	40.3%														
中区	111,822	50,050	61,772	44.76	△ 2.30	69,002	26,543	38.5%	19,198	27.8%														
南区	162,617	73,439	89,178	45.16	△ 3.40	82,010	32,467	39.6%	22,754	31.5%	16,426	20.0%												
保土ヶ谷区	165,297	75,813	89,484	45.86	△ 1.36	72,306	26,375	36.5%	22,657	31.2%														
磯子区	205,495	98,768	106,727	48.06	△ 2.37	94,656	27,261	28.8%	16,984	27.9%	22,596	23.9%												
磯子区	133,825	64,657	69,168	48.31	△ 2.11	60,790	24,603	40.5%	16,984	27.9%														
金沢区	168,344	86,349	91,995	51.29	△ 0.74	83,223	34,308	41.2%	21,603	33.2%														
港北区	211,088	117,240	143,848	44.90	△ 1.32	113,260	39,571	34.9%	38,346	33.9%														
緑区	138,886	66,151	72,735	47.63	△ 0.65	63,664	22,352	35.1%	16,433	25.8%														
青葉区	233,393	106,661	126,732	45.70	△ 1.38	103,136	34,833	33.8%	23,386	22.7%														
都筑区	148,600	66,329	82,271	44.64	△ 1.92	63,883	21,649	33.9%	16,250	25.4%														
戸塚区	218,165	102,894	115,271	47.16	△ 0.92	98,712	34,138	34.6%	43,702	44.3%														
泉区	102,452	51,272	51,180	50.04	△ 2.99	49,441	13,317	39.6%	18,820	31.9%														
瀬谷区	124,300	61,800	62,500	49.72	△ 3.27	48,369	22,740	47.0%	25,629	53.0%														
瀬谷区	101,265	50,971	50,294	50.33	△ 3.27	48,369	22,740	47.0%	25,629	53.0%														
川崎市	989,084	455,156	533,928	46.02	△ 2.56	437,999	145,322	33.2%	118,375	27.0%	16,206	3.7%	34,230	7.8%	65,468	14.9%	10,263	2.3%	48,135	11.0%	17,157	3.8%	17,157	3.8%
川崎市	172,509	77,018	95,491	44.65	△ 4.34	75,376	23,613	31.3%	12,867	17.1%	16,206	21.5%	11,867	15.7%	10,823	14.4%					16,442	2.1%	16,442	2.1%
幸区	無投票																							
中原区	182,762	87,918	94,844	48.11	△ 0.95	85,283	30,856	36.2%	28,975	34.0%														
高津区	169,193	74,454	94,739	44.01	△ 2.01	70,923	30,609	43.2%	17,054	24.0%														
宮前区	169,601	76,185	93,416	44.92	△ 1.23	73,454	29,775	40.5%	16,981	23.1%														
多摩区	162,772	75,947	86,825	46.66	△ 1.38	73,166	30,460	41.6%	24,266	33.2%														
麻生区	132,247	63,634	68,613	48.12	△ 2.45	59,797	18,232	30.5%																
麻生区	565,597	285,071	280,526	50.40	△ 3.91	274,282	98,428	35.9%	95,397	34.8%	24,208	8.8%	9,684	3.5%	17,395	6.3%					10,809	3.8%	10,809	3.8%
緑区	139,292	73,743	65,549	52.94	△ 4.60	70,826	29,811	42.1%	25,453	35.9%														
中央区	208,217	104,140	104,077	50.02	△ 4.28	100,111	35,261	35.2%	40,642	40.6%	24,208	24.2%												
南区	218,088	107,188	110,900	49.15	△ 3.15	103,325	33,356	32.3%	29,302	28.4%														
平須町	349,249	154,295	194,954	44.18	△ 5.77	151,441	71,793	47.4%	25,244	16.7%														
磯子市	208,157	91,907	116,250	44.15	△ 4.77	89,857	30,240	33.7%	14,513	16.2%														
鎌倉市	148,106	66,733	81,373	45.06	△ 3.80	64,718	21,834	33.7%	21,087	32.6%														
藤沢市	329,145	136,355	192,790	41.43	△ 2.08	133,882	41,738	31.2%	29,852	22.3%	18,280	13.7%	8,811	6.6%	16,009	12.0%	10,265	7.7%	8,927	6.7%	2,473	1.8%	2,473	1.8%
小田原市	161,686	70,209	91,477	43.42	△ 3.84	67,487	24,282	36.0%																
茅ヶ崎市	192,310	78,111	114,199	40.62	△ 3.84	76,098	32,148	42.2%	29,644	39.0%														
三浦市	41,201	17,800	23,401	43.20	△ 9.77	17,282	9,782	56.6%																
三浦市	無投票																							
秦野市	174,591	63,356	111,235	36.29	△ 1.13	61,980	20,375	32.9%	14,577	23.5%														
厚木市	179,929	79,488	100,441	44.18	△ 3.30	77,691	27,759	35.7%	12,258	15.8%	17,641	22.7%												
大和市	78,484	33,064	45,420	42.13	△ 3.40	31,985	10,854	34.0%																
伊勢原市	100,982	44,527	56,455	44.09	△ 3.69	42,926	29,489	68.7%	13,437	31.3%														
海老名市	36,017	20,760	15,257	57.64	△ 0.49	20,239	10,095	37.7%																
海老名市	65,909	27,427	38,482	41.61	△ 2.82	26,789	10,095	37.7%																
綾瀬市	2,065,766	884,032	1,181,734	42.79	△ 1.65	862,375	285,158	33.1%	194,989	22.6%	80,923	9.4%	18,620	2.2%	79,383	9.2%	25,870	3.0%	177,432	20.6%	21,657	2.4%	21,657	2.4%
葉山町	無投票																							
寒川町	38,460	15,537	22,923	40.40	△ 0.24	15,079	6,736	54.9%																
大磯町	27,787	12,634	15,153	45.47	△ 2.55	12,525	6,782	54.1%																
二宮町	24,979	12,841	12,138	51.41	△ 2.55	12,525	6,782	54.1%																
足柄上郡	無投票																							
足柄下郡	無投票																							
足柄下郡	無投票																							
愛甲郡	無投票																							
町町計	91,226	41,012	50,214	44.96	△ 8.62	39,877	13,518	33.9%																
町計	6,648,778	3,038,086	3,610,692	45.69	△ 1.79	2,932,551	1,009,429	34.4%	793,245	27.0%	192,986	6.6%	92,383	3.2%	398,775	13.6%	59,674	2.0%	386,061	13.2%	105,535	3.5%	105,535	3.5%



資料17 政令市議会議員選挙の行政区別・党派別得票数

2011.4.10執行

	有権者数	投票者数	投票率	前回07 年投票 率	前回と の差	有効投票 総数	自由民主党	民主党	公明党	日本共産党	みんなの党		諸派	無所属		無効票		
											得票数	得票率		得票数	得票率		得票数	得票率
横浜市計	2,937,105	1,372,605	46.73	48.20	△ 1.47	1,345,706	399,156	29.7	185,481	13.8	97,147	7.2	110,170	8.2	82,552	6.1	26,899	2.0
鶴見区	217,707	96,706	44.42	46.20	△ 1.78	94,709	23,937	25.3	14,836	15.7	9,015	9.5	6,321	6.7	13,014	13.7	1,997	2.1
神奈川区	186,656	84,711	45.38	45.73	△ 0.35	82,768	23,538	28.4	11,909	14.4	6,197	7.5	11,818	14.3	1,798	2.2	1,943	2.3
西区	77,385	33,146	42.83	44.10	△ 1.27	31,832	16,004	50.3	10,145	20.6	2,866	5.8	0	0.0	2,159	4.4	1,314	4.0
中区	111,822	50,061	44.77	44.90	△ 0.13	49,205	18,905	38.4	10,454	20.6	2,866	5.8	0	0.0	2,159	4.4	856	1.7
南区	162,617	73,428	45.16	47.48	△ 2.33	72,043	24,942	34.6	12,473	17.3	9,986	13.9	15,934	18.9	6,322	8.8	1,385	1.9
港南区	179,808	85,782	47.71	51.10	△ 3.39	84,269	29,186	34.6	11,997	14.2	8,744	10.4	15,934	18.9	3,499	4.2	1,513	1.8
保土ヶ谷区	165,297	75,817	45.87	47.24	△ 1.37	74,212	19,046	25.7	14,170	19.1	6,033	8.1	4,945	6.7	2,624	3.5	1,605	2.1
旭区	205,495	98,750	48.05	50.43	△ 2.38	97,180	34,314	35.3	16,156	16.6	8,099	8.3	6,723	6.9	1,570	1.6	1,570	1.6
磯子区	133,825	64,661	48.32	50.45	△ 2.13	63,557	17,133	27.0	9,989	15.7	3,071	4.8	5,698	9.0	14,283	22.5	1,104	1.7
金沢区	168,344	86,342	51.29	52.03	△ 0.74	85,012	25,654	30.2	10,683	12.6	4,771	5.6	11,037	13.0	5,836	6.9	1,330	1.5
港北区	261,088	117,213	44.89	46.21	△ 1.32	114,370	30,972	27.1	11,297	9.9	9,662	8.4	7,594	6.6	6,117	5.3	2,843	2.4
緑区	138,886	66,156	47.63	47.99	△ 0.36	65,248	17,696	27.1	10,044	15.3	3,627	5.6	0	0.0	1,889	2.9	908	1.4
青葉区	233,393	106,628	45.69	45.04	△ 0.65	104,457	25,939	24.8	8,669	8.3	6,878	6.6	14,697	14.1	5,153	4.9	2,171	2.0
都筑区	148,600	66,320	44.63	45.98	△ 1.35	64,675	20,818	32.2	9,707	15.0	10,041	9.9	7,429	11.5	1,645	2.5	1,645	2.5
戸塚区	218,165	102,867	47.15	48.10	△ 0.95	100,996	33,268	32.9	11,773	11.7	10,041	9.9	7,544	7.5	1,871	1.8	1,871	1.8
栄区	102,452	51,260	50.03	53.02	△ 2.99	50,290	12,276	24.4	7,296	15.4	20,310	33.3	10,430	20.7	19,858	39.5	970	1.9
泉区	124,300	61,791	49.71	51.56	△ 1.85	60,695	11,486	18.9	10,078	16.6	4,275	7.0	14,546	24.0	1,090	1.8	1,090	1.8
瀬谷区	101,265	50,966	50.33	53.59	△ 3.26	50,188	14,047	28.0	11,586	23.1	3,882	7.7	10,430	20.7	778	1.5	778	1.5
川崎市計	1,113,586	513,441	46.11	48.52	△ 2.41	503,155	147,799	29.4	85,528	17.0	65,099	12.9	14,868	3.0	26,175	5.2	10,286	0.9
川崎区	172,509	76,994	44.63	48.99	△ 4.36	75,573	23,579	31.2	15,356	20.3	12,404	16.4	0	0.0	1,264	1.7	1,421	0.8
幸区	124,502	58,346	46.86	52.06	△ 5.20	57,321	11,499	20.1	9,812	17.1	8,561	14.9	2,617	4.6	3,380	5.9	1,025	0.8
中原区	182,762	87,895	48.09	49.05	△ 0.96	85,946	27,240	31.7	17,951	20.9	13,336	15.5	0	0.0	1,915	2.2	1,949	1.1
高津区	169,193	74,452	44.00	46.01	△ 2.01	72,940	22,551	30.9	12,994	17.8	7,105	9.7	0	0.0	6,173	8.5	1,512	0.9
宮前区	169,601	76,168	44.91	46.15	△ 1.24	74,523	21,847	29.3	12,263	16.5	5,306	7.1	3,823	5.1	6,433	8.6	1,645	1.0
多摩区	162,772	75,950	46.66	48.23	△ 1.57	74,302	24,504	33.0	12,090	16.3	12,628	17.0	3,263	4.4	4,946	6.7	1,648	1.0
麻生区	132,247	63,636	48.12	50.58	△ 2.46	62,550	16,579	26.5	7,291	11.7	5,759	9.2	5,165	8.3	2,064	3.3	1,086	0.8
相模原市計	563,464	285,057	50.59	47.40	△ 3.19	277,004	9,940	3.6	40,922	14.8	17,111	6.2	6,196	2.2	128,700	46.5	8,052	2.8
緑区	138,985	73,753	53.07			71,912			9,650	13.4	2,632	3.7			44,133	61.4	1,841	2.5
中央区	207,520	104,136	50.18			101,400	9,940	9.8	17,619	17.4	7,140	7.0	2,136	2.1	36,319	35.8	2,736	2.6
南区	216,959	107,168	49.40			103,692			13,653	13.2	7,339	7.1	4,060	3.9	48,248	46.5	3,476	3.2

諸派は、横浜市内は「神奈川県ネットワーク運動」「日本を变える会」「日本創生党」「社民党」の得票を合わせてある。  
川崎市内は「神奈川県ネットワーク運動」の得票であり、相模原市内は「神奈川県ネットワーク運動」の得票を追わしてある。

資料18 10市議選、4町議選の党派別得票数

2011.4.10執行

	有権者数	投票者数	投票率	前回07年投票率	前回との差	有効投票総数	自由民主党		民主党		公明党		日本共産党		社民党		みんなの党		神奈川ネットワーク運動		無所属		無効票	
							得票数	得票率	得票数	得票率	得票数	得票率	得票数	得票率	得票数	得票率	得票数	得票率	得票数	得票率	得票数	得票率	得票数	得票率
横須賀市	347,581	166,769	47.98	52.59	△ 4.61	164,777	29,302	17.8%	3,101	1.9%	24,764	15.0%	8,285	5.0%			3,860	2.3%	1,930	1.2%	93,533	56.8%	1,992	1.2%
平塚市	208,070	103,788	49.88	53.75	△ 3.87	101,578	4,705	4.6%	6,148	6.1%	15,112	14.9%	7,143	7.0%	883	0.9%			2,964	2.9%	64,622	63.6%	2,210	2.1%
藤沢市	326,088	124,413	38.15	42.94	△ 4.79	122,923	17,983	14.6%	10,601	8.6%	16,977	13.8%	9,122	7.4%	2,089	1.7%	10,769	8.5%	2,630	2.1%	52,751	42.9%	1,490	1.2%
小田原市	161,826	73,146	45.20	49.10	△ 3.90	72,149			3,331	4.6%	12,223	16.9%	6,182	8.6%							50,413	69.9%	997	1.4%
茅ヶ崎市	192,631	89,706	46.57	49.06	△ 2.49	87,694	10,569	12.1%	5,893	6.7%	13,478	15.4%	4,329	4.9%	1,842	2.1%	7,474	8.5%	1,845	2.1%	42,264	48.2%	2,012	2.2%
三浦市	41,398	22,078	53.33	59.78	△ 6.76	21,864			1,028	4.7%	3,408	15.6%	4,429	20.3%							12,999	59.5%	214	1.0%
大和市	180,053	76,355	42.41	44.87	△ 2.46	74,505	6,696	9.0%	6,285	8.4%	12,751	17.1%	6,544	8.8%			3,550	4.8%	5,387	7.2%	33,289	44.7%	1,850	2.4%
伊勢原市	78,396	38,884	49.60	50.37	△ 0.77	38,412			3,291	8.6%	4,894	12.7%	3,028	7.9%					1,084	2.8%	26,115	68.0%	472	1.2%
南足柄市	35,759	23,509	65.74	71.17	△ 5.43	22,909					2,998	13.1%	1,157	5.1%			1,422	6.2%			17,332	75.7%	600	2.6%
綾瀬市	65,345	29,396	44.99	51.28	△ 6.29	29,076			1,408	4.8%	6,174	21.2%	2,332	8.0%					965	3.3%	18,197	62.6%	320	1.1%
10市計	1,637,147	748,044	45.69	49.69	△ 4.00	735,887	69,255	9.4%	41,086	5.6%	112,779	15.3%	52,551	7.1%	4,814	0.7%	27,075	3.7%	16,805	2.3%	411,515	55.9%	12,157	1.6%
葉山町	27,652	14,824	53.61	54.23	△ 0.62	14,700	1,226	8.3%			1,296	8.8%	1,200	8.2%			908	6.2%			10,070	68.5%	124	0.8%
中井町	8,051	5,351	66.46	無投票		5,286							293	5.5%							4,993	94.5%	65	1.2%
山北町	10,111	7,929	78.42	82.14	△ 3.72	7,868					490	6.2%									7,398	94.0%	61	0.8%
開成町	12,587	8,603	68.35	66.17	2.18	8,400					1,001	11.9%	434	5.2%							6,965	82.9%	203	2.4%
4町計	58,401	36,707	62.85			36,254	1,226	3.4%			2,787	7.7%	1,927	5.3%			908	2.5%			29,426	81.2%	453	1.2%

# 相模原市が、2012 年施行を表明

— 公契約条例の全国の動き —

公益社団法人 神奈川県地方自治研究センター  
事務局長 勝島 行正

野田市（2009 年）、川崎市（2010 年）に続く公契約条例制定の動きがいくつかの自治体で進められているが、中でも最も注目されるのが、相模原市と東京都多摩市である。相模原市は、この間、条例制定に向けて意欲を示していた加山俊夫市長が、先の市長選挙で再選されたことから、「2011 年度内の条例制定、2012 年度 4 月施行」に向けて動きが加速することが期待されている。また、東京都多摩市の阿部裕行市長は、6 月 11 日に開催されたシンポジウムで「公契約条例の成立に向けて頑張る」と明言し、相模原市と同様に 2012 年度施行への期待が大きく高まった。以下、公契約条例制定に向けた自治体の動きについて報告する。

## （1）相模原市—報告書で条例制定と施行時期を明示

加山俊夫市長は、2010 年 11 月の市会の代表質問に答えて、「公契約条例については、行政内部に横断的なチームを設置して検討を重ねている。年度内に意見をとりまとめ、できるだけ早期に導入したい」と答弁した。その後、3 月 22 日に「公契約条例」について調査・研究してきた「暮らし満足向上のための条例検討プロジェクトチーム公契約条例検討部会（以下「検討部会」）」が、「公契約条例～『暮らし先進都市』の実現に向けて～調査・研究報告書（以下「報告書」）」を公表した。

「検討部会」は、財務部契約課副主幹を座長に、関係する各課からあわせて 12 名のメンバーによって構成され、野田市の視察や関係業界等から意見聴取など調査と研究を計 9 回にわたって行ってきた。

報告書の要点は、次のとおりである。

○公契約条例とは、「市の公共工事などに従事する労働者の賃金の下限額を定め、その支払を入札や落札の条件とするものである。また、契約後に、必要がある場合は、事業所への立ち入り、書類の検査、関係者からの聞き取りなどを行うことや違反が認められた場合は、是正措置、契約解除、事実の公表、指名停止措置等を行うなどを規定する」としている。

○条例制定の意義については「市が自ら進んで公契約条例を制定することは、市の公共工事などに従事する労働者の労働意欲と業務の質を向上させ、もって豊かな市民生活を実現させるための政策として意義がある」としている。

○制定時期としては、「平成 23 年度中に条例案を作成し、パブリックコメントなど所定の手続を実施し、平成 24 年 4 月からの

施行に向けて取り組むことが必要」とまとめている。

## (2) 条例制定の時期等が示された自治体

### ①多摩市

2010年4月に当選した阿部裕行市長は、選挙マニフェストで「公共サービス基本条例と公契約条例の制定」をかかげていた。その後、2010年10月に市内に条例制定に向けた「調査検討委員会」が設置され、検討を行ってきた。これまで「2011年度中に公契約条例の成立、2012年4月施行」を基本とするスケジュール案が示されていたが、その遅れを懸念する声もあがっていた。

6月11日に開催された、「多摩市の公共サービス基本条例、公契約条例をめざすシンポジウム（主催・連合東京公務労協、後援・多摩市、公益社団法人東京自治研究センター）」において、阿部市長は「震災対応などで遅れていたが、公共サービス基本条例や公契約条例は市民生活に必要であると考えている。当面は、公契約条例の制定を先行させ推進していく」と発言された。今後、大きく前進するものと期待されている。

### ②札幌市

2011年4月に再選された上田文雄市長は、選挙公約で「公契約条例の制定」を掲げていた。その後、2011年5月4日の北海道新聞によれば「公契約条例を本年度中に制定する方針を固めた。年末までに条例案をまとめ、来春の定例市議会に提出する考え」と報じられている。札幌市では、これまで札幌地域連合による取り組みなどが報告されていたが、条例制定に向けた具体化を待ちたい。

## (3) 内部検討等が行われている自治体

### ①国分寺市

既に2010年に条例案のパブリックコメントが実施され、「2010年12月議会での成立、2011年度施行」かと期待されていたが、現時点では、足踏み状態になっている。

### ②長野県

2010年8月に当選した阿部守一知事は、基本政策に「公契約条例を検討する」としていたが、2011年2月の県議会で「昨年11月に市内研究会を設置し、来年度半ばには中間とりまとめを予定している。条例制定については、研究会の検討結果を踏まえて判断したい（信濃毎日新聞2月23日）」と答弁している。

また、これに先立って1月14日、長野県建設労働組合連合会が公契約条例を求めたのに対して、阿部知事は「秋口までには一定の考え方を示す」と応じたともあり、具体化すれば、都道府県で初のこととなる。

## (4) その他

2011年2月に再選された厚木市の小林常良市長の選挙マニフェストに「公契約条例の制定」が掲げられている。任期中の実現が期待されている。

## 編集後記

東日本大震災以来、国会で多くの法案審議が棚上げされている中で、地域主権改革関連の3法案が4月28日に可決・成立した。民主党政権が「一丁目一番地」の最重要課題と位置付けた「地域主権改革」の表現は、衆議院において「地域の自主性及び自立性を高めるための改革」と修正され、「地域主権の確立」を牽引するはずの地域主権戦略会議の法定設置も夢と潰えた。「地域主権改革」の最前線からの撤退は明らかだが、国と地方の協議の場が法制化に至ったことは、地方側の動きもすでにスタートしており、少なくとも地方が一定の成果を獲得したと見るべきかもしれない。

ただし協議の前哨戦となる自治体間の調整は、多様な立場からの見解が示されるだけにしばしば困難を伴う。被災地の災害対応や復旧・復興への取り組みを見ても、住民による自治の力と自治体の行政能力には、地域により歴然とした違いがあることを改めて思い知らされた。一人でも多くの人々が日常を取り戻すための対策を国が最優先すべきこの時期、国と地方の協議の場を、地方はいかに活用しうるのか。地方自治の当事者の力が試される。(谷本有美子)

2011年6月20日

### 自治研かながわ月報第128号(2011年6月号, 通算192号)

発行所	公益社団法人	神奈川県	地方自治研究センター	
発行人	上林得郎	編集人	勝島行正	定価1部500円
〒232-0022	横浜市南区高根町1-3		神奈川県地域労働文化会館4F	
	☎045(251)9721(代表)		FAX 045(251)3199	
	<a href="http://kjk.gpn.co.jp/">http://kjk.gpn.co.jp/</a>		E-mail:kjk@gpn.co.jp	

☆センターのウェブサイト (<http://kjk.gpn.co.jp/>) をご利用下さい。→



## 会員になるには

1. 誰でも会員になれます。
2. 申込書は自治研センター事務局にあります。会費は個人会員月 1,000 円、賛助会員月 700 円のどちらかを選び、1 年分をそえてお申し込みください。
3. 詳細は自治研センター事務局  
☎ 045(251)9721へご連絡ください。

## 会員の特典

1. 自治研センターの「自治研かながわ月報」が送られます。
2. 「月刊自治研」(自治労本部自治研推進委員会発行・A 5 版・80 ページ程度・定価 800 円) が毎月無料で購読できます。
3. 自治研センターの資料集が活用でき、調査研究会などに参加できます。